

資源リサイクルセンター 不燃ごみ選別施設等建築工事

図 面 リ ス ト					
図番	図 名	縮 尺	図番	図 名	縮 尺
01	特記仕様書(1)	N/S	20	部分詳細図	1/10
02	特記仕様書(2)	N/S	21	外構図	1/200・1/20
03	特記仕様書(3)	N/S	22	不燃ごみ選別場 基礎伏図・基礎詳細図	1/100・1/30
04	特記仕様書(4)	N/S	23	不燃ごみ選別場 土台伏図・梁伏図	1/100
05	仮設計画図	1/400	24	不燃ごみ選別場 軸組図	1/100
06	求積図	N/S	25	不燃ごみ選別場 金物伏図・オメガブレース標準図	1/100
07	現況配置図	1/400	26	不燃ごみ選別場 木造継手仕口図	N/S
08	配置図・付近見取図	1/400	27	不燃ごみ選別場 木造金物詳細図	N/S
09	不燃ごみ選別場 平面図・屋根伏図・仕上表	1/100	28	不燃ごみ集積場 基礎伏図・基礎詳細図	1/100・1/30
10	不燃ごみ選別場 立面図・断面図	1/100	29	不燃ごみ集積場 土台伏図・梁伏図	1/100
11	不燃ごみ選別場 断面詳細図	1/30	30	不燃ごみ集積場 軸組図	1/100
12	不燃ごみ選別場 平面詳細図	1/50	31	不燃ごみ集積場 金物伏図・オメガブレース標準図	1/100
13	不燃ごみ選別場 展開図・天井伏図	1/100	32	不燃ごみ集積場 木造継手仕口図	N/S
14	不燃ごみ集積場 平面図・屋根伏図・仕上表	1/100	33	不燃ごみ集積場 木造金物詳細図	N/S
15	不燃ごみ集積場 立面図・断面図	1/100	34	電気設備工事仕様書・盤類結線図・照明器具一覧表	N/S
16	不燃ごみ集積場 断面詳細図	1/30	35	構内配電線路図	1/300・1/100
17	不燃ごみ集積場 平面詳細図	1/50	36	不燃ごみ集積場・不燃ごみ選別場 電気設備図	1/100
18	不燃ごみ集積場 展開図・天井伏図	1/100	37	休憩所 参考図	1/100
19	建具表・ユニット表	1/100・1/30			

03	土 工 事		06	コンクリート工事		08	ブロック・パネル工事													
01	根 切 り	根切り工法は着手前に地盤の地層・地下水状況及び隣接建物・工作物への影響を把握し監督員と協議して決定すること。切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、原則として根切り深さが1.5mを超える場合は山留めを設けること。	01	設 計 基 準 強 度	コンクリートの設計基準強度（F _c ）は材齢28日の圧縮強度によるものとする。 ○ 基礎コンクリート F _c （N/mm ² ）…（○24 ・ 21 ・ 18） スランブ（cm）…（○18 ・ 15） ○ 土間コンクリート F _c （N/mm ² ）…（・ 21 ○18 ・ 16） スランブ（cm）…（○18 ・ 15） ・ デッキコンクリート F _c （N/mm ² ）…（・ 21 ・ 18 ・ 16） スランブ（cm）…（・ 18 ・ 15） ○ 均しコンクリート F _c （N/mm ² ）…（・ 21 ○18 ・ 16） スランブ（cm）…（・ 18 ○15）	A	コンクリートブロック造													
02	埋 戻 し	○ 方 法 ・ A種（山砂の類） ○ B種（根切り土の良土） ・ その他（ ）	02	コンクリートの種類	○ コンクリートはレディーミクストコンクリートとし、その種別はⅠ類（JIS表示許可工場で製造されたコンクリート）とする。	01	コンクリートブロックの 種 類	・ コンクリートブロックはJISA5406による規格品とする。 ・ 普通ブロック…種別（・ A種 ・ B種 ・ C種） 厚さ（・ 50 ・ 100 ・ 120 ・ 150） ・ 防水ブロック…種別（・ C種） 厚さ（・ 100 ・ 120 ・ 150）												
03	盛 土	○ 方 法 ・ A種（山砂の類） ・ B種（根切り土の良土） ・ その他（ ）	03	セ メ ン ト	○ セメントの種類は下記による。 ○ 普通ポルトランドセメント又は混合セメントA種 ・ その他（ ）	02	ブ ロ ッ ク 目 地	・ ブロック目地モルタル（容積比調合 セメント1：砂2.5）の目地幅は10mmとする。 ・ 防水ブロックの目地は防水モルタルを使用する。												
04	残 土 処 分	○ 構 内 処 分 ・ 集積先端均し ○ 敷均し整地 ・ その他（ ） ○ 構 外 処 分 ○ 指定あり（漆垣内町地内1km以内） ・ 指定なし（自由処分）	04	配 合 表	○ 施工に先立ちコンクリート製造工場の配合表を提出して監督員の承認を得ること。	03	補 強 鉄 筋	・ 鉄筋の種類は鉄筋工事の項目に準ずる。 ・ 配筋は右の表による。 <table><tr><td></td><td>タテ筋（主筋）</td><td>ヨコ筋（配力筋）</td></tr><tr><td>内 壁</td><td>D10-@400</td><td>D10-@400</td></tr><tr><td>外 壁</td><td>D10-@400</td><td>D10-@400</td></tr></table>		タテ筋（主筋）	ヨコ筋（配力筋）	内 壁	D10-@400	D10-@400	外 壁	D10-@400	D10-@400			
	タテ筋（主筋）	ヨコ筋（配力筋）																		
内 壁	D10-@400	D10-@400																		
外 壁	D10-@400	D10-@400																		
05	山 留 め	・ 山留めは労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令に従い、安全に設置すること。	05	温 度 補 正	○ コンクリート打設後の平均気温が16℃未満の期間は3N/mm ² 、8℃未満の期間は6N/mm ² の強度補正を行う。また平均気温が25℃を超える期間も6N/mm ² の強度補正を行う。	04	検 査 ・ 試 験	・ 立会 ・ 報告 ・ 配筋検査…補強鉄筋の径、本数、継手												
06	検 査 ・ 試 験	○ 立会 ○ 報告 ○ 根切り終了時の検査…深さ、幅、長さ及び床ざらいの状態	06	混 和 剤	○ 混和剤の種類はJISA6204（コンクリート用化学混和剤）によるA剤、A剤減水剤及び高性能A剤減水剤とする。	05	そ の 他	・ ・												
07	そ の 他	○ 根切り底の状態が悪く地盤改良等の処置が必要な場合は監督員と協議しその指示に従うこと。 ○ 残土処分先については高山市指定民間用地とし、田畑の敷上げ整地まで行うこと。	07	塩 化 物 量	○ 塩化物量…0.30kg/m ³ 以下とする。	B ALCパネル（軽量気泡コンクリートパネル）														
04	地 業 工 事		08	アルカリ総量	○ アルカリ総量…3.0kg/m ³ 以下とする。	01	ALCパネルの種類	・ ALCパネルはJISA5416Kによる規格品をとし、厚さは下記による。 ・ 床用パネル…厚さ（・ 100 ・ 120 ・ 150） ・ 間仕切用パネル…厚さ（・ 80 ・ 100 ・ 120 ・ 150） ・ 外壁用パネル…厚さ（・ 80 ・ 100 ・ 120 ・ 150） ・ 外壁用薄パネル…厚さ（・ 35 ・ 37 ・ 50） ・ 屋根用パネル…厚さ（・ 50 ・ 80 ・ 100 ・ 120 ・ 150）												
01	地 耐 力 試 験	・ 試験の種類 ・ 標準貫入試験 ・ スウェーデン式サウンディング試験 ・ 試験の深さ…設計GLより（・ 5.0m ・ 7.0m ・ 10.0m）とする。 ・ 試験の箇所…監督員が指示する位置（・ 5ヶ所 ・ 3ヶ所 ・ 1ヶ所）とする。	09	試 験	○ コンクリート受入試験 ○ スランブ ○ 空気量 ○ 温度 ○ 塩化物量 ・ 単位容積質量 ○ コンクリート強度試験（構造体コンクリートの圧縮強度推定用） ○ 供 試 体 ・ 7日間（3個） ○ 28日間（3個） ・ 型枠脱型用（3個） ○ 養 生 ・ 標準水中養生 ○ 現場水中養生（水槽の最高及び最低の水温を毎日測定） ○ 試 験 場 ○ 公的機関 ・ 工場の試験場	02	デ ザ イ ン パ ネ ル	・ 材 料 名 称… 仕 様…												
02	表 層 地 盤 改 良	・ 改良の方法…セメント攪拌安定処理工法（固化剤100kg/m ³ ） ・ 改良の深さ…設計GLより mとする。 ・ 地盤の転圧 ・ 深さ30cm毎のボックホウによる転圧 ・ 振動ローラーによる転圧	10	打 込 み 時 間 の 限 度	○ コンクリートの練混ぜから打込み終了までの時間は、外気温が25℃以下の場合は120分、25℃を超える場合は90分とする。	03	工 法	・ 下記の工法による他、メーカーの施工基準による責任施工とする。 ・ 床・屋根 t80mm以上 ・ 敷込筋 ・ 外 壁 t100mm以上 ・ パネル縦使いスライド ・ パネル縦使い挿入筋 ・ パネル横使いアンカー ・ パネル横使いボルト締め ・ パネル縦使いロッキング ・ 外 壁 t50mm以下 ・ タッピングビス止め ・ ボルト締め ・ フック止め ・ 間仕切壁 t80mm以上 ・ パネル縦使いアンカー筋 ・ 乾式												
03	杭 地 業	・ 杭 の 種 類… ・ 杭 の 工 法… ・ 試 験 掘 削…杭打ちに先立ち試験掘削（1ヶ所）を行い、位置については施工時に監督員の指示に従うこと。尚、試験掘削深さは監督員の承認を得て決定すること。 ・ 支 持 耐 力… kN/本（メーカーの算定式による）	11	合 板 型 枠	○ 材 料 ○ 枠組パネル ・ t12mmのコンクリート型枠用合板 ○ 工 法 ○ ボルト式 ・ 番線式 ○ 打 増 し…打放合板型枠部分の打増しは（・ t20mm ・ t25mm）とする。	04	シ ー リ ン グ 材	・ 種 別 ・ ポリウレタン系（PU-2） ・ 変成シリコーン系（MS-2）												
04	砂 利 地 業	○ 材 料 ・ 切込砂利 ・ 切込砕石 ○ 再生砕石	12	コ ン ク リ ー ト 打 放 し 仕 上	○ A種…目違い不陸などの少ない良好な面 ・ B種…打放しのままで、目違いばらいを行った面	05	そ の 他	・ ・												
05	割 栗 地 業	○ 材 料…割栗石は硬質なものとして下記を使用する。 ・ 割玉石 ・ 切込砕石 ○ 再生砕石 ○ そ の 他…締固め歩み幅は用具の径以内とし、締固めによる凹凸は目つぶし砂利で上均しの上で充分な転圧をしなければならぬ。	13	合 板 型 枠 打 放 補 修	○ コンクリート打放仕上の不良箇所修正是、打放修正専門業者によるものとする。	09 防 水 工 事														
06	ラップルコンクリート地 業	・ 材 料…コンクリートの調合は、セメント1：砂3：砂利6（容積比）とし、コンクリートと玉石の比は1：1程度にする。 ・ 強 度…F _c 18（N/mm ² ）	14	検 査 ・ 試 験	○ 立会 ○ 報告 ○ コンクリート受入試験（150m ³ ごとに1回以上） ・ 立会 ○ 報告 ○ コンクリート強度試験（28日） ○ 立会 ○ 報告 ○ 型枠寸法検査…型枠の寸法、鉄筋のかぶり	01	アスファルト防水	・ 材 料 名 称… 仕 様…												
07	均しコンクリート地業	○ 均しコンクリートの厚さは（○ 50mm ・ 60mm ・ 80mm）とし、平坦に仕上げる。	15	そ の 他	・ ・	02	シ ー ト 防 水	・ 材 料 名 称… 仕 様…												
08	断 熱 材 敷	・ スラブ・土間コンクリートの部分には、押出法ポリスチレンフォーム（3種b）t50mmを設計図書指示範囲に敷込む。尚、ポリスチレンフォームは隙間のないよう敷詰める。	07 鉄 骨 工 事		01 鋼 材 の 種 類	03	塗 膜 防 水	・ 材 料 名 称… 仕 様… ・ 材 料 名 称… 仕 様… ・ 材 料 名 称… 仕 様… ・ 材 料 名 称… 仕 様…												
09	防 湿 シ ー ト 敷	○ スラブ・土間コンクリートの部分には、基礎地業完了後砕石を厚さ10mm程度に敷均しの上でポリエチレンフィルムt0.15mmを設計図書指示範囲に敷込む。尚、ポリエチレンフィルムの重ね幅は300mm以上とする。	02	規 格 品 証 明	・ 形 鋼 ・ SS400 ・ SN400B ・ SN490C ※規格相当品 ・ 丸型・角型鋼管 ・ STK400 ・ STKR400 ・ BCR295 ※規格相当品 ・ 鋼 板 ・ SS400 ・ SN400B ・ SN490C ※規格相当品 ・ ベースプレート ・ SS400 ・ SM490A ・ SN490B ※規格相当品 ・ 軽 量 形 鋼 ・ SSC400 ・ 高 力 ボ ル ト ・ JISの高力ボルト F10T 規格品 ・ トルシア形高力ボルト S10T 規格品 ・ 普 通 ボ ル ト ・ SS400 中3級 規格品 ・ アンカーボルト ・ ABR400 ・ SM490A ・ SS400 ※規格相当品 ・ 柱 脚 ・ 特殊工法（露出型弾性固定柱脚工法）	04	F R P 防 水	・ 材 料 名 称… 仕 様…												
10	検 査 ・ 試 験	・ 立会 ・ 報告 ・ 地耐力試験…地耐力の試験立会 ・ 立会 ・ 報告 ・ 支持力検査…杭試験掘削中の支持力（電流計による） ・ 立会 ○ 報告 ○ 砕石検査…砕石厚、締固め状況	03	鉄 骨 加 工 工 場	・ JIS規格品は認定工場が発行する規格品証明書のあるものを用いる。 ・ 規格品証明書のあるものは原則として原本を提出し監督員の承認を得て材料試験を省くことができる。	05	責 任 保 証	・ 前記防水工事は専門業者の責任施工とし、受注者及び施工会社並びに製造メーカーは保証書に記名捺印の上で監督員に提出すること。尚、保障期間は10年以上とする。												
11	そ の 他	・ 表層地盤改良後は六価クロム溶出試験（環境庁告示46号）により溶出量を確認すること。 ・	04	溶 接	・ 鉄骨製作工場の性能評価基準の内で下記のグレードの工場とする。 ・ Hグレード ・ Mグレード ・ Rグレード ・ Jグレード ・ 設定しない	06	シ ー リ ン グ 材	<table><tr><td>種 類</td><td>記 号</td><td>施 工 箇 所</td></tr><tr><td>○ 変成シリコーン系</td><td>MS-2</td><td>金属－金属</td></tr><tr><td>・ ポリウレタン系</td><td>PU-2</td><td></td></tr><tr><td>・ シリコーン系</td><td>SR-1</td><td></td></tr></table>	種 類	記 号	施 工 箇 所	○ 変成シリコーン系	MS-2	金属－金属	・ ポリウレタン系	PU-2		・ シリコーン系	SR-1	
種 類	記 号	施 工 箇 所																		
○ 変成シリコーン系	MS-2	金属－金属																		
・ ポリウレタン系	PU-2																			
・ シリコーン系	SR-1																			
05	鉄 筋 工 事		05	防 錆 処 理	・ 防 錆 塗 装…鉛クロムフリー錆止め（JISK5674）とし、塗装回数は工場1回、現場タッチアップ1回とする。ただし、組立後塗装できない部分は工場2回とする。 ・ 亜鉛メッキ…熔融亜鉛メッキ2種（JISH8641）とし、下記の等級とする。 ・ HDZ55（A種） ・ HDZ45（B種） ・ HDZ35（C種） ・ 室 内 部 分…水性1液速乾エポキシ系錆止め塗料（F☆☆☆☆）	07	検 査 ・ 試 験	・ 立会 ・ 報告 ・ 防水面水張り試験…水張り状態1週間の漏水確認												
01	鉄 筋 の 種 類	○ 異 形 鉄 筋 （JISG3112） ・ 1種 SR235 ※規格相当品（寸法・強度保証） ○ 2種 SD295A ※規格相当品（寸法・強度保証） ・ 2種 SD295B ※規格相当品（寸法・強度保証） ・ 3種 SD345 ※規格相当品（寸法・強度保証） ・ 4種 SD390 ※規格相当品（寸法・強度保証）	06	柱 底 均 し モ ル タ ル	・ 鉄骨建方終了後、柱底には、ベースプレート下端全面に充分にゆきわたるように、無収縮モルタル（容積比調合 セメント1：砂2）を詰込む。但し特殊工法アンカーボルトを使用した場合は、メーカーの指定工法による。	08	そ の 他	・ ・												
02	規 格 品 証 明	○ JIS規格品は認定工場が発行する規格品証明書のあるものを用いる。 ○ 規格品証明書のあるものは原則として原本を提出し監督員の承認を得て材料試験を省くことができる。	07	耐 火 被 覆	・ 耐火被覆に用いる吹付ロックウールは半乾式工法とする。 ・ 柱…厚さ25mm 耐火1時間（FP060CN-9460） ・ 梁…厚さ25mm 耐火1時間（FP060BM-9408）	工事名 資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事														
03	継 手	○ 種 類…重ね継手（D10～D16） ガス圧接（D19以上） ○ 重 ね 継 手…定着の長さは「標準仕様書」による。 ・ 圧 接 工…圧接工はJISZ3881による技量を有する圧接技量資格者が行い、技術証明書を経験員に提示する。 ・ 圧接部試験…第三者検査機関による超音波探傷試験を行うこと。試験箇所数は1ロットに対し30箇所とし、ロットから無作為に抜き取る。 圧接部のふくらみの形状及び寸法等の外観試験を全圧接部に対し行うこと。	08	検 査 ・ 試 験	・ 立会 ・ 報告 ・ 鉄骨原寸検査…各部寸法、階段詳細、仕口及び継手、CAD施工図 ・ 立会 ・ 報告 ・ 鉄骨製品検査…部材寸法（肉厚）、各部寸法、防錆塗装 ・ 立会 ・ 報告 ・ 溶接部試験…完全溶込み溶接部の超音波探傷試験（全体の10％） ・ 立会 ・ 報告 ・ 高力ボルト締め検査…JIS形高力ボルト：トルクコントロール法 ・ 立会 ・ 報告 ・ 鉄骨上棟時の検査…建物の倒れ：トランシットによる計測。 ・ 立会 ・ 報告 ・ 耐火被覆検査…被覆厚	図 名	特記仕様書（2）													
04	末 端 部 フ ッ ク	○ 鉄筋の末端部には、下記の場合にはフックを設ける。 1）柱の四隅にある主筋で重ね継手の場合及び最上階の柱頭又は基礎柱脚頭にある場合。 2）梁主筋の重ね継手が梁の出隅及び下端の両端にある場合。ただし地中梁を除く。	09	そ の 他	・ ・	縮 尺	N/S	番 号	37枚の内 02号											
05	各 部 の 補 強	○ 下記の部分の補強は、設計図書及び「標準仕様書」により補強する。 1）梁の貫通孔の補強 2）壁の開口部の補強 3）床版の開口部の補強	設計 年月日 令和5年 8月																	
06	梁 貫 通 孔 の 補 強	・ 梁貫通孔の補強に既製品を用いる場合は国土交通大臣認定品とし、監督員の承認を得ること。	設 計 有限会社アプデザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀																	
07	溶 接 金 網	・ 溶接金網はJISG3551によるものとし、網目の形状、寸法及び鉄線の径は設計図書中の特記による。	高 山 市																	
08	後 施 エ ア ン カ ー	・ 金属拡張アンカー ・ カプセル型接着系樹脂アンカー ・ 施工に当ってはメーカー仕様書を提出して監督員の承認を得ること。																		
09	検 査 ・ 試 験	○ 立会 ○ 報告 ○ 配筋検査…組立鉄筋の径、本数、かぶり、間隔、継手 ・ 立会 ・ 報告 ・ 圧接部試験…圧接部の超音波探傷試験、外観検査																		
10	そ の 他	・ ・																		

10	石 工 事			
01	材 料	・ 石材の仕様は下記の表による。		
		材 料 名 称	寸 法	仕 様
02	検 査 ・ 試 験	・ 立会 ・ 報告 ・ 原石検査…加工工場による目視		
03	そ の 他	・ サンプル提出…監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ・		

11	タ イ ル 工 事			
01	材 料	・ タイルの仕様は下記の表による。		
		材 料 名 称	寸 法	仕 様
				役 物
				施 工 箇 所
02	伸 縮 目 地	・ シーリング材は防水工事のシーリング材の項目による。		
03	検 査 ・ 試 験	・ 立会 ・ 報告 ・ 外壁タイルの接着力試験		
04	そ の 他	・ サンプル提出…監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ・ タイル目地は抗菌・防カビタイプとする。		

12	木 工 事			
01	含 水 率	○ 木材の含水率は下記の表による。		
			○ A 種	・ B 種
		構造材・下地材	1 5 %以下	2 0 %以下
		造 作 材	1 5 %以下	1 8 %以下
02	材 種 ・ 等 級 ・ 材 質	○ 木材の仕様は下記の表による。材種を代用する場合は監督員の承諾を得ること。		
		種 別	施 工 箇 所	材 種
				等 級
				無節上小節小節特一等一等
		構造材	土台・大引	桧材
		〃	柱・土台（見掛かり）	桧材
		〃	柱・間柱・筋違	桧材
		〃	梁（見掛かり）	米松材
		〃	梁・母屋・垂木・火打	米松材
		下地材	木下地（胴縁等）	桧材
		造作材	内外部（サッシ枠・額縁等）	桧材
		板 材	内外部（）	
03	木 材 証 明	・ 使用する木材の内で次の材料は、岐阜証明材推進制度実施要領（平成19年1月24日付県流第463号林政部長通知）第12条により証明された木材を使用すること。ただし、岐阜証明材推進制度による証明運用開始（平成19年4月1日）前に出荷等されている木材で、岐阜県産材認証制度要綱（平成13年8月1日森第351号農山村整備局通知（平成19年3月31日付で廃止））第8条による認証を受けたものについては要領第12条により証明されたものとみなす。 ・ 構造材・下地材・造作材で使用する全ての木材（桧・杉材） ・ その他指定樹種以外は全て高山市産材（調達が困難な場合は岐阜県産材にできるが監督員の承認を得ること）とし、納品書等で確認できるものとする。 ○ 柱、梁などの主要構造はすべてJAS（日本農林規格）製品またはぎふ性能表示材を使用すること。ただし、そま角、丸太等のJAS製品またはぎふ性能表示材で供給できない部材については、ぎふ証明材の使用を認める。		
04	断 面 寸 法	○ 設計図書中の木材寸法は全て造作材は仕上り寸法とし、構造材・下地材は挽立て寸法とする。		
05	防 蟻 防 腐 処 理	○ 防蟻防腐材は水溶性木材保護塗料とし、下記の部分に充分塗布する。 ○ 地面から高さ1mまでの部分、但し見掛け部を除く。 ○ コンクリートに接する土台、転ばし大引、転ばし根太の全面。 ・ 水廻りの木下地部分、壁体中に給排水管が埋込まれている部分。		
06	集 成 材	・ 使用する集成材は下記の種別とする。 ・ 構造用集成材 ・ 大断面集成材 ・ 内法造作集成材 ・ 板状集成材 ・ 集成材として加工する木材は全て岐阜県産材を原則とする。		
07	検 査 ・ 試 験	○ 立会 ○ 報告 ○ 製材完了時の検査…樹種、等級、材質の確認 ○ 立会 ○ 報告 ○ 現場搬入時の検査…含水率及び木材寸法の確認 ○ 立会 ○ 報告 ○ 上棟後の検査…建方完了後、筋違い、火打梁、仕口金物等の確認		
08	そ の 他	・ サンプル提出…造作材は監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ・		

13	屋 根 工 事			
01	仕 上 材	○ 材 料 名 称…重ね型折板葺 SS－600型 仕 様…艶消カラーGL鋼板t0. 5×H88、タイトフレーム工法 ・ 材 料 名 称… 仕 様…		
02	断 熱 材	・ 材 料 名 称… 仕 様…		
03	防 水 シ ー ト	・ 材 料 名 称…		
04	下 地 材	・ 材 料 名 称…		
05	副 資 材	○ 材 料 名 称…ケラバパネル・鼻隠パネル 仕 様…艶消カラーGL鋼板製t0. 5 ○ 材 料 名 称…見切面戸、壁取合見切 仕 様…艶消カラーGL鋼板製		
06	雨 樋	○ 軒樋：カラー鋼板製折板用前高角樋W120×H90 内吊金物φ600 ○ 壁樋：カラー鋼板製丸樋φ90 掴金物φ1200程度		
07	排 水 ド レ イ ン	・ ルーフドレイン： ・ 中継ルーフドレイン：		
08	雪 止 め	○ 雪止アングル：L－40×40×3（亜鉛メッキ品、バレーガード付）φ2730 ○ 雪止金具：重ね型折板用（亜鉛メッキ品）φ600		
09	落 雪 防 止	・		
10	そ の 他	○ 屋根材についてはメーカーからの10年保証期間の保証書を監督員に提出する。 ・		

14	金 属 工 事																												
01	軽 量 鋼 製 床 下 地	・ 材 料 名 称… 仕 様…																											
02	軽 量 鋼 製 壁 下 地	<table><tr><td>記 号</td><td>ス タ ッ ド</td><td>ラ ン ナ ー</td><td>振 止 め</td></tr><tr><td>・ LGS 50</td><td>50×45×0. 8</td><td>52×40×0. 8</td><td>25×10×1. 2</td></tr><tr><td>・ LGS 65</td><td>65×45×0. 8</td><td>67×40×0. 8</td><td>25×10×1. 2</td></tr><tr><td>・ LGS 75</td><td>75×45×0. 8</td><td>77×40×0. 8</td><td>25×10×1. 2</td></tr><tr><td>・ LGS 90</td><td>90×45×0. 8</td><td>92×40×0. 8</td><td>25×10×1. 2</td></tr><tr><td>・ LGS100</td><td>100×45×0. 8</td><td>102×40×0. 8</td><td>25×10×1. 2</td></tr></table>	記 号	ス タ ッ ド	ラ ン ナ ー	振 止 め	・ LGS 50	50×45×0. 8	52×40×0. 8	25×10×1. 2	・ LGS 65	65×45×0. 8	67×40×0. 8	25×10×1. 2	・ LGS 75	75×45×0. 8	77×40×0. 8	25×10×1. 2	・ LGS 90	90×45×0. 8	92×40×0. 8	25×10×1. 2	・ LGS100	100×45×0. 8	102×40×0. 8	25×10×1. 2			
記 号		ス タ ッ ド	ラ ン ナ ー	振 止 め																									
・ LGS 50		50×45×0. 8	52×40×0. 8	25×10×1. 2																									
・ LGS 65		65×45×0. 8	67×40×0. 8	25×10×1. 2																									
・ LGS 75		75×45×0. 8	77×40×0. 8	25×10×1. 2																									
・ LGS 90		90×45×0. 8	92×40×0. 8	25×10×1. 2																									
・ LGS100		100×45×0. 8	102×40×0. 8	25×10×1. 2																									
・ スタッドの間隔は、仕上材直貼及び壁紙・塗装下地材直貼の場合は300mmとし、その他は450mmとする。																													
・ 振れ止めは床面ランナー下端から約1. 2mごとに設ける。 開口部の縦枠補強材は上下共にあと施工アンカー等で固定した金物に溶接又はボルト留めする。																													
・ 外壁胴縁に面する部分の軽量鉄骨壁下地は（ ・ LGS50 ・ LGS65）とする。																													
03	軽 量 鋼 製 天 井 下 地	<table><tr><td>記 号</td><td>シングル野縁</td><td>ダブル野縁</td><td>野 縁 受 材</td></tr><tr><td>・ LGS 19</td><td>25×19×0. 5</td><td>50×19×0. 5</td><td>38×12×1. 2</td></tr><tr><td>・ LGS 25</td><td>25×25×0. 5</td><td>50×25×0. 5</td><td>38×12×1. 6</td></tr></table>	記 号	シングル野縁	ダブル野縁	野 縁 受 材	・ LGS 19	25×19×0. 5	50×19×0. 5	38×12×1. 2	・ LGS 25	25×25×0. 5	50×25×0. 5	38×12×1. 6															
記 号		シングル野縁	ダブル野縁	野 縁 受 材																									
・ LGS 19		25×19×0. 5	50×19×0. 5	38×12×1. 2																									
・ LGS 25		25×25×0. 5	50×25×0. 5	38×12×1. 6																									
・ 野縁受材、吊ボルトの間隔は900mm程度とし、周辺部は端から150mm以内とする。																													
・ 天井のふところが1. 5m以上の部分は縦横間隔1. 8m程度に振れ止めを設ける。																													
・ 内外共にハンガー及びクリップは耐震仕様（ボルト締め等）とする。																													
04	外 装 材	・ 材 料 名 称… 仕 様…																											
05	手 摺	・ 材 料 名 称… 仕 様… ・ 材 料 名 称… 仕 様…																											
06	笠 木 ・ 水 切	・ 材 料 名 称… 仕 様… ・ 材 料 名 称… 仕 様… ・ 材 料 名 称… 仕 様… ・ 材 料 名 称… 仕 様…																											
07	エ キ ス パ ン シ ョ ン	・ 材 料 名 称… 仕 様…																											
08	そ の 他 金 物	・ 材 料 名 称… 仕 様… ・ 材 料 名 称… 仕 様… ・ 材 料 名 称… 仕 様… ・ 材 料 名 称… 仕 様…																											
09	そ の 他	・ 製作品は部分詳細図に準ずる。 ・																											

15	左 官 工 事			
01	モ ル タ ル 塗	○ 普通モルタル…セメントはJIS規格品による普通ポルトランドセメントによる。 ・ 防水モルタル…防水剤はJISA6101（建築用セメント防水剤）の規定による。		
02	外 壁 す そ 廻 り	・ すそ廻りコンクリートの見掛け部分は薄塗モルタル（ ・ 刷毛引 ・ 金ゴテ）仕上とする。 ・ モルタル種類 ・ 樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル		
03	副 資 材	・ コーナービート、見切縁、目地棒等の種類及び施工箇所については監督員の指示による。		
04	不 陸 調 整 材	・ 不陸調整は下地面の清掃を行い、カチオン系ポリマーセメントモルタル下地調整塗材により平滑に塗り付ける。		
05	セルフレベリング材	・ 種 類 ・ セメント系 ・ 石膏系		
06	左官塗床材・塗壁材	・ 左官塗材の仕様は下記の表による。		
		材 料 名 称	種 類	仕 様
07	柱 底 均 し モ ル タ ル	・ 鉄骨建方終了後、柱底には、ベースプレート下端全面に充分にゆきわたるように、無収縮モルタル（容積比調合 セメント1：砂2）を詰込む。 ・ 無収縮モルタル打設に先立ちJロートによる流下時間測定試験を行うこと。		
08	そ の 他	・ サンプル提出…仕上塗材は監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ・		

16	建 具 ・ 家 具 工 事		
A	金 属 製 建 具		
01	一 般 事 項	○ 特に係員の指示する特殊な建具については図示がなくても気密性・水密性・耐風圧等について、充分検討し制作取付を行うこと。	
02	鋼 製 建 具	・ 鋼板の種類 ・ 普通鋼板 ・ ボンデ鋼板 ・ ボンデ亜鉛鋼板 ・ その他（ ） ・ 防 錆 処 理 ・ ジンクロメート錆止めペイント1回塗 ・ 溶融亜鉛メッキ処理 ・ ジンクロメートメッキ処理 ・ 注 意 事 項…窓・出入口の枠・方立・無目などは鋼板 t 2. 3mmとする。図示がなくとも外部廻り・機械室等・騒音を生じる場所の鋼製戸枠は、エアタイトゴム気密材を用いる。	
03	アルミニウム製建具	○ 種 類 ○ レディーメイド製品 ・ オーダーメイド製品 ○ 表 面 処 理 ○ 着色陽極酸化皮膜処理 ・ 無着色陽極酸化皮膜処理 ・ 焼付塗装 ○ 性 能 仕 様…建具の性能仕様は下記とする。（耐風圧性、気密性、水密性、遮音性、断熱性） ○ 断熱タイプ（S－5、A－4、W－5、T－2、H－3） ○ 一般タイプ（S－5、A－4、W－5、T－2、H－1） ○ ネット 戸 ○ クリアネット ・ ステンレスネット	
04	シ ャ ッ タ ー	○ 種 類 ・ 重量シャッター（ ・ 防火 ・ 防音） ○ 軽量シャッター ○ 開 閉 機 ○ 手動（軽量） ・ 電動（ ・ 重量 ・ 軽量） ○ 材 質 ○ カラー鋼板製 ・ 塩ビ鋼板製 ・ アルミ製	
05	そ の 他 の 建 具	・ 材 料 名 称… 仕 様…	
06	建 具 金 物	○ 金物の形状及び機能については、事前に見本品又は仕様書を提出して監督員の承認を得ること。 ・ 鍵類は市販品のキーボックスに案内札を取付けて引渡し時に提出する。 ・ 施錠はマスターキー対応とする。	
07	そ の 他	・ ・ ・	
B	木製建具・家具		
01	一 般 事 項	・ デザイン、仕様については建具表及び家具表によるものとするが、詳細については監督員の指示による。	
02	木 材 料	・ 材 種…建具表及び家具表による。材種を代用する場合は監督員の承諾を得ること。 ・ 含 水 率…加工及び組立時の含水率は天然乾燥 1 8 %以下、人工乾燥 1 5 %以下とする。	
03	合 板	・ 表面材及び下地材の合板のホルムアルデヒド放散等級はF☆☆☆☆以上とする。	
04	建 具 家 具 金 物	・ 金物の形状及び機能については、事前に見本品又は仕様書を提出して監督員の承認を得ること。 ・ 鍵類は市販品のキーボックスに案内札を取付けて引渡し時に提出する。 ・ 施錠はマスターキー対応とする。	
05	V O C 対 策	・ 特に合板・仕上塗装・接着剤については、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼンの含まれる量等に充分注意し資材の選定を行うこと。 ・ 上記が含まれる合板等を使用する場合は製品安全データシート（SDS）を提出の上で監督員と協議し指定濃度以下となるよう枯らし期間を充分取り現場搬入を行うこと。	
06	そ の 他	・ サンプル提出…表面材は監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。 ・	

工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	特記仕様書（3）		
縮 尺	N/S	番 号	3 7 枚の内 0 3 号
設 計 年月日	令和 5 年 8 月		
設 計	有限会社アブデザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

17

硝子工事

01

ガラスの種類

透明ガラス

フロート板ガラス

磨板ガラス

スリ板ガラス

型板ガラス

網入磨板ガラス

網入型板ガラス

合せガラス

合せガラス

和紙入合せガラス

強化ガラス

強化ガラス

型板強化ガラス

熱線ガラス

熱線吸収ガラス

熱線反射ガラス

複層ガラス

ペアガラス

Low-Eペアガラス

(遮熱断熱)

特殊ガラス

耐熱強化ガラス

装飾ガラス

鏡

02

ガラス留め材

シーリング

シリコン系シーリング材とする。但し、防火設備建具については準不燃シーリング材とする。

ガasket

アルミニウム製建具に用いる障子はグレイジングチャンネル形とする。

03

ガラスブロック

目地

目地幅は平積みの場合8～15mmとし、曲面積みの場合外側15mm以下、内側6mm以上とする。尚、6m以下ごとに伸縮調整目地を設ける。

水抜き孔

外部に面する下枠の溝には1m以下ごとにφ6mm以上の水抜き孔を設ける。

04

その他

18

吹付塗装工事

A

吹付材

01

材料

塗料は原則として製造所において指定された色及び艶に調合する。

02

素地ごしえ

内部吹付部分の素地ごしえは塗装材の項目に準ずる。

03

コンクリート面の素地

素地を充分に乾燥(含水率10%以下)させ、汚れ・付着物は面を傷つけないように除去する。

セメント系下地調整塗材にて穴・ひび割れを埋め平滑に仕上げる。

04

ALC面の素地

素地の汚れ・付着物は面を傷つけないように除去し合成樹脂エマルションシーラーを塗る。

セメント系下地調整塗材にて平滑に仕上げる。

05

モルタル面の素地

素地の汚れ・付着物は面を傷つけないように除去し合成樹脂エマルションシーラーを塗る。

06

ボード面の素地

素地の汚れ・付着物は面を傷つけないように除去し吸込止シーラーを塗る。

07

吹付材

材料名称

仕様

材料名称

仕様

材料名称

仕様

材料名称

仕様

08

その他

サンプル提出

監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。

内部使用塗料のホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆以上とする。

使用塗料については製品安全データシート(SDS)を監督員に提出すること。

B

塗装材

01

材料

防火材料の指定がある場合は建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。

塗料は原則として製造所において指定された色及び艶に調合する。

02

木部の素地

木部の汚れ・付着物は面を傷つけないように除去し、油類は溶剤等で拭き取る。

ヤニは削り取り又は電気ゴテ焼きの上で溶剤等で拭き取る。

カンナ目、逆目、けば等は研磨紙P120～220を使用し研磨する。

着色剤を用いて着色する場合は色むらが出ないように乾いた布で拭き取って色が均一になるようにする。

03

鉄鋼面の素地

鉄鋼面の汚れ・付着物はスクレーパー・ワイヤーブラシ等で除去し、油類は溶剤等で拭き取る。

錆はディスクサンダー・スクレーパー・ワイヤーブラシ又は研磨紙P120～220で除去し、放置せずに次の工程に移る。

04

亜鉛メッキ鋼面の素地

亜鉛メッキ鋼面の汚れ・付着物はスクレーパー・ワイヤーブラシ等で除去し、油類は溶剤等で拭き取る。

ウオッシュプライマー1種(JISK5633)を塗り、2時間以上8時間以内に次の工程に移る。

05

コンクリート面
モルタル面の素地

素地を充分に乾燥(含水率10%以下)させ、汚れ・付着物は面を傷つけないように除去し吸込止シーラーを塗る。

合成樹脂エマルションパテにて穴・ひび割れを埋め、パテ乾燥後に研磨紙P120～220を使用し研磨し全面を平らに仕上げる。

06

ボード面の素地

釘頭・タタキ跡・傷等はパテ処理の上で研磨紙P120～220を使用し研磨する。

石膏ボードの目地処理材はジョイントコンパウンドとし、不陸を調整する。

吸込止シーラーを塗り合成樹脂エマルションパテをしごき取り平滑にし、パテ乾燥後に研磨紙P120～220を使用し研磨し全面を平らに仕上げる。

07

塗料

材料名称

DP：耐候性塗料(2回塗)

仕様

JISK5659

超耐久・超低VOC、1級フッ素樹脂塗料

材料名称

仕様

材料名称

仕様

材料名称

仕様

材料名称

仕様

材料名称

仕様

材料名称

仕様

材料名称

仕様

材料名称

仕様

08

その他

サンプル提出

監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。

内部使用塗料のホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆以上とする。

使用塗料については製品安全データシート(SDS)を監督員に提出すること。

19

内外装工事

A

床材

01

木質系製品

材料名称

仕様

材料名称

仕様

02

タイル製品

材料名称

仕様

03

シート製品

材料名称

仕様

04

断熱材

材料名称

仕様

05

その他

サンプル提出

監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。

B

壁材

01

木質系製品

材料名称

塗装合板t12.0

仕様

F☆☆☆☆品

材料名称

仕様

02

石膏製品

材料名称

仕様

材料名称

仕様

03

防火製品

材料名称

仕様

材料名称

仕様

04

不燃製品

材料名称

仕様

材料名称

仕様

05

金属製品

材料名称

縦張角波AF-10

仕様

遮熱艶消カラーGL鋼板t0.25、働き幅750

材料名称

仕様

06

シート製品

材料名称

仕様

材料名称

仕様

07

巾木

材料名称

仕様

材料名称

仕様

08

透湿防水材

材料名称

透湿防水シート

仕様

防蟻防腐剤対策品、JISA6111:2016

09

断熱材・吸音材

材料名称

仕様

材料名称

仕様

10

その他

サンプル提出

監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。

C

天井材

01

木質系製品

材料名称

仕様

材料名称

仕様

02

石膏製品

材料名称

仕様

03

不燃製品

材料名称

仕様

04

シート製品

材料名称

仕様

05

廻り縁

材料名称

仕様

06

断熱材

材料名称

仕様

07

その他

サンプル提出

監督員の指示による現物サンプルを提出して承認を得ること。

D

その他

01

材料

内外装材の仕様は下記の表による。

材料名称	仕様

20

ユニット工事

01

材料

ユニット材の仕様は下記の表による。

材料名称	仕様
選別台	製作品、スチール製DP塗

21

外構工事

01

一般事項

施工に先立ち隣地・既存道路の高低差などを示す現況実測図及び外構計画図を作成して監督員の承認を得ること。

材料

切込砂利

切込砕石

再生クラッシュラン

02

路盤材

舗装

密粒度アスファルトコンクリート(13)

厚さ(35)cm

細粒度アスファルトコンクリート(13)

厚さ(35)cm

03

アスファルト舗装

強度

Fc(N/mm²)

(211816)

補強

鉄筋(D10@200)

溶接金網(φ6@150)

04

コンクリート舗装

材料名称

緑石ブロック(地先境界ブロック)

仕様

コンクリート二次製品、W120×H120×L600

05

縁石等

材料名称

U字側溝(PU3-300C)

仕様

コンクリート二次製品、細目グレーチング：スチール製(亜鉛メッキ品)

06

側溝・集水樹

材料名称

U字側溝(U-180)

仕様

コンクリート二次製品

材料名称

集水樹(450角)

仕様

現場打コンクリート製、細目グレーチング：スチール製(亜鉛メッキ品)

材料名称

集水樹(250角)

仕様

コンクリート二次製品、蓋：コンクリート製

07

付帯外構

材料名称

雨水排水

仕様

VUφ100(直管、エルボ)

材料名称

仕様

材料名称

仕様

08

その他

その他の外構については外構図に準ずる。

22

工事区分

01

工事区分

設計図書による他、下記を工事区分とする。(○印を適用する。)

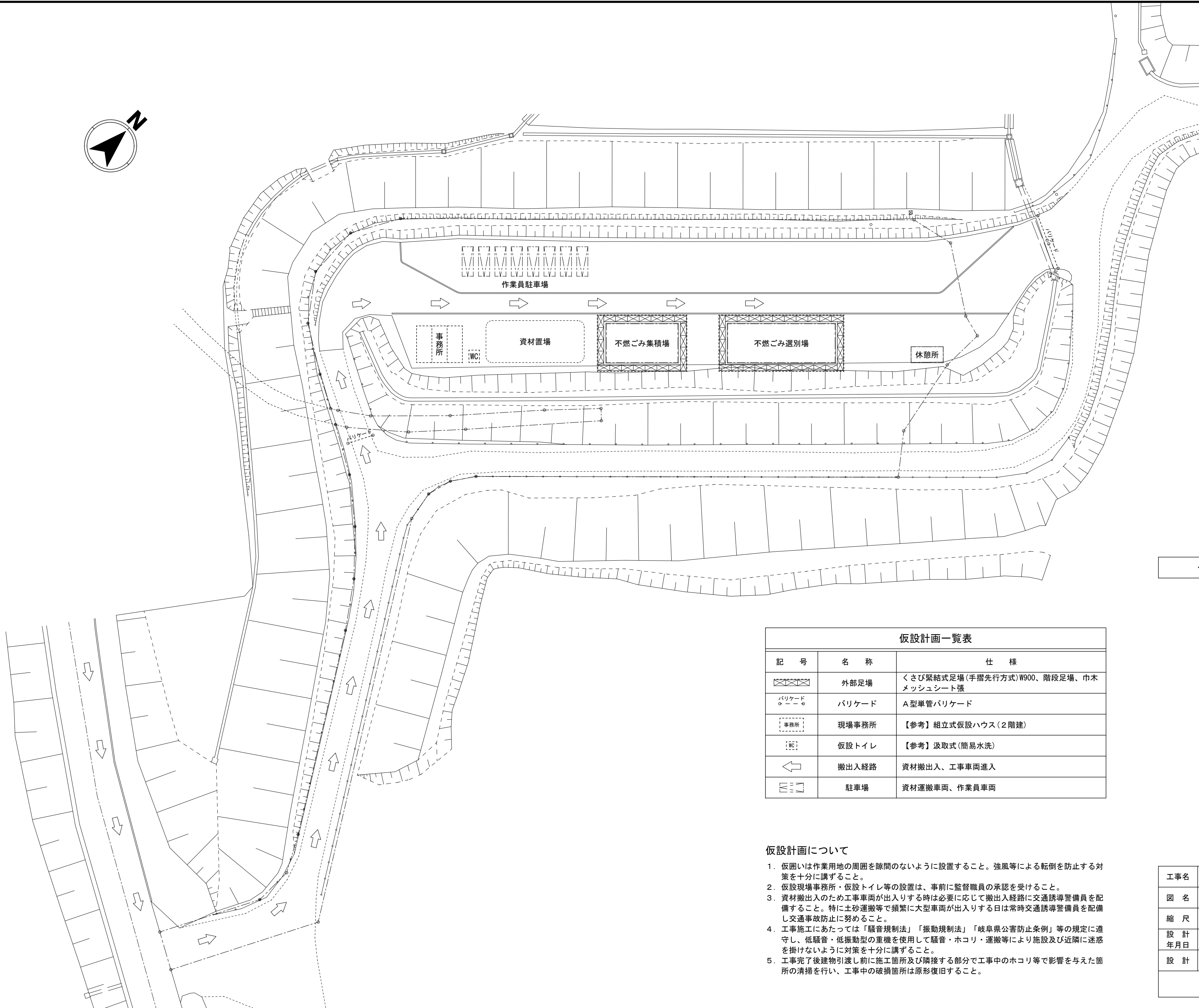
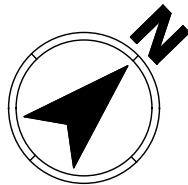
項目	工事区分				項目	工事区分			
	建築	電気	外構	別途		建築	電気	外構	別途
仮設足場等	○				床排水ビット				
設備用スリーブ工事		○			床排水樹				
設備用スリーブ構造体補強工事	○				排水ドレイン				
設備用スリーブ防水処理工事		○			軒樋・竖樋	○			
天井・壁埋込器具切込補強工事					竖樋以降の排水			○	
設備機械基礎					外部雨水排水			○	
床点検口切込補強工事					電柱建柱工事		○		
天井・壁点検口切込補強工事					ベルトコンベア本体及び設置工事				○
機械設備2次配線				○	ユニット休憩所建物及び基礎工事				○
配管配線ビット					外構工事				○

02

その他

ベルトコンベア及びユニット休憩所への電源供給は本工事(電気設備工事)とする。

工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事			
図名	特記仕様書(4)			
縮尺	N/S	番号	37枚の内04号	
設計年月日	令和5年8月			
設計	有限会社アブデザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀			
高山市				



仮設計画図 1/400

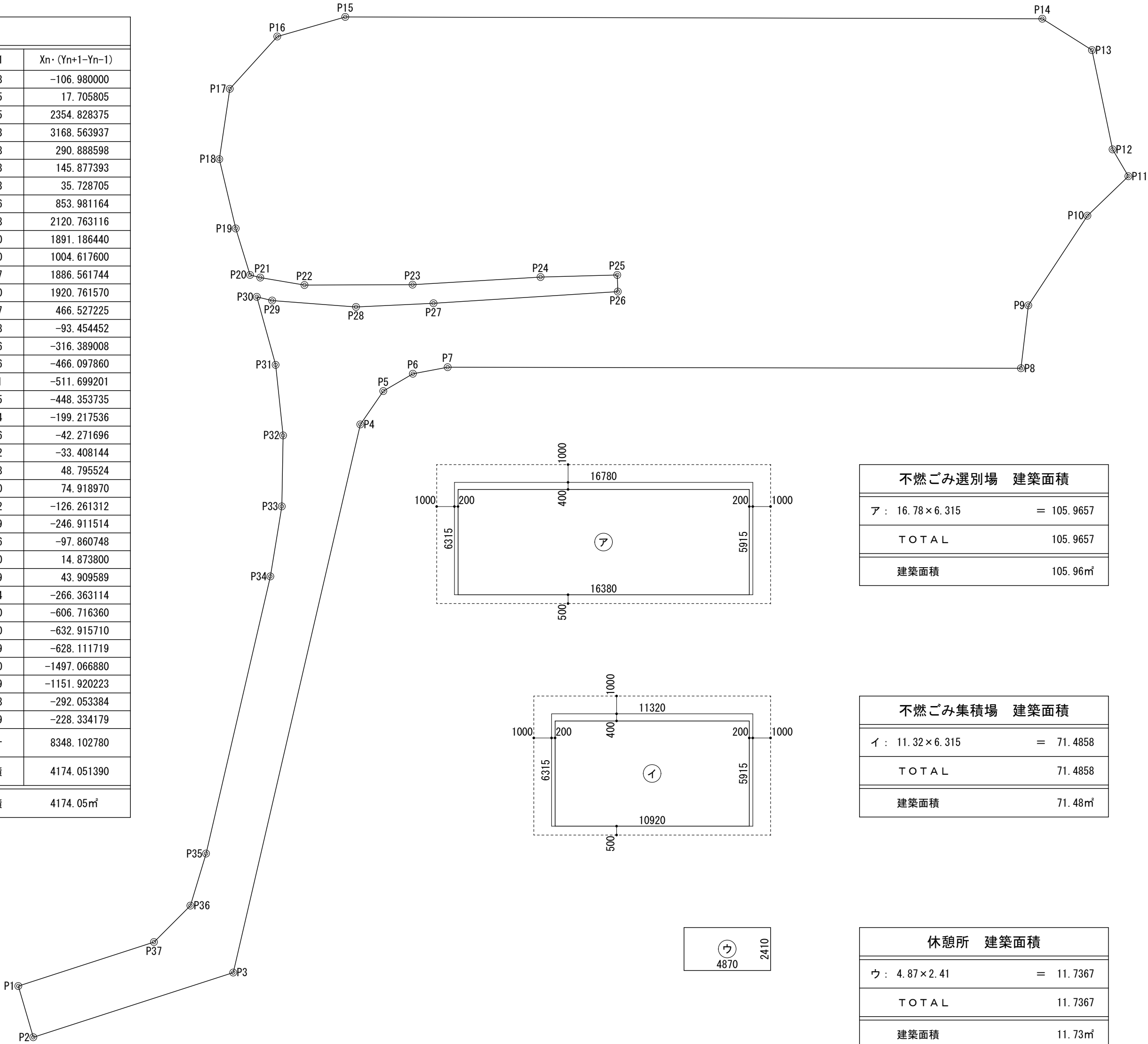
仮設計画一覧表		
記 号	名 称	仕 様
	外部足場	くさび緊結式足場(手摺先行方式)W900、階段足場、巾木メッシュシート張
	バリケード	A型単管バリケード
	現場事務所	【参考】組立式仮設ハウス(2階建)
	仮設トイレ	【参考】汲取式(簡易水洗)
	搬出入経路	資材搬出入、工事車両進入
	駐車場	資材運搬車両、作業員車両

仮設計画について

- 仮囲いは作業用地の周囲を隙間のないように設置すること。強風等による転倒を防止する対策を十分に講ずること。
- 仮設現場事務所・仮設トイレ等の設置は、事前に監督職員の承認を受けること。
- 資材搬出入のため工事車両が出入りする時は必要に応じて搬出入経路に交通誘導警備員を配備すること。特に土砂運搬等で頻繁に大型車両が出入りする日は常時交通誘導警備員を配備し交通事故防止に努めること。
- 工事施工にあたっては「騒音規制法」「振動規制法」「岐阜県公害防止条例」等の規定に遵守し、低騒音・低振動型の重機を使用して騒音・ホコリ・運搬等により施設及び近隣に迷惑を掛けないように対策を十分に講ずること。
- 工事完了後建物引渡し前に施工箇所及び隣接する部分で工事中のホコリ等で影響を与えた箇所の清掃を行い、工事中の破損箇所は原形復旧すること。

工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	仮設計画図		
縮 尺	1/400	番 号	3 7 枚の内 0 5 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

敷地面積				
N0	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn・(Yn+1-Yn-1)
P1	10.000	15.761	-10.698	-106.980000
P2	11.687	10.000	1.515	17.705805
P3	34.175	17.276	68.905	2354.828375
P4	48.469	78.905	65.373	3168.563937
P5	51.051	82.649	5.698	290.888598
P6	54.371	84.603	2.683	145.877393
P7	58.285	85.332	0.613	35.728705
P8	122.769	85.216	6.956	853.981164
P9	123.602	92.288	17.158	2120.763116
P10	130.247	102.374	14.520	1891.186440
P11	134.848	106.808	7.450	1004.617600
P12	133.072	109.824	14.177	1886.561744
P13	130.753	120.985	14.690	1920.761570
P14	125.175	124.514	3.727	466.527225
P15	46.774	124.712	-1.998	-93.454452
P16	39.128	122.516	-8.086	-316.389008
P17	33.785	116.626	-13.796	-466.097860
P18	32.611	108.720	-15.691	-511.699201
P19	34.449	100.935	-13.015	-448.353735
P20	36.064	95.705	-5.524	-199.217536
P21	37.211	95.411	-1.136	-42.271696
P22	42.182	94.569	-0.792	-33.408144
P23	54.338	94.619	0.898	48.795524
P24	68.733	95.467	1.090	74.918970
P25	77.366	95.709	-1.632	-126.261312
P26	77.426	93.835	-3.189	-246.911514
P27	56.698	92.520	-1.726	-97.860748
P28	47.980	92.109	0.310	14.873800
P29	38.551	92.830	1.139	43.909589
P30	36.821	93.248	-7.234	-266.363114
P31	38.942	85.596	-15.580	-606.716360
P32	39.781	77.668	-15.910	-632.915710
P33	39.631	69.686	-15.849	-628.111719
P34	38.347	61.819	-39.040	-1497.066880
P35	31.117	30.646	-37.019	-1151.920223
P36	29.358	24.800	-9.948	-292.053384
P37	25.261	20.698	-9.039	-228.334179
合 計			8348.102780	
合計面積			4174.051390	
敷地面積			4174.05㎡	



不燃ごみ選別場 建築面積	
ア：16.78×6.315	= 105.9657
TOTAL	105.9657
建築面積	105.96㎡

不燃ごみ選別場 床面積	
ア：16.38×5.915	= 96.8877
TOTAL	96.8877
床面積	96.88㎡

不燃ごみ集積場 建築面積	
イ：11.32×6.315	= 71.4858
TOTAL	71.4858
建築面積	71.48㎡

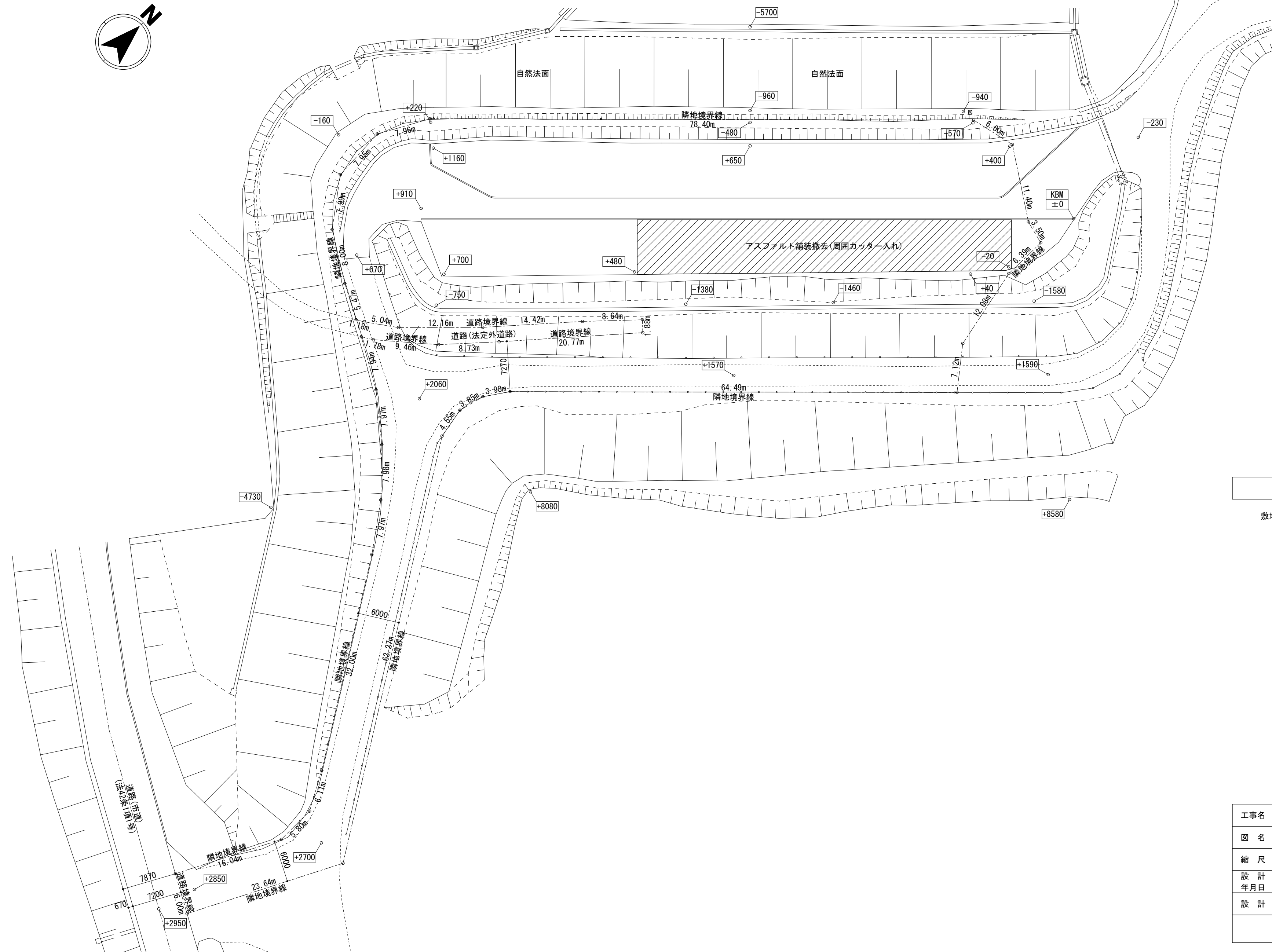
不燃ごみ集積場 床面積	
イ：10.92×5.915	= 64.5918
TOTAL	64.5918
床面積	64.59㎡

休憩所 建築面積	
ウ：4.87×2.41	= 11.7367
TOTAL	11.7367
建築面積	11.73㎡

休憩所 床面積	
ウ：4.87×2.41	= 11.7367
TOTAL	11.7367
床面積	11.73㎡

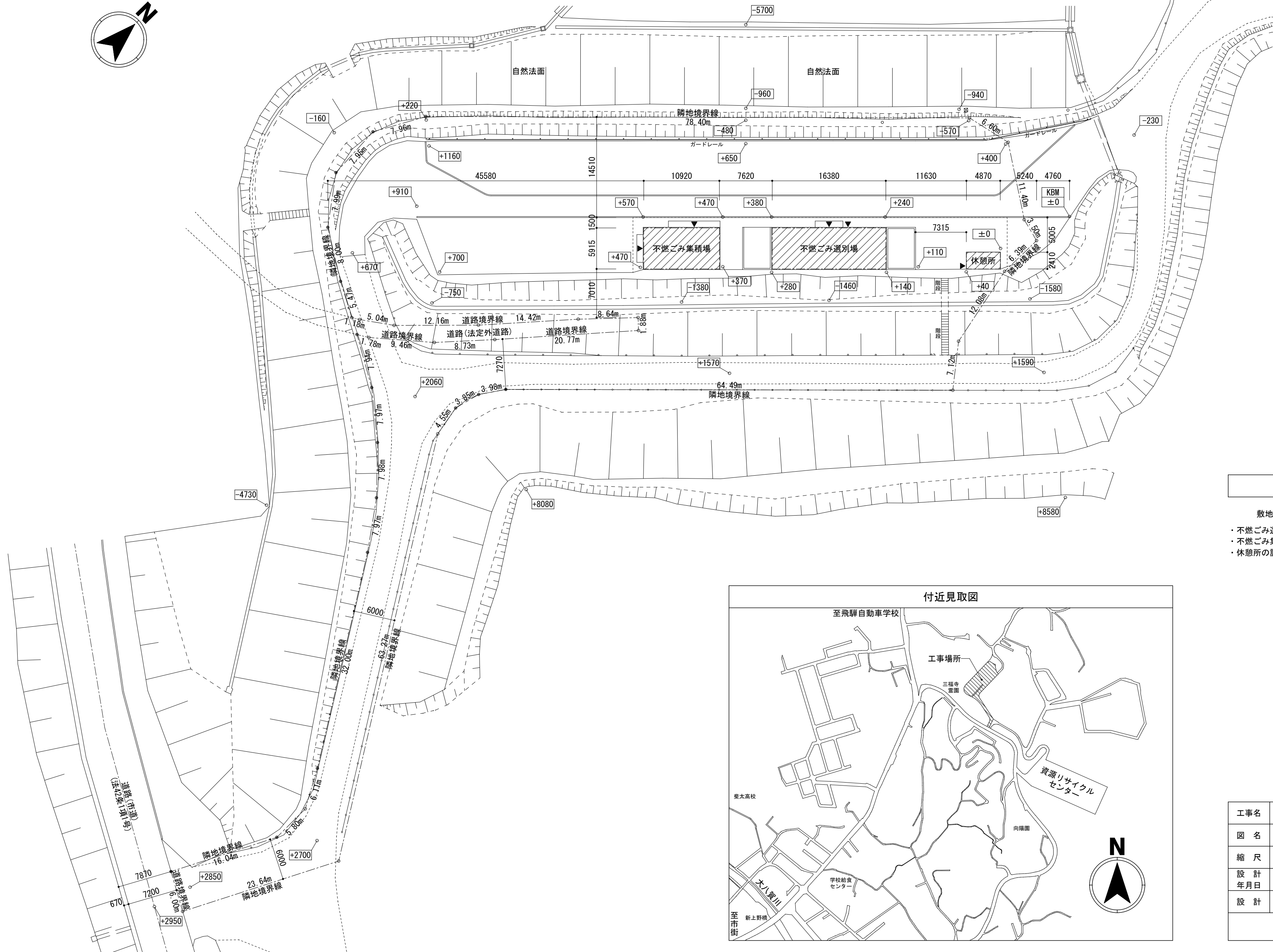
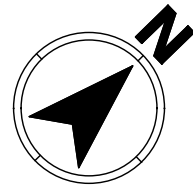
面積表			
	敷地面積	建築面積	床面積
不燃ごみ選別場	4174.05㎡	105.96㎡	96.88㎡
不燃ごみ集積場		71.48㎡	64.59㎡
休憩所		11.73㎡	11.73㎡
合計		189.17㎡	173.20㎡
		4.53%	4.15%

工 事 名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	求積図		
縮 尺	N/S	番 号	3 7 枚 の 内 〇 6 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



敷地面積 4174.05m²(1262.6坪)

工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	現況配置図		
縮 尺	1/400	番 号	37枚の内 07号
設 計 年月日	令和8年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

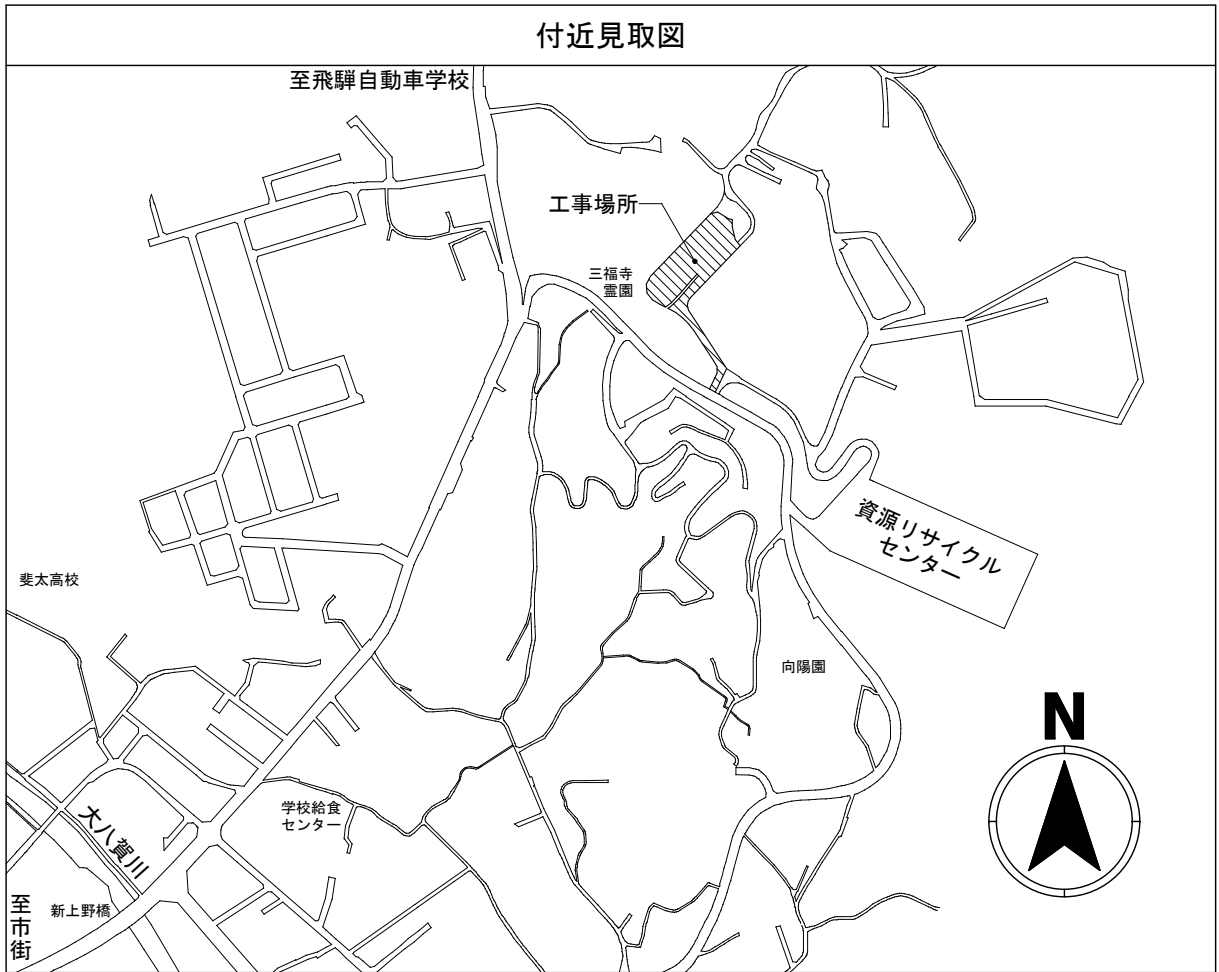


配置図 1/400

敷地面積 4174.05㎡(1262.6坪)

- ・不燃ごみ選別場の設計G LはKBM+240とする。
- ・不燃ごみ集積場の設計G LはKBM+470とする。
- ・休憩所の設計G LはKBM±0とする。

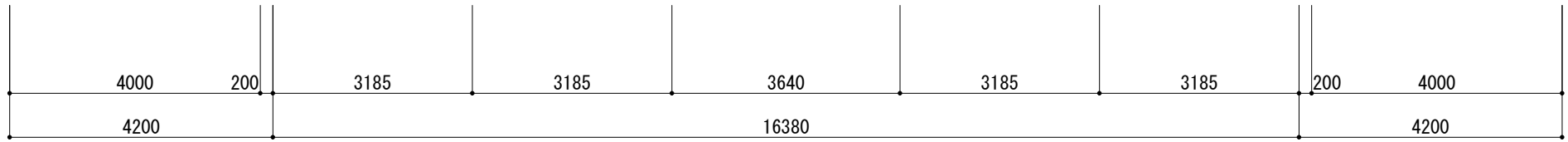
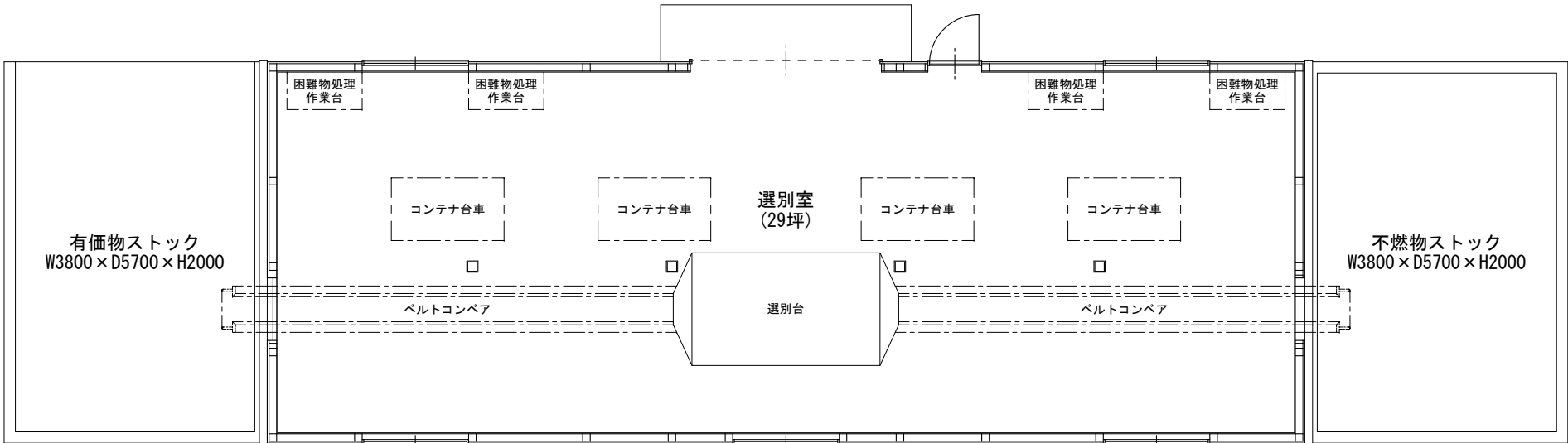
付近見取図



工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	配置図・付近見取図		
縮 尺	1/400	番 号	3 7 枚の内 0 8 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

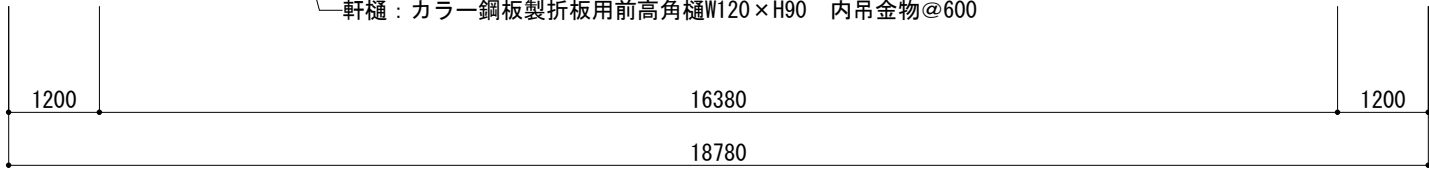
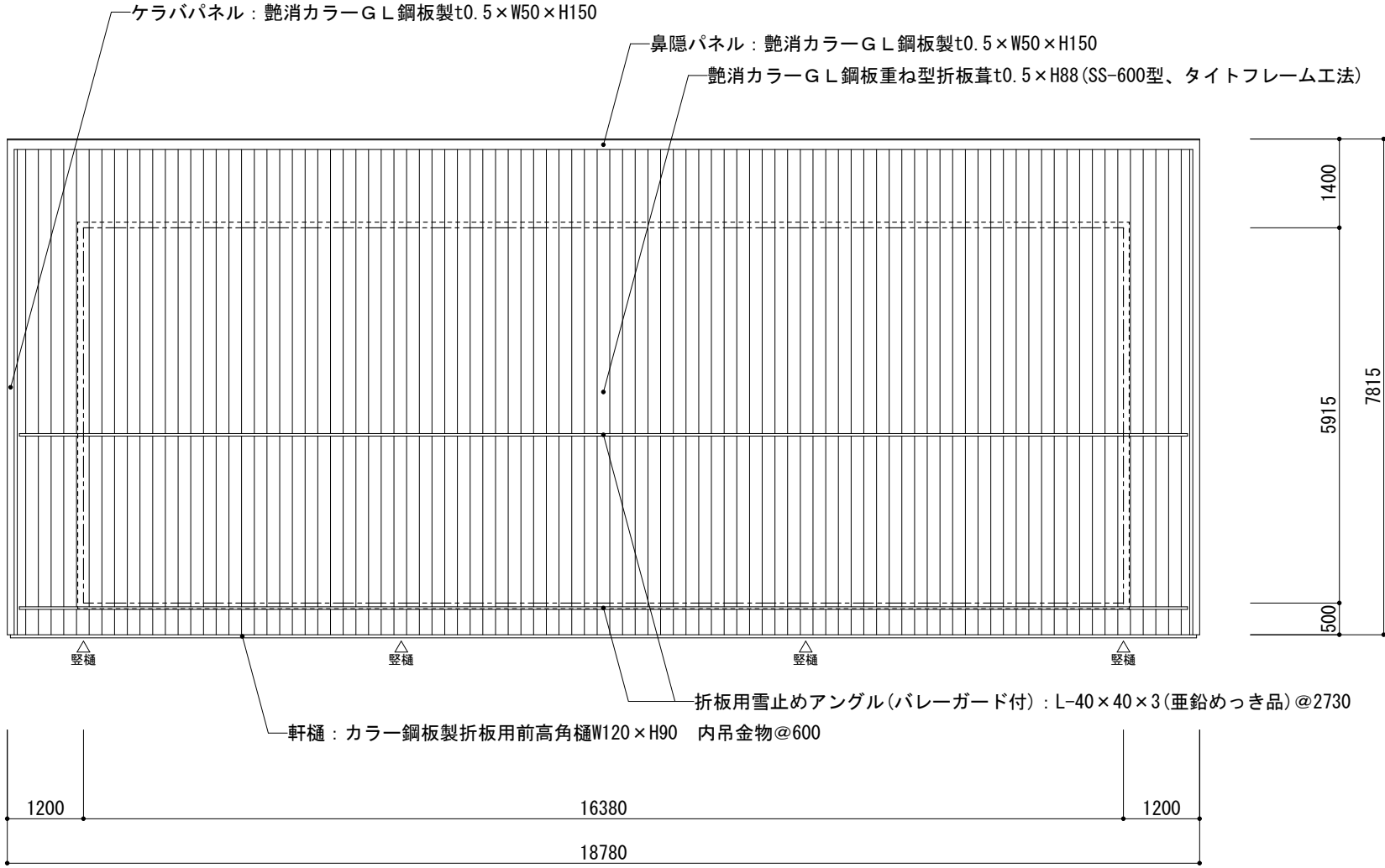
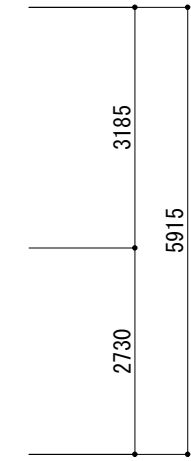
外 部 仕 上 表						
屋 根	艶消カラーG L 鋼板重ね型折板葺t0.5×H88 (SS-600型、タイトフレーム工法)			外 壁	艶消カラーG L 鋼板角波t0.27縦張 (AF-10、透湿防水シート下張)	犬 走 り
雪 止 め	折板用雪止めアングル (バレーガード付) : L-40×40×3 (亜鉛めっき品) @2730			外 壁 役 物	出隅カバー : 艶消カラーG L 鋼板製t0.35×W60、壁取合水切 : 艶消カラーG L 鋼板製t0.35×H50×W150 下端水切 : 艶消カラーG L 鋼板製 t 0.35×H30×W40	不燃物ストック
ケラバ・鼻隠	ケラバ・鼻隠パネル : 艶消カラーG L 鋼板製t0.5×W50×H150			建具廻り役物	サッシ水切 : 艶消カラーG L 鋼板製t0.35×H30×W50、サッシ見切 : 艶消カラーG L 鋼板製t0.35×W30	有価物ストック
軒 樋	軒樋 : カラー鋼板製折板用前高角樋W120×H90 内吊金物@600			開口廻り役物	開口上水切 : 艶消カラーG L 鋼板製t0.35×H30×W50、開口下水切 : 艶消カラーG L 鋼板製t0.35×H50×W90 開口縦見切 : 艶消カラーG L 鋼板製t0.35×W170	
縦 樋	縦樋 : カラー鋼板製丸樋φ90 掴金物@1200程度			す そ 廻 り	コンクリート合板型枠打放補修	

内 部 仕 上 表									
階	室 名	床	巾 木 等	壁	天 井	廻 り 縁 等	天 井 高	木 部 塗 装	備 考
1 階	選 別 場	金ゴテ押え 土間コンクリート下地	コンクリート打放仕上	透湿防水シート表し 腰下壁 : 塗装合板t12 木軸組下地	重ね型折板表し ー	ー	CH3900-4550	無塗装	選別台 (製作品) ベルトコンベア (別途) ※電源工事は本工事 (電気設備工事)

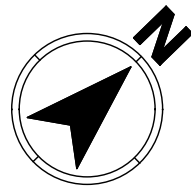


平面図 1/100

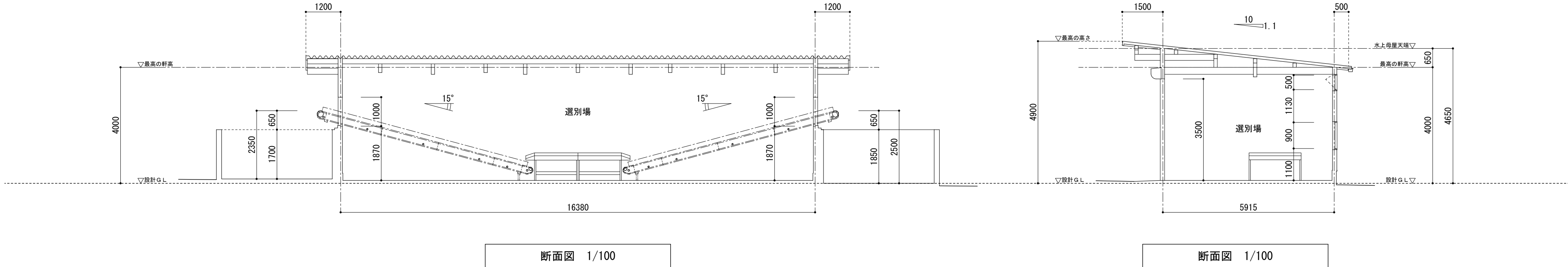
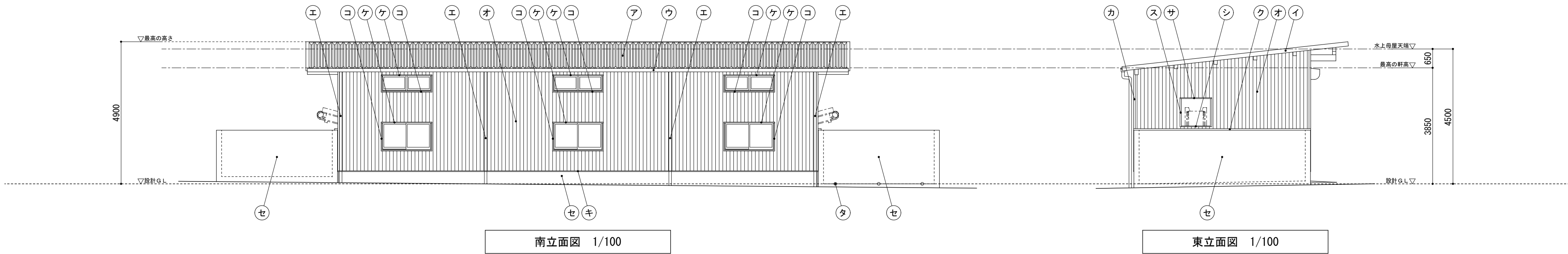
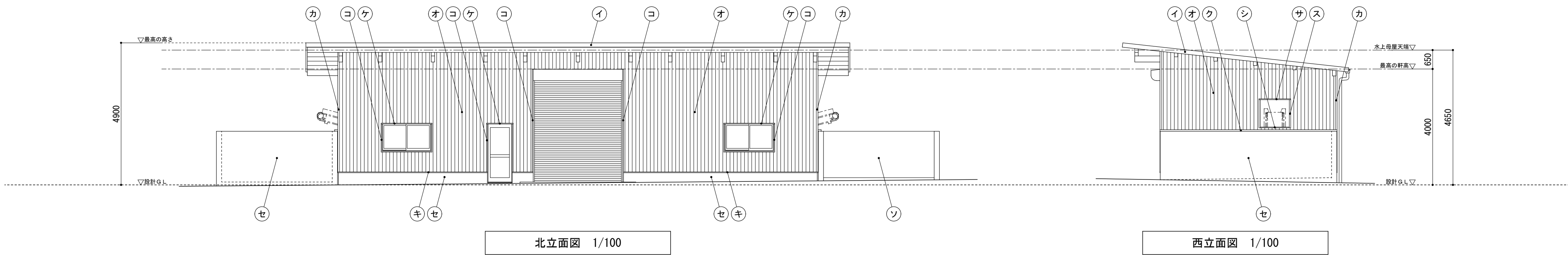
床面積 96.88㎡ (29.2坪)



屋根伏図 1/100

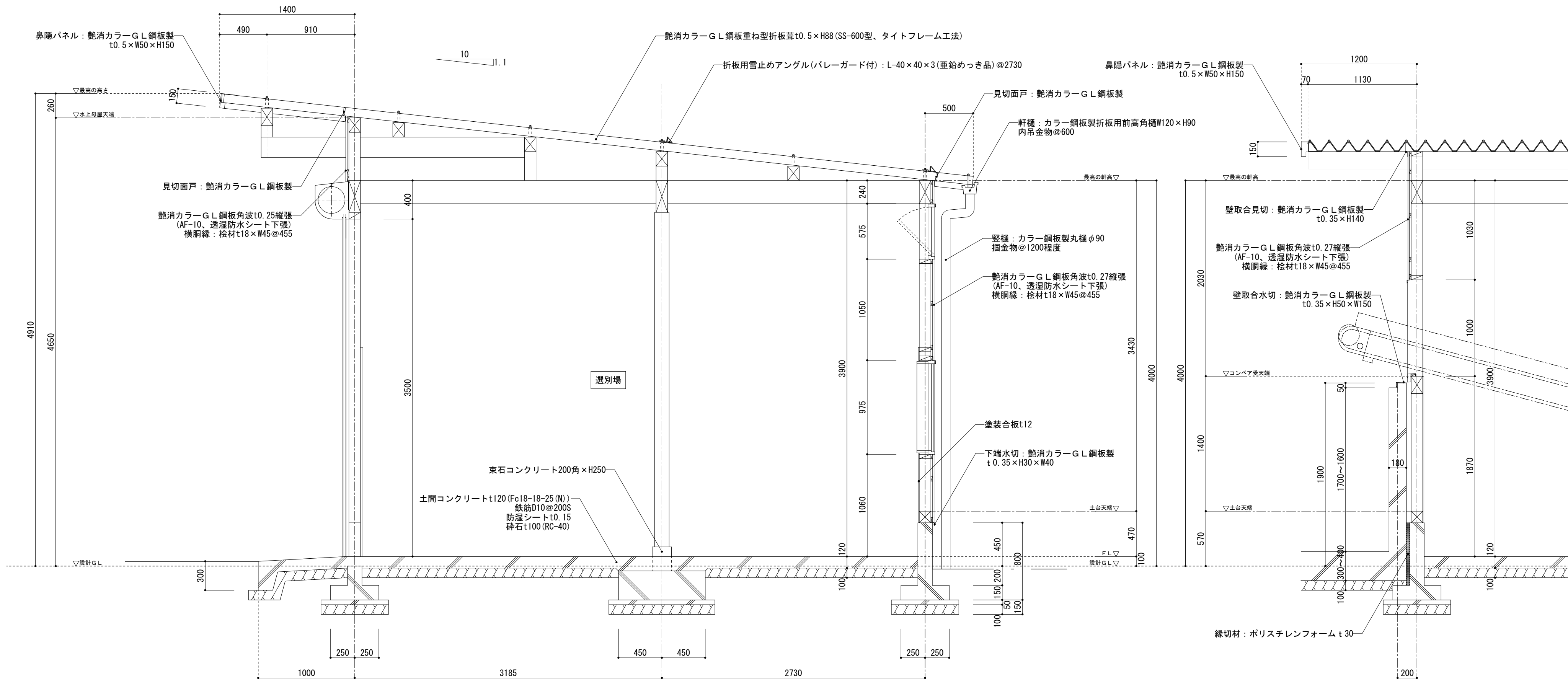


工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ選別場 平面図・屋根伏図・仕上表		
縮 尺	1/100	番 号	37枚の内 09号
設 計 年月日	令和8年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

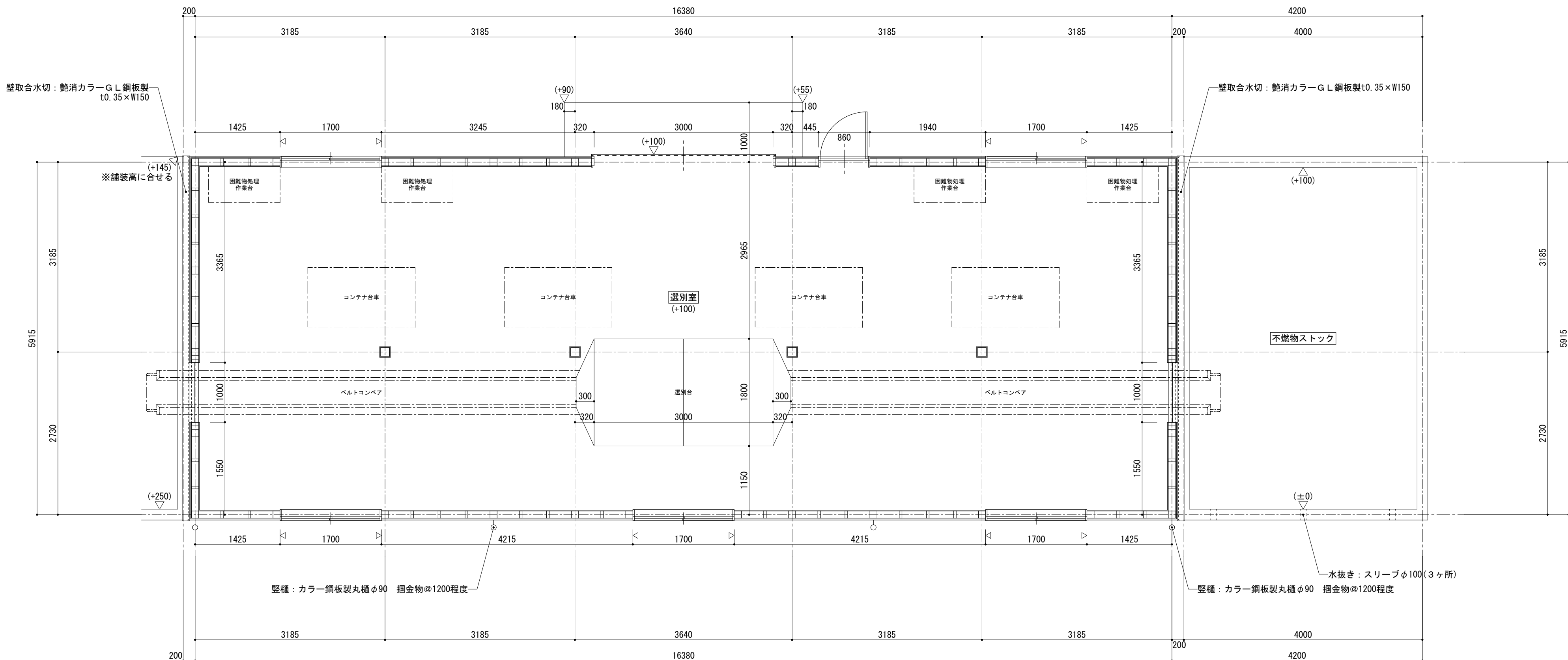


外装仕上一覧表					
ア	艶消カラーG L 鋼板重ね型折板葺t0.5×H88(SS-600型、タイトフレーム工法)	キ	下端水切：艶消カラーG L 鋼板製 t 0.35×H30×W40	ス	開口縦見切：艶消カラーG L 鋼板製t0.35×W170
イ	ケラバ・鼻隠パネル：艶消カラーG L 鋼板製t0.5×W50×H150	ク	壁取合水切：艶消カラーG L 鋼板製t0.35×H50×W150	セ	コンクリート合板型枠打放補修
ウ	軒樋：カラー鋼板製折板用前高角樋W120×H90 内吊金物@600	ケ	サッシ水切：艶消カラーG L 鋼板製t0.35×H30×W50	ソ	コンクリート打放のまま
エ	縦樋：カラー鋼板製丸樋φ90 掴金物@1200程度	コ	サッシ見切：艶消カラーG L 鋼板製t0.35×W30	タ	水抜き：スリーブφ100(3ヶ所)
オ	艶消カラーG L 鋼板角波t0.27縦張(AF-10、透湿防水シート下張)	サ	開口上水切：艶消カラーG L 鋼板製t0.35×H30×W50		
カ	出隅カバー：艶消カラーG L 鋼板製t0.35×W60	シ	開口下水切：艶消カラーG L 鋼板製t0.35×H50×W90		

工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事			
図 名	不燃ごみ選別場 立面図・断面図			
縮 尺	1/100	番 号	3 7 枚の内 1 0 号	
設 計 年月日	令和 8 年 3 月			
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀			
高 山 市				

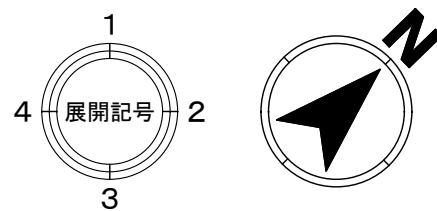


工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ選別場 断面詳細図		
縮 尺	1/30	番 号	3 7 枚の内 1 1 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

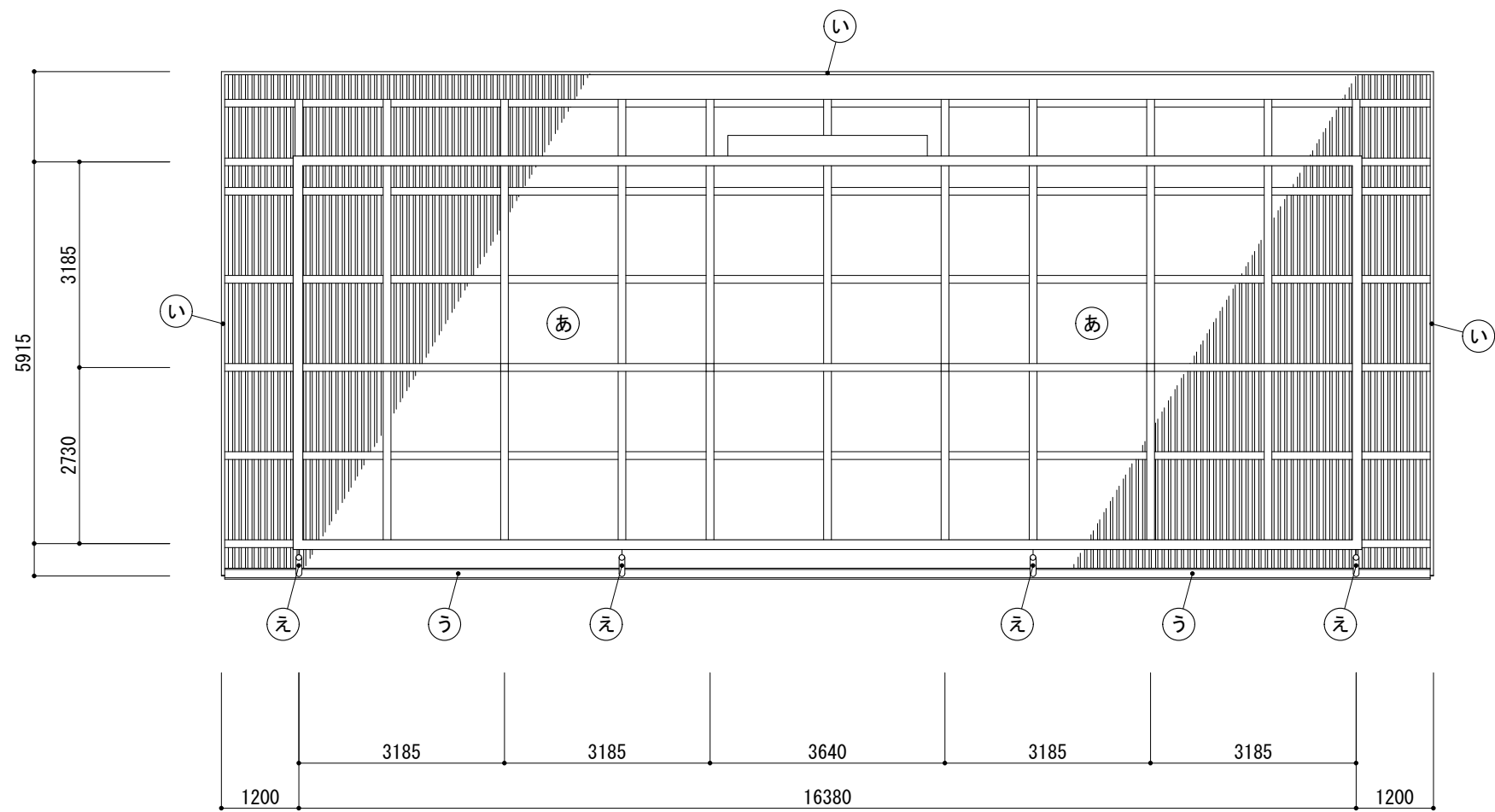
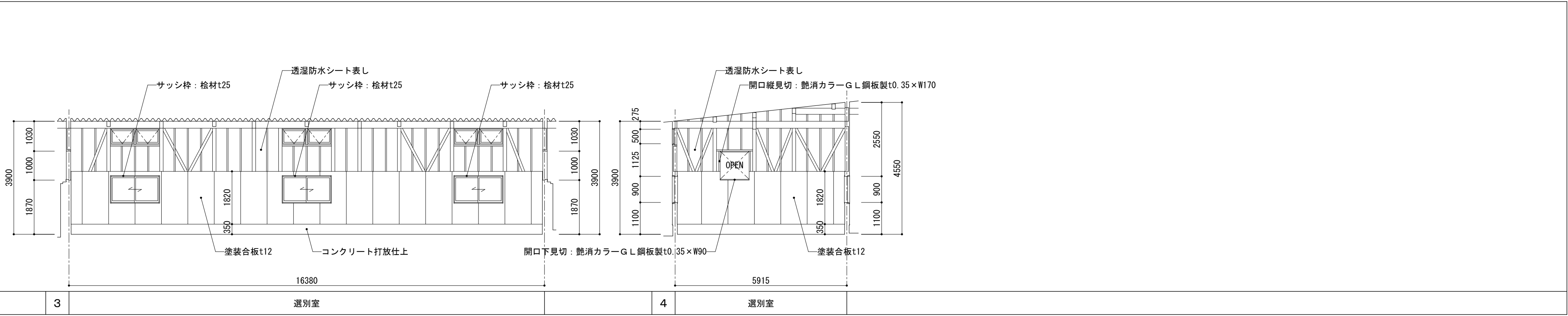
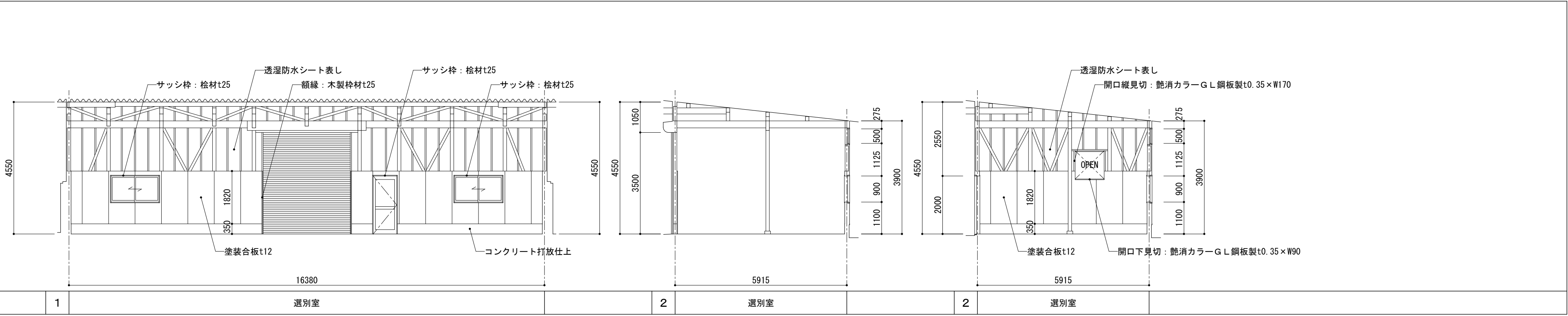


平面詳細図 1/50

()内は設計G Lを±0とした床仕上天端の高さを示す。
寸法表示部 ▽印は鋼製建具取付下地の柱側端を示す。



工 事 名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ選別場 平面図詳細図		
縮 尺	1/50	番 号	3 7 枚の内 1 2 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



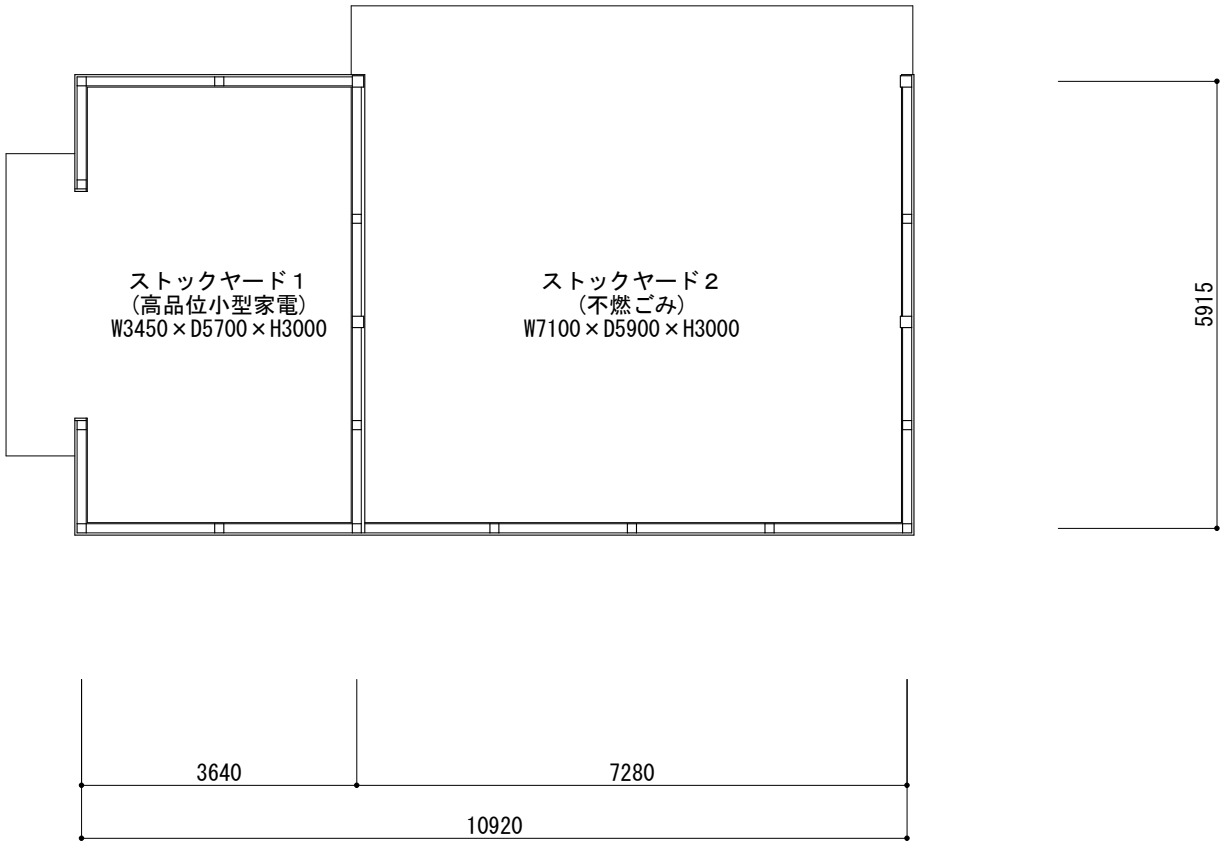
天井仕上一覧表	
あ	重ね型折板表し、梁・母屋等：米松材 無塗装
い	ケラバ・鼻隠パネル：艶消カラーG L 鋼板t0.4×W50×H150
う	軒樋：カラー鋼板製折板用前高角樋W120×H90 内吊金物@600
え	縦樋：カラー鋼板製丸樋φ90 掘金物@1200程度

天井伏図 1/100

工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ選別場 展開図・天井伏図		
縮 尺	1/100	番 号	3 7 枚の内 1 3 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

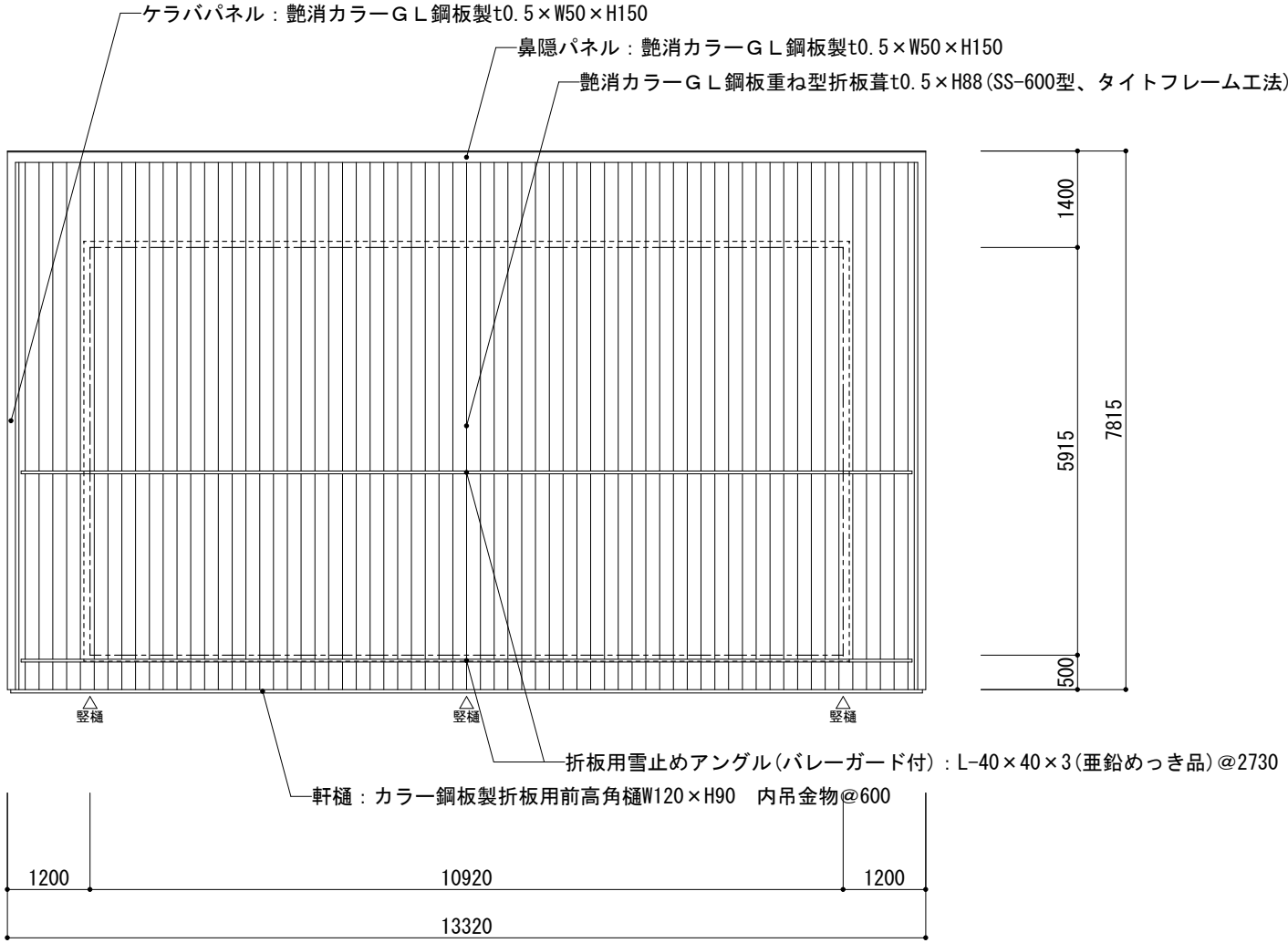
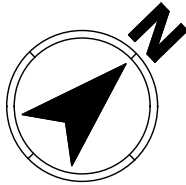
外 部 仕 上 表					
屋 根	艶消カラーG L 鋼板重ね型折板葺t0.5×H88 (SS-600型、タイトフレーム工法)	外 壁	艶消カラーG L 鋼板角波t0.27縦張 (AF-10、透湿防水シート下張)	犬 走 り	土間コンクリート金ゴテ仕上
雪 止 め	折板用雪止めアングル (バレーガード付) : L-40×40×3 (亜鉛めっき品) @2730	外 壁 役 物	出隅カバー : 艶消カラーG L 鋼板製t0.35×W60、下端水切 : 艶消カラーG L 鋼板製 t 0.35×H30×W40		
ケラバ・鼻隠	ケラバ・鼻隠パネル : 艶消カラーG L 鋼板製t0.5×W50×H150	建具廻り役物	サッシ見切 : 艶消カラーG L 鋼板製t0.35×W30		
軒 樋	軒樋 : カラー鋼板製折板用前高角樋W120×H90 内吊金物@600	す そ 廻 り	鉄筋コンクリート造、合板型枠打放補修		
縦 樋	縦樋 : カラー鋼板製丸樋φ90 掘金物@1200程度				

内 部 仕 上 表									
階	室 名	床	巾 木 等	壁	天 井	廻 り 縁 等	天 井 高	木 部 塗 装	備 考
1 階	ストックヤード 1	金ゴテ押え	コンクリート打放仕上	透湿防水シート表し	重ね型折板表し	ー	CH4550-5200	無塗装	
		土間コンクリート下地		木軸組下地	ー				
	ストックヤード 2	金ゴテ押え	コンクリート打放仕上	透湿防水シート表し	重ね型折板表し	ー	CH4480-5260	無塗装	
		土間コンクリート下地		塗装合板t12 木軸組下地	ー				



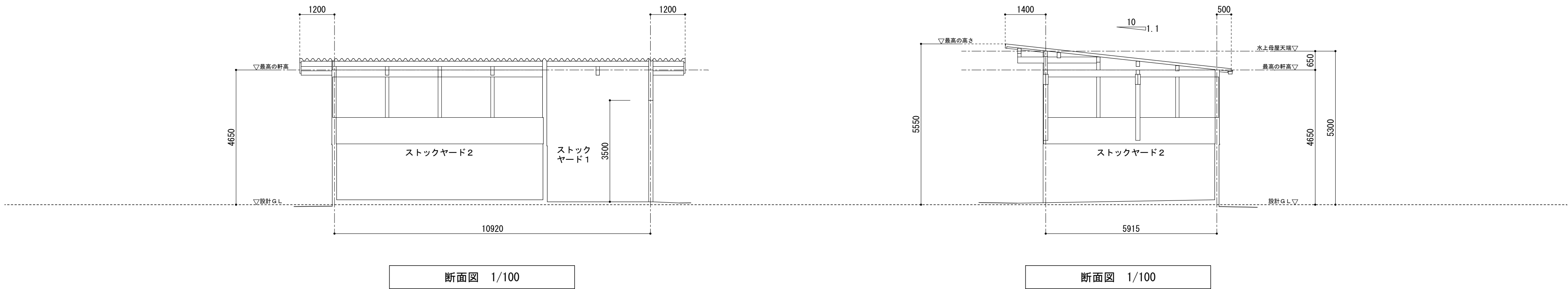
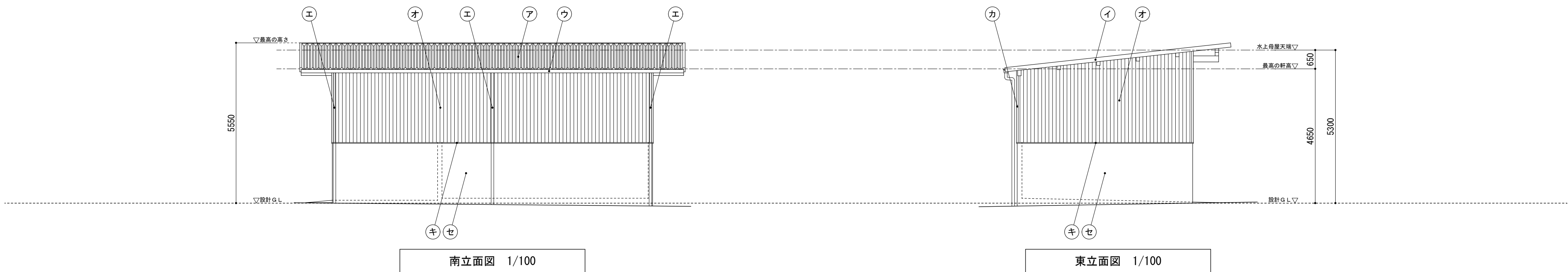
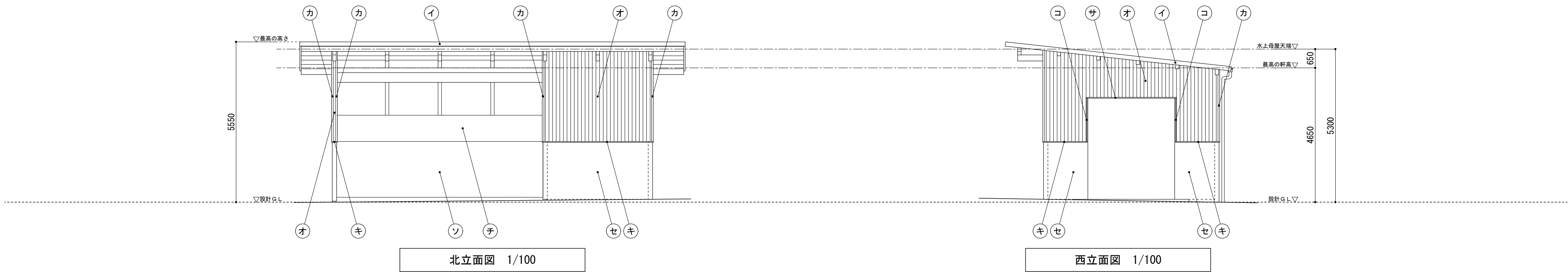
平面図 1/100

床面積 64.59㎡ (19.5坪)



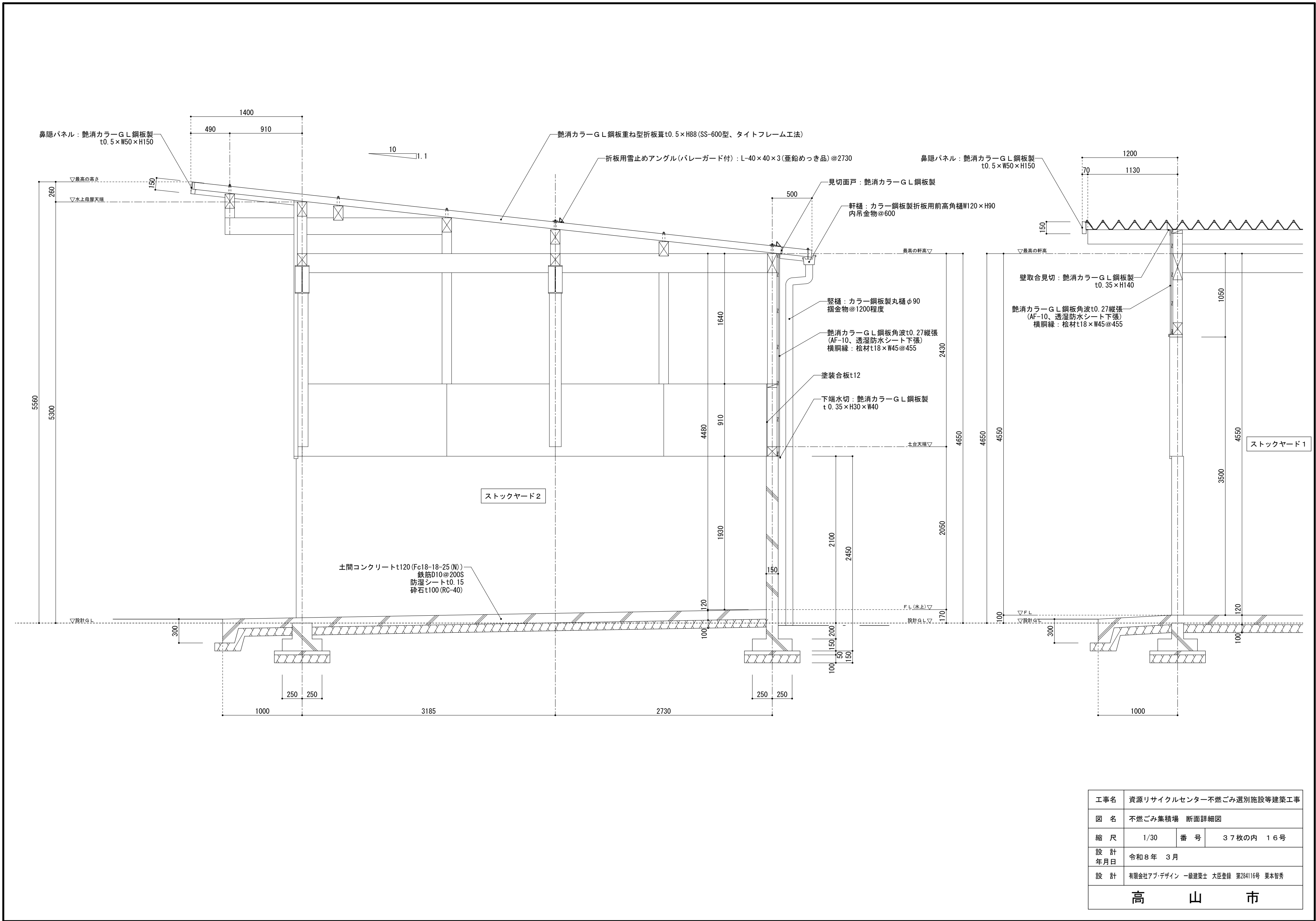
屋根伏図 1/100

工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ集積場 平面図・屋根伏図・仕上表		
縮 尺	1/100	番 号	3 7 枚の内 1 4 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

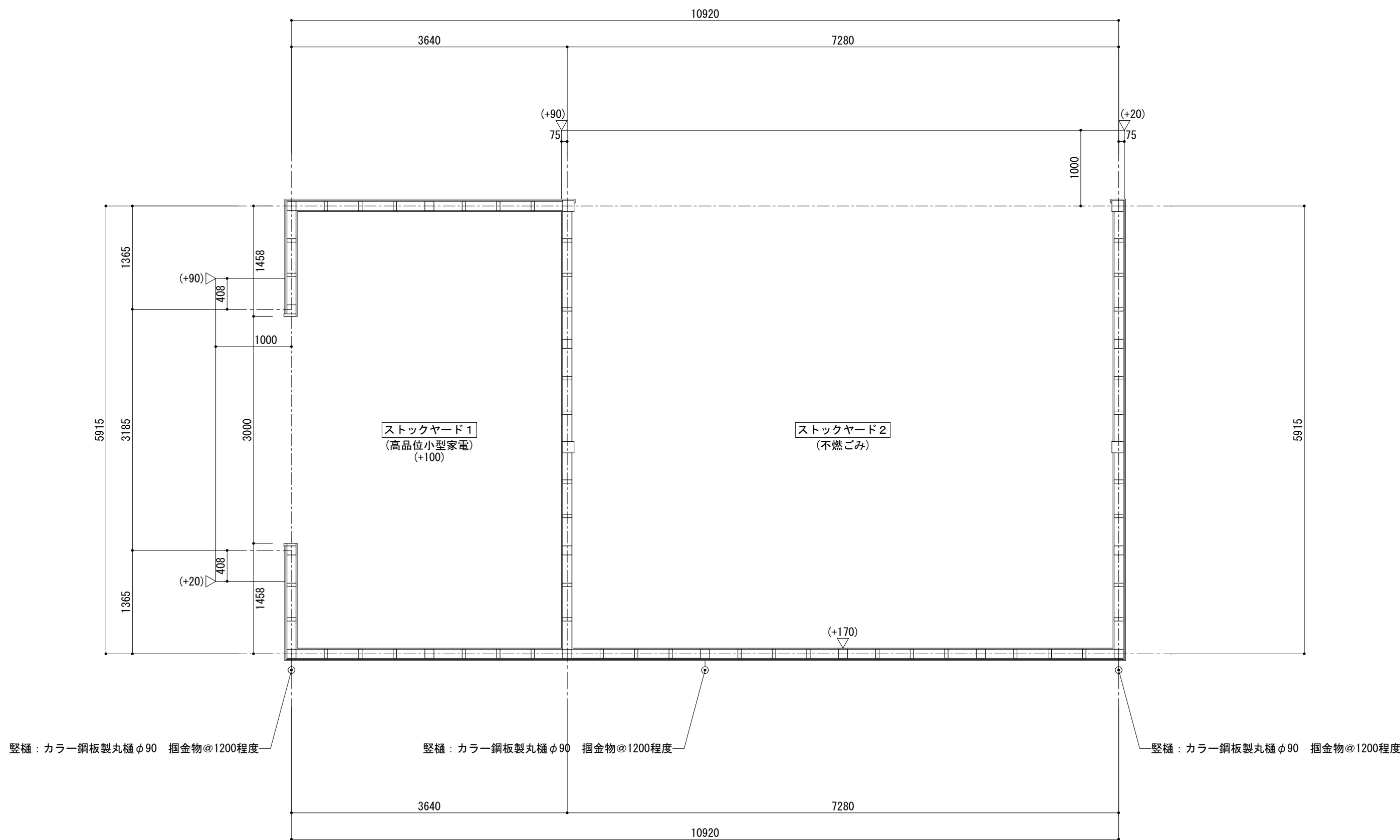


外装仕上一覧表					
ア	艶消カラーG L鋼板重ね型折板葺t0.5×H88(SS-600型、タイトフレーム工法)	オ	艶消カラーG L鋼板角波t0.27縦張(AF-10、透湿防水シート下張)	サ	開口上水切：艶消カラーG L鋼板製t0.35×H30×W50
イ	ケラバ・鼻隠パネル：艶消カラーG L鋼板製t0.5×W50×H150	カ	出隅カバー：艶消カラーG L鋼板製t0.35×W60	セ	コンクリート合板型枠打放補修
ウ	軒樋：カラー鋼板製折板用前高角樋W120×H90 内吊金物@600	キ	下端水切：艶消カラーG L鋼板製 t 0.35×H30×W40	ソ	コンクリート打放のまま
エ	縦樋：カラー鋼板製丸樋φ90 掴金物@1200程度	コ	サッシ見切：艶消カラーG L鋼板製t0.35×W30	チ	塗装合板t12

工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ集積場 立面図・断面図		
縮 尺	1/100	番 号	3 7 枚の内 1 5 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ集積場 断面詳細図		
縮 尺	1/30	番 号	3 7 枚の内 1 6 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



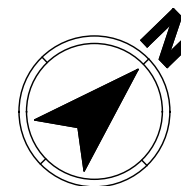
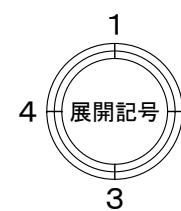
縦樋：カラー鋼板製丸樋φ90 掴金物@1200程度

縦樋：カラー鋼板製丸樋φ90 掴金物@1200程度

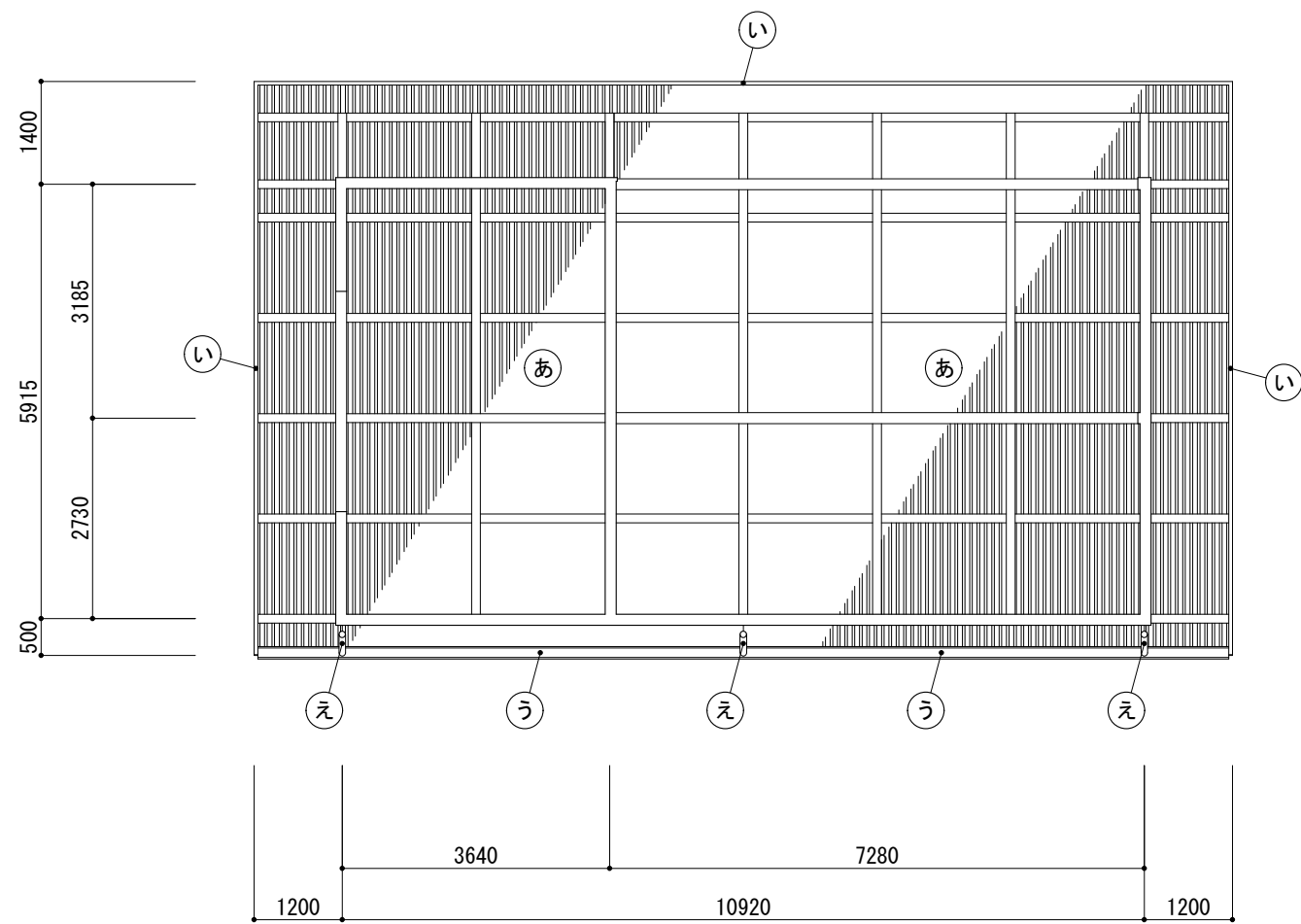
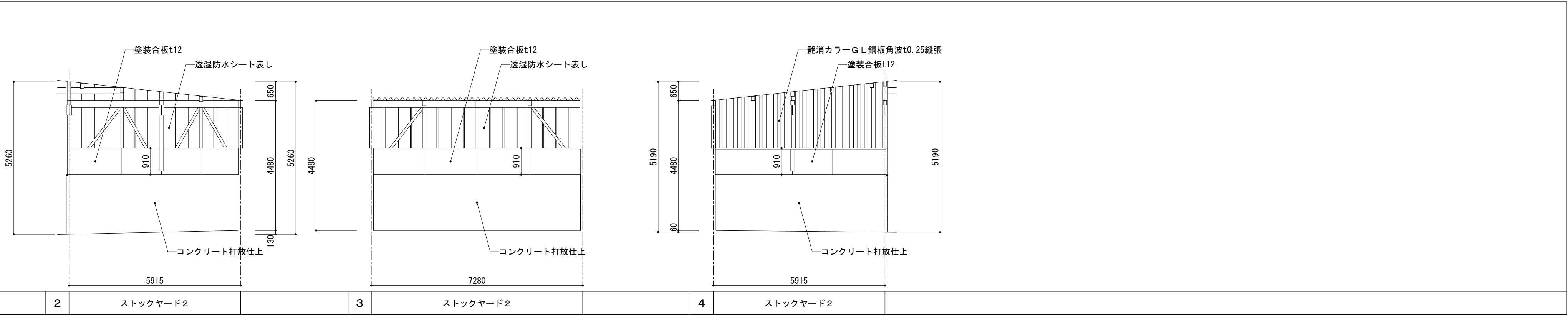
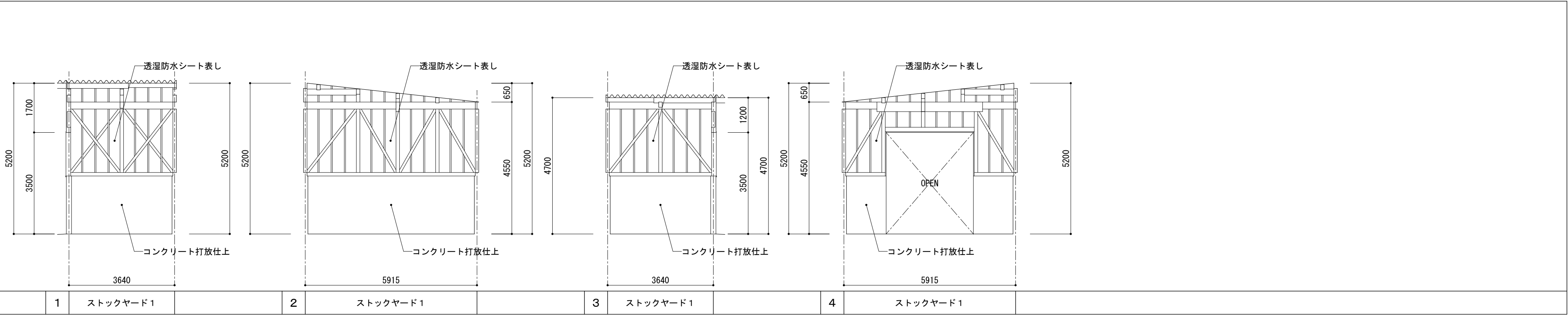
縦樋：カラー鋼板製丸樋φ90 掴金物@1200程度

平面詳細図 1/50

()内は設計G.L.を±0とした床仕上天端の高さを示す。



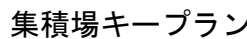
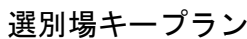
工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ集積場 平面図詳細図		
縮 尺	1/50	番 号	3 7 枚の内 1 7 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



天井仕上一覧表	
あ	重ね型折板表し、梁・母屋等：米松材 無塗装
い	ケラバ・鼻隠パネル：艶消カラーG L 鋼板t0.4×W50×H150
う	軒樋：カラー鋼板製折板用前高角樋W120×H90 内吊金物@600
え	縦樋：カラー鋼板製丸樋φ90 掘金物@1200程度

天井伏図 1/100

工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ集積場 展開図・天井伏図		
縮 尺	1/100	番 号	37枚の内 18号
設 計 年月日	令和8年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

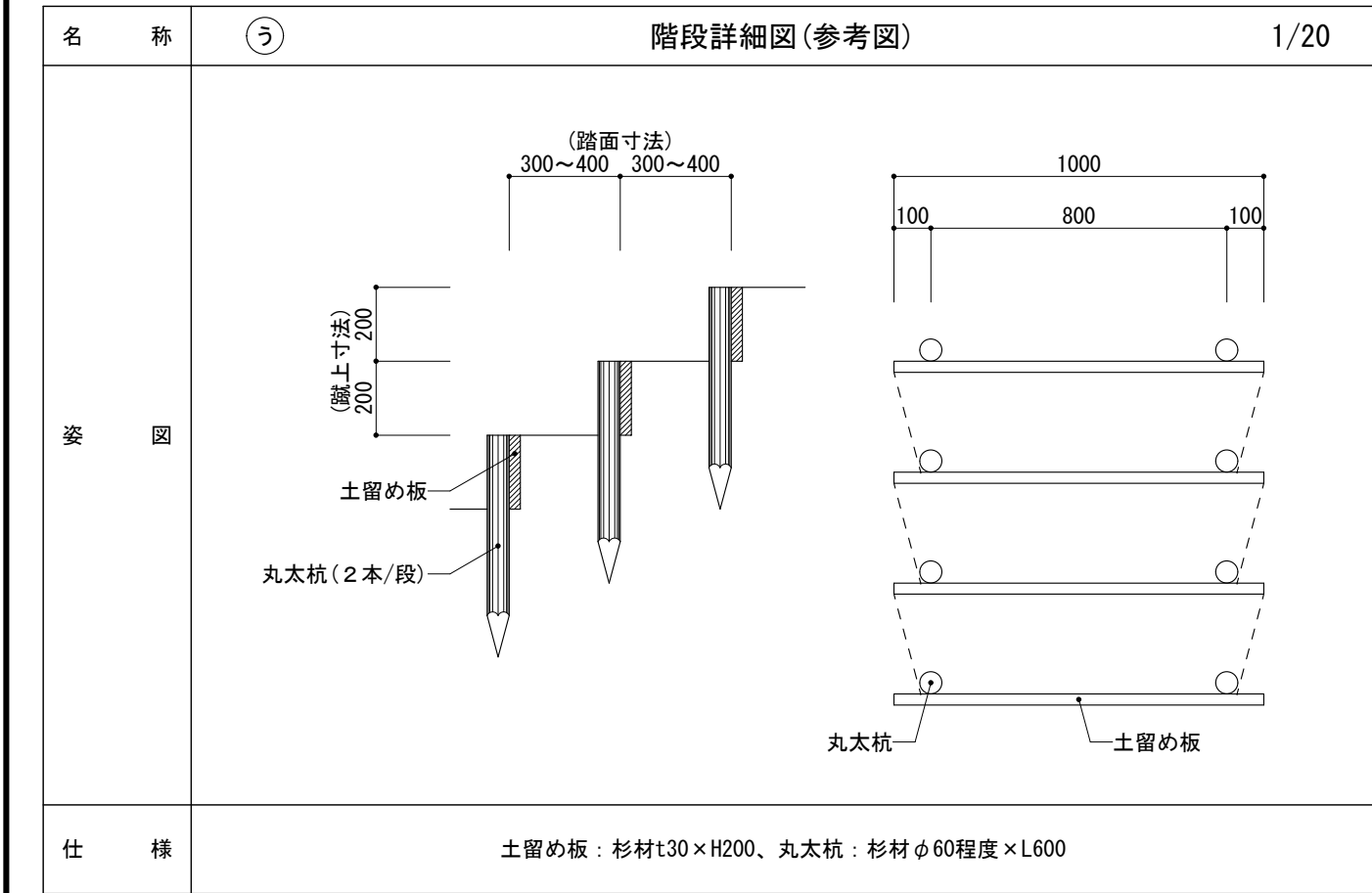
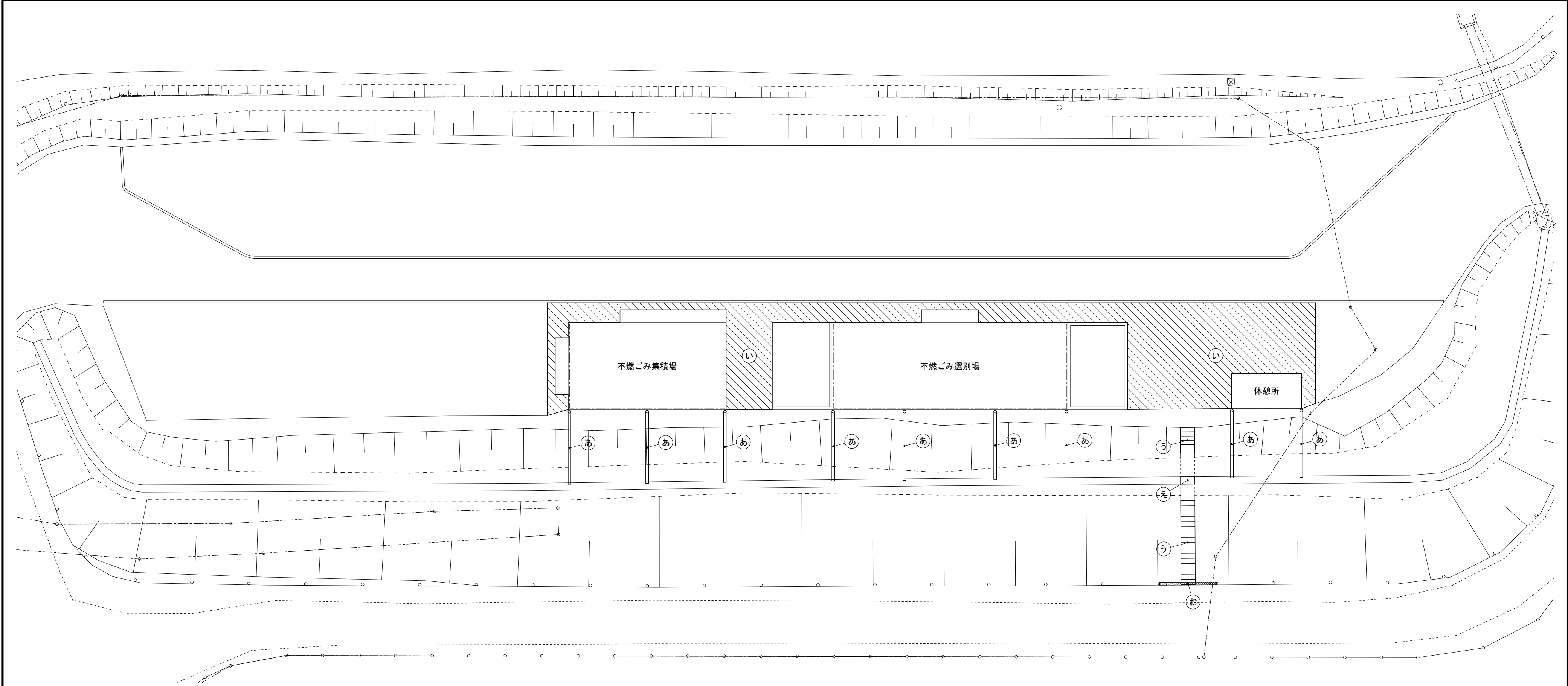
姿 図

SUS : ステンレス SUS304 (HL)
FL : フLOAT板ガラス
F : 型板ガラス
PP : ポリプロピレン
G : ガラス
P : アルミパネル

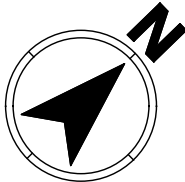
工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	建具表・ユニット表		
縮 尺	1/100・1/30	番 号	37枚の内 19号
設 計 年月日	令和8年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大匠登鏡 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

名 称	外部建具(選別場A D)廻り詳細図 1/10	外部建具(選別場A W)廻り詳細図 1/10	シャッター(選別場S S)廻り詳細図 1/10	シャッター(集積場S S)廻り詳細図 1/10
姿 図				
仕 様	サッシ水切：艶消カラーG L 鋼板製t0.35×H30×W50 サッシ見切：艶消カラーG L 鋼板製t0.35×W30 サッシ枠：桧材	サッシ水切：艶消カラーG L 鋼板製t0.35×H30×W50 サッシ見切：艶消カラーG L 鋼板製t0.35×W30 サッシ枠：桧材	サッシ見切：艶消カラーG L 鋼板製t0.35×W30 額縁：桧材	サッシ見切：艶消カラーG L 鋼板製t0.35×W30
名 称	片棟・ケラバ詳細図 1/10	外壁廻り詳細図 1/10	外壁取合い詳細図 1/10	ベルトコンベア開口部廻り詳細図 1/10
姿 図				
仕 様	ケラバ・鼻隠パネル：艶消カラーG L 鋼板製t0.5×W50×H150	出隅カバー：艶消カラーG L 鋼板製t0.35×W60 下端水切：艶消カラーG L 鋼板製 t 0.35×H30×W40	壁取合見切：艶消カラーG L 鋼板製t0.35×H140 壁取合水切：艶消カラーG L 鋼板製t0.35×H50×W150	開口上水切：艶消カラーG L 鋼板製 t 0.35×H30×W50 開口下水切：艶消カラーG L 鋼板製t0.35×H50×W90 開口縦見切：艶消カラーG L 鋼板製t0.35×W170

工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	部分詳細図		
縮 尺	1/10	番 号	3 7 枚の内 2 0 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

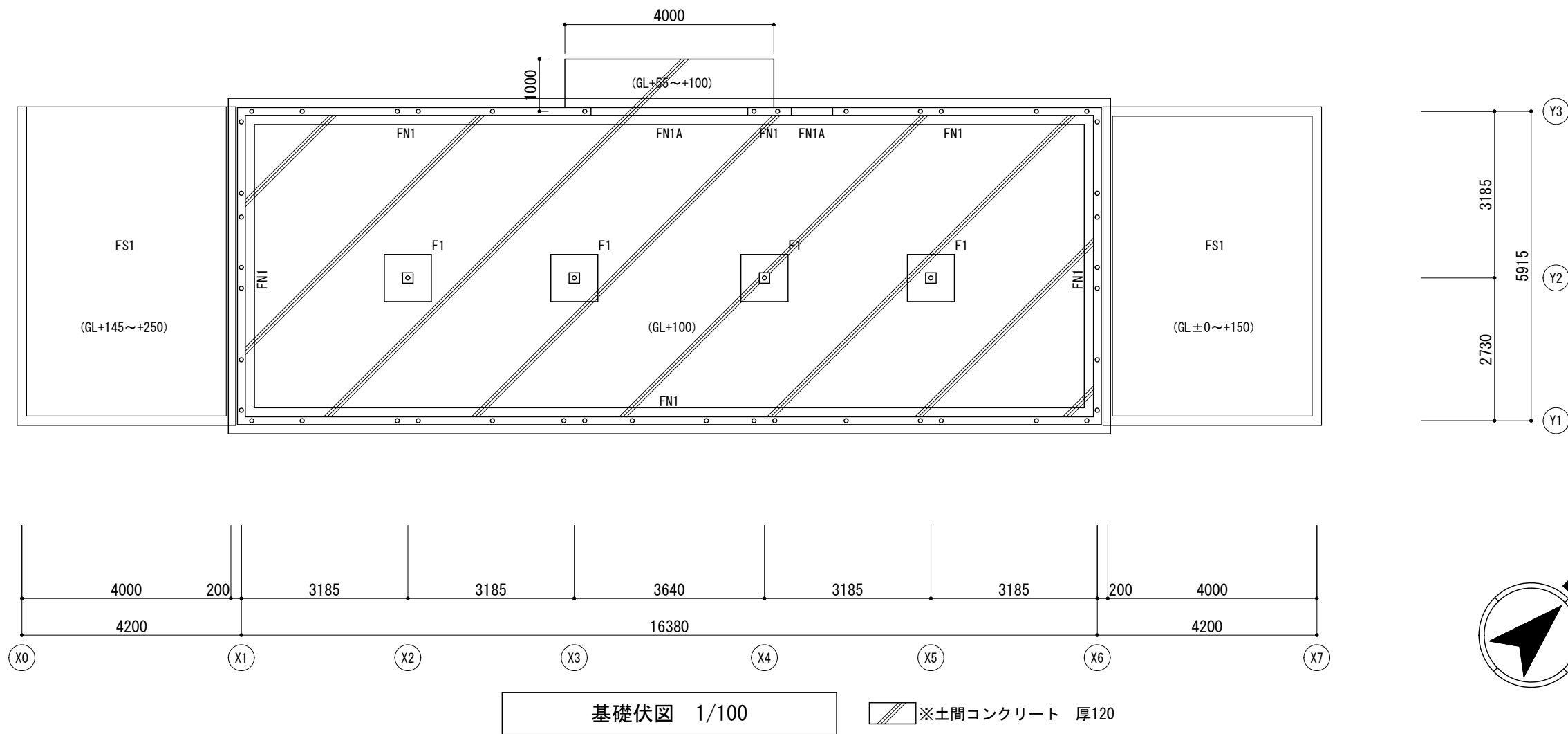


外構図 1/200

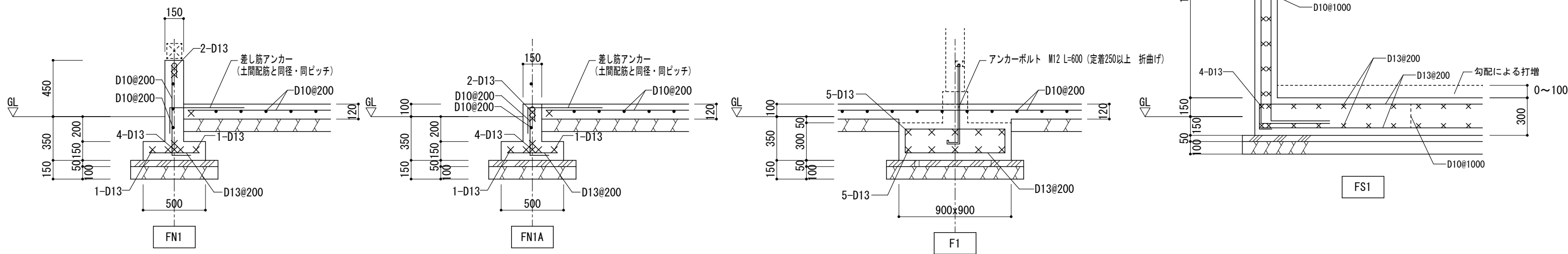


外構工事一覧表				
符 号	名 称	仕 様	参考数量	工事範囲
①	雨水配管	V U φ100(直管、エルボ) ※竖樋から側溝までの埋設配管	55m	本工事
②	アスファルト舗装	再生密粒度アスコン(13F) t50+再生クラッシャーランt150	160㎡	別途工事
③	階段	土留め板：杉材t30×H200、丸太杭：杉材φ60程度×L600	24段	別途工事
④	側溝蓋	編鋼板製(亜鉛メッキ品)、W450×L1000	1 枚	別途工事
⑤	ガードレール	既設直ビーム撤去(1 スパン)、新設袖ビーム取付(2ヶ所)	1ヶ所	別途工事

工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	外構図		
縮 尺	1/200・1/20	番 号	3 7 枚の内 2 1 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



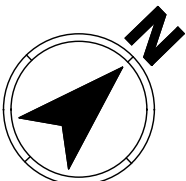
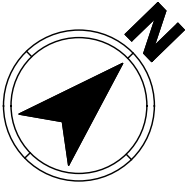
基礎詳細図 1/30



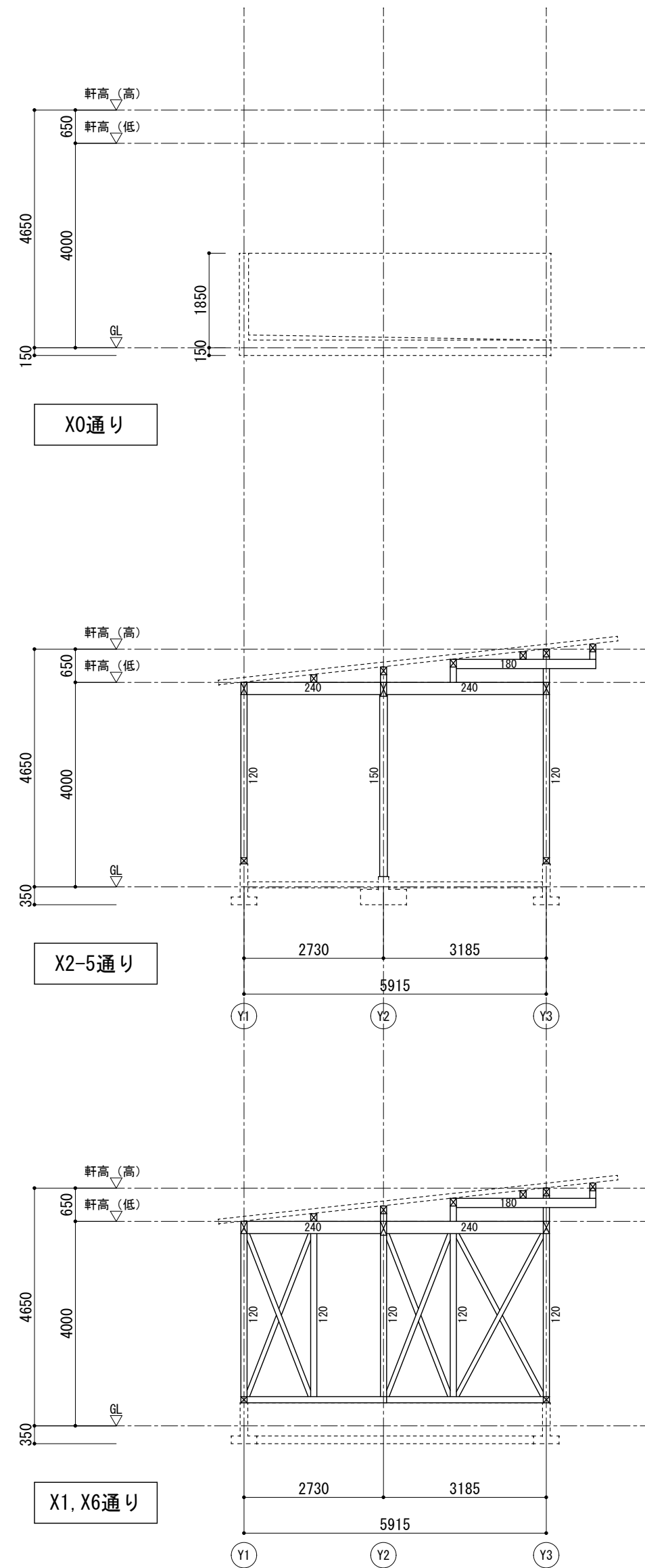
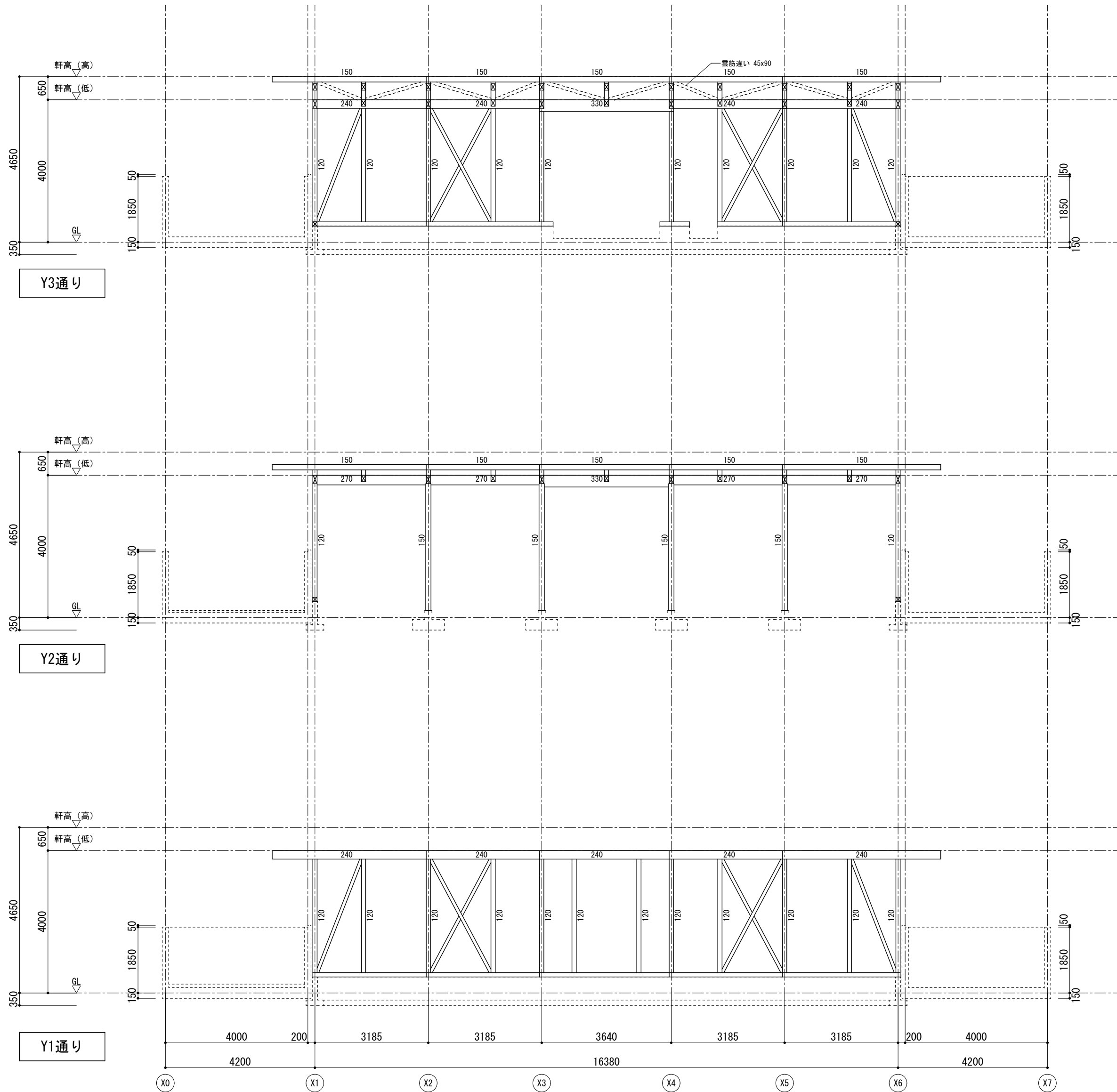
特記事項	
コンクリートの材料（令第72条） 「建築工事標準仕様書 J A S S 5」4節による。 セメント ポルトランドセメント 粗骨材 砂利・碎石、最大径25mm(ラッブルは最大径40mm) 細骨材 砂・砕砂 混和剤 A E 減水剤・高性能A E 減水剤 塩化物規制 0.3kg/m ² 以下 鉄筋の継手及び定着（令第73条） 「建築工事標準仕様書 J A S S 5」10節による。 柱に取り付く梁の主筋の柱への定着長さは主筋径の40倍とする。 コンクリートの強度（令第74条） 「建築工事標準仕様書 J A S S 5」3節、5-7節、11節による。 コンクリートの種類 レディーミクストコンクリート 水セメント比 65%以下 設計基準強度及びスランプ 基礎 Fc=21N/mm ² s l=18cm 土間 Fc=21N/mm ² s l=18cm 捨て Fc=18N/mm ² s l=15cm	コンクリートの塩化物に関しては、カンタブによる試験とする。 圧縮強度試験 4週の供試体は公的試験場による試験とする。 コンクリートの養生（令第75条） 「建築工事標準仕様書 J A S S 5」8節による。 型枠及び支柱の除去（令第76条） 「建築工事標準仕様書 J A S S 5」9節による。 存置期間 建設省告示第110号による。 鉄筋のかぶり厚さ（令第79条） 「建築工事標準仕様書 J A S S 5」3節、10節による。 上記以外については「建築工事標準仕様書 J A S S 5」による。 使用鉄筋 SD295A（D16以下） SD345（D19以上） 地耐力 50kN/m ²

スラブリスト				
符 号	厚	位 置	短 辺 方 向	長 辺 方 向
F S 1	300	上	D13 @200	D13 @200
		下	D13 @200	D13 @200
土 間	120	シ ン 単 ル	D10 @200	D10 @200

工 事 名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ選別場 基礎伏図・基礎詳細図		
縮 尺	1/100・1/30	番 号	37枚の内 22号
設 計 年月日	令和8年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ選別場 土台伏図・梁伏図		
縮 尺	1/100	番 号	3 7 枚の内 2 3 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社ア・ブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ選別場 軸組図		
縮 尺	1/100	番 号	3 7 枚の内 2 4 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大田登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

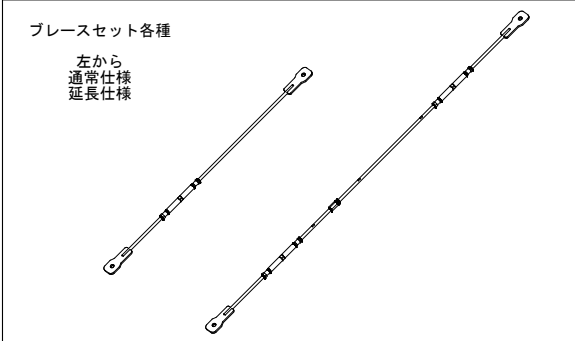
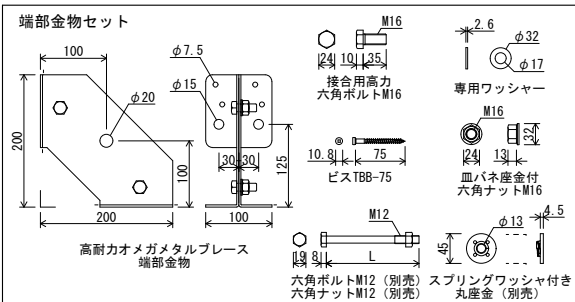
高耐力オメガメタルブレース (水平用) 参考標準図

Ver. 1.0

HP評価 (木) -20-029



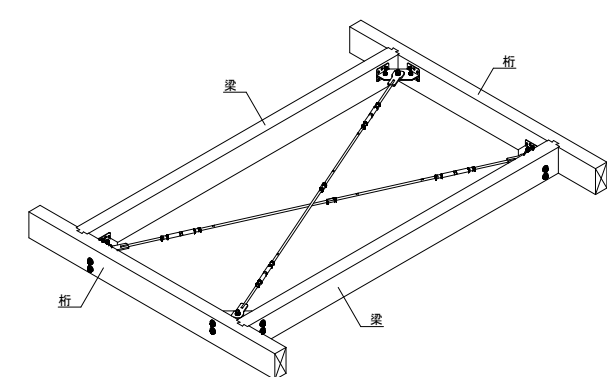
1. 部品各種



材質	端部金物 : SQ400 ブレース : 板部 SS400、ボルト部 SMR400B
表面処理	端部金物 : Z27+カチオン電着塗装 ブレース : カチオン電着塗装

2. 構面納まり図

例 構面形状比 1 : 2



3. 設計条件

建築物の構造	木造軸組工法建築物
準拠基準	品確法に基づく平成13年国土交通省告示第1347号 評価方法基準
樹種	・建築基準法施行令第3章第3節 (第48条は除く) ・スギ製材 (無等級) 以上
断面寸法	105mm以上 × 150mm以上
構面寸法	構架材間隔 (芯-芯) 寸法900mm以上5500mm以下 (900mm×900mm～5500mm×5500mm)
形状比	1 : 1～1 : 4 の範囲内
構架材端部の接合方法	高耐力オメガメタルブレース (水平用) を用いた床構面内の構架材同士との接合部には当該接合部の必要接合部倍率に1.2を乗じた値に合わせた接合金物を選定する

4. 性能値

床倍率一覧表 (グレー部分は構面形状比1 : 4を超える評価対象外の範囲)

床倍率	0.910	1.365	1.820	2.275	2.730	3.185	3.640	4.095	4.550	5.005	5.460
短辺方向 (m)	0.910	9.9	7.1	5.9	4.4	2.5	3.1	2.6	2.9	2.4	2.0
1.0	1.365	10.4	7.7	6.4	4.7	2.8	3.4	2.9	3.2	2.6	2.2
1.5	1.820	11.7	8.6	7.2	5.2	3.2	3.9	3.3	3.6	2.9	2.4
2.0	2.275	12.9	9.5	8.0	5.8	3.5	4.2	3.6	3.9	3.1	2.6
2.730	14.2	10.4	8.9	7.4	5.4	3.8	4.5	3.8	4.1	3.2	2.7
3.185	15.5	11.4	9.8	8.2	6.0	4.1	4.8	4.1	4.4	3.4	2.9
3.640	16.8	12.4	10.8	9.1	6.5	4.4	5.1	4.4	4.7	3.6	3.1
4.095	18.1	13.4	11.8	10.1	7.0	4.7	5.4	4.7	5.0	3.8	3.3
4.550	19.4	14.4	12.8	11.1	7.7	5.0	5.7	5.0	5.3	4.0	3.5
5.005	20.7	15.4	13.8	12.1	8.4	5.3	6.0	5.3	5.6	4.2	3.7
5.460	22.0	16.4	14.8	13.1	9.1	5.6	6.3	5.6	5.9	4.4	3.9

床倍率	0.9	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5
短辺方向 (m)	0.9	9.9	9.6	6.4	5.1	2.9	3.1	2.7	2.9	2.4	2.0
1.0	1.0	10.4	10.1	6.8	5.3	3.1	3.3	2.9	3.1	2.6	2.2
1.5	1.5	11.7	11.4	7.7	6.0	3.5	3.7	3.3	3.5	2.9	2.4
2.0	2.0	12.9	12.6	8.6	6.7	3.9	4.1	3.6	3.8	3.1	2.6
2.5	2.5	14.2	13.9	9.5	7.4	4.2	4.4	3.9	4.1	3.3	2.8
3.0	3.0	15.5	15.2	10.4	8.2	4.5	4.7	4.2	4.4	3.5	3.0
3.5	3.5	16.8	16.5	11.4	9.1	4.8	5.0	4.4	4.6	3.7	3.2
4.0	4.0	18.1	17.8	12.4	10.1	5.1	5.3	4.7	4.9	3.9	3.4
4.5	4.5	19.4	19.1	13.4	11.1	5.4	5.6	5.0	5.2	4.1	3.6
5.0	5.0	20.7	20.4	14.4	12.1	5.7	5.9	5.3	5.5	4.3	3.8
5.5	5.5	22.0	21.7	15.4	13.1	6.0	6.2	5.6	5.8	4.5	4.0

1mあたりの短期許容せん断耐力一覧表 (グレー部分は構面形状比1 : 4を超える評価対象外の範囲)

Pa	0.910	1.365	1.820	2.275	2.730	3.185	3.640	4.095	4.550	5.005	5.460
短辺方向 (m)	0.910	10.4	13.9	11.7	8.7	7.0	6.1	5.2	4.9	4.8	4.0
1.0	1.365	15.7	19.1	15.9	11.7	9.5	8.2	7.1	6.7	6.6	5.4
1.5	1.820	21.0	26.4	21.8	15.5	12.6	10.3	8.9	8.4	8.3	6.8
2.0	2.275	26.3	32.7	27.1	19.4	15.5	12.6	10.9	10.3	10.2	8.3
2.730	31.6	38.0	39.0	29.0	20.3	16.4	13.5	11.6	10.9	10.8	9.0
3.185	36.9	44.3	45.3	33.9	23.2	18.3	15.4	13.1	12.4	12.3	10.1
3.640	42.2	50.6	51.6	38.8	26.1	21.2	18.3	15.4	14.7	14.6	12.1
4.095	47.5	56.9	57.9	43.7	29.0	24.1	21.2	18.3	17.6	17.5	14.6
4.550	52.8	63.2	64.2	48.6	31.9	27.0	24.1	21.2	20.5	20.4	17.1
5.005	58.1	69.5	70.5	53.5	34.8	29.9	27.0	24.1	23.4	23.3	19.4
5.460	63.4	75.8	76.8	58.4	37.7	32.8	29.9	27.0	26.3	26.2	21.7

Pa	0.9	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5
短辺方向 (m)	0.9	10.5	10.9	12.7	10.0	7.7	6.2	5.4	4.9	4.5	3.5
1.0	1.0	11.5	12.1	14.0	10.5	8.2	6.6	5.8	5.3	4.9	3.8
1.5	1.5	12.4	13.1	15.2	11.4	9.0	7.4	6.5	6.0	5.6	4.4
2.0	2.0	13.4	14.1	16.4	12.4	9.9	8.1	7.1	6.6	6.2	4.9
2.5	2.5	14.4	15.1	17.6	13.4	10.8	8.9	7.8	7.3	6.9	5.4
3.0	3.0	15.4	16.1	18.8	14.4	11.7	9.8	8.6	8.1	7.7	6.0
3.5	3.5	16.4	17.1	20.0	15.4	12.6	10.7	9.5	9.0	8.6	6.6
4.0	4.0	17.4	18.1	21.2	16.4	13.5	11.6	10.4	9.9	9.5	7.2
4.5	4.5	18.4	19.1	22.4	17.4	14.4	12.6	11.4	10.9	10.5	7.9
5.0	5.0	19.4	20.1	23.6	18.4	15.4	13.5	12.4	11.9	11.5	8.6
5.5	5.5	20.4	21.1	24.8	19.4	16.4	14.4	13.4	12.9	12.5	9.3

3. 設計条件

建築物の構造	木造軸組工法建築物
準拠基準	品確法に基づく平成13年国土交通省告示第1347号 評価方法基準
樹種	・建築基準法施行令第3章第3節 (第48条は除く) ・スギ製材 (無等級) 以上
断面寸法	105mm以上 × 105mm以上
構面寸法	構架材間隔 (芯-芯) 寸法900mm以上5500mm以下 (900mm×900mm～5500mm×5500mm)
形状比	1 : 1～1 : 4 の範囲内

4. 性能値

床倍率一覧表 (グレー部分は構面形状比1 : 4を超える評価対象外の範囲)

床倍率	0.910	1.365	1.820	2.275	2.730	3.185	3.640	4.095	4.550	5.005	5.460
短辺方向 (m)	0.910	4.5	3.6	2.9	2.2	1.9	1.5	1.2	1.0	0.9	0.8
1.0	1.365	5.0	4.0	3.2	2.4	2.0	1.6	1.3	1.1	1.0	0.9
1.5	1.820	5.5	4.4	3.5	2.7	2.2	1.8	1.5	1.3	1.2	1.0
2.0	2.275	6.0	4.8	3.8	2.9	2.4	2.0	1.7	1.5	1.4	1.2
2.730	6.5	5.2	4.1	3.2	2.4	2.0	1.7	1.5	1.4	1.3	1.1
3.185	7.0	5.7	4.5	3.5	2.6	2.2	1.8	1.6	1.5	1.4	1.2
3.640	7.5	6.2	5.0	3.9	2.9	2.4	2.0	1.8	1.7	1.6	1.3
4.095	8.0	6.7	5.5	4.3	3.2	2.6	2.2	1.9	1.8	1.7	1.4
4.550	8.5	7.2	6.0	4.7	3.5	2.8	2.4	2.1	2.0	1.9	1.5
5.005	9.0	7.7	6.5	5.1	3.8	3.0	2.6	2.3	2.2	2.1	1.6
5.460	9.5	8.2	7.0	5.5	4.1	3.2	2.8	2.5	2.4	2.3	1.7

床倍率	0.9	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5
短辺方向 (m)	0.9	8.9	6.5	4.9	3.7	3.0	2.5	2.1	1.8	1.6	1.3
1.0	1.0	9.4	6.8	5.1	4.0	3.3	2.8	2.3	2.0	1.8	1.4
1.5	1.5	10.4	7.4	5.6	4.4	3.6	3.1	2.6	2.3	2.1	1.6
2.0	2.0	11.4	8.1	6.1	4.8	4.0	3.4	2.9	2.6	2.4	1.8
2.5	2.5	12.4	8.6	6.5	5.1	4.3	3.7	3.1	2.8	2.6	2.0
3.0	3.0	13.4	9.1	6.9	5.5	4.6	4.0	3.4	3.1	2.9	2.2
3.5	3.5	14.4	9.6	7.4	6.0	5.0	4.3	3.7	3.4	3.2	2.4
4.0	4.0	15.4	10.1	7.9	6.5	5.4	4.6	4.0	3.7	3.5	2.6
4.5	4.5	16.4	10.6	8.4	7.0	5.9	5.1	4.4	4.1	3.9	2.8
5.0	5.0	17.4	11.1	8.9	7.5	6.4	5.5	4.8	4.5	4.3	3.0
5.5	5.5	18.4	11.6	9.4	8.0	6.9	6.0	5.2	4.9	4.7	3.3

1mあたりの短期許容せん断耐力一覧表 (グレー部分は構面形状比1 : 4を超える評価対象外の範囲)

Pa	0.910	1.365	1.820	2.275	2.730	3.185	3.640	4.095	4.550	5.005	5.460
短辺方向 (m)	0.910	8.8	7.1	5.6	4.5	3.6	2.9	2.4	2.0	1.8	1.5
1.0	1.365	9.7	7.9	6.1	5.0	4.0	3.3	2.7	2.3	2.0	1.7
1.5	1.820	10.6	8.6	6.6	5.4	4.3	3.6	3.0	2.6	2.3	2.0
2.0	2.275	11.5	9.3	7.1	5.8	4.6	3.9	3.3	2.9	2.6	2.3
2.730	12.4	10.1	7.8	6.4	5.1	4.0	3.4	3.0	2.7	2.4	2.1
3.185	13.3	10.9	8.4	6.9	5.5	4.3	3.7	3.3	3.0	2.7	2.4
3.640	14.2	11.8	9.1	7.5	6.0	4.7	4.0	3.6	3.3	3.0	2.6
4.095	15.1	12.7	9.8	8.1	6.5	5.1	4.3	3.9	3.6	3.3	2.7
4.550	16.0	13.6	10.6	8.7	7.0	5.5	4.6	4.1	3.8	3.5	2.8
5.005	16.9	14.5	11.5	9.6	7.7	6.0	5.1	4.6	4.3	4.0	3.0
5.460	17.8	15.4	12.4	10.5	8.6	6.7	5.6	5.1	4.8	4.5	3.3

Pa	0.9	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5
短辺方向 (m)	0.9	8.9	6.5	4.9	3.7	3.0	2.5	2.1	1.8	1.6	1.3
1.0	1.0	9.4	6.8	5.1	4.0	3.3	2.8	2.3	2.0	1.8	1.4
1.5	1.5	10.4	7.4	5.6	4.4	3.6	3.1	2.6	2.3	2.1	1.6
2.0	2.0	11.4	8.1	6.1	4.8	4.0	3.4	2.9	2.6	2.4	1.8
2.5	2.5	12.4	8.6	6.5	5.1	4.3	3.7	3.1	2.8	2.6	2.0
3.0	3.0	13.4	9.1	6.9	5.5	4.6	4.0	3.4	3.1	2.9	2.2
3.5	3.5	14.4	9.6	7.4	6.0	5.0	4.3	3.7	3.4	3.2	2.4
4.0	4.0	15.4	10.1	7.9	6.5	5.4	4.6	4.0	3.7	3.5	2.6
4.5	4.5	16.4	10.6	8.4	7.0	5.9	5.1	4.4	4.1	3.9	2.8
5.0	5.0	17.4	11.1	8.9	7.5	6.4	5.5	4.8	4.5	4.3	3.0
5.5	5.5	18.4	11.6	9.4	8.0	6.9	6.0	5.2	4.9	4.7	3.3

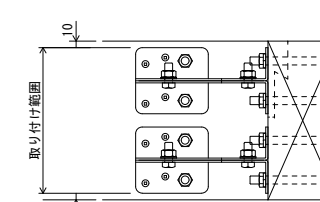
5. 施工要領

- (1) 端部金物にボルトを通してナットで締め仮固定後、ビスTB8-75を施工し横架材に取り付ける。その後ナットを工具で締め付ける。(構面内取り付け位置四隅)
- (2) プレースセットの各部品を組み付けて1本のブレースにする。
- (3) 端部金物のボルト孔とブレースのボルト孔を合わせて、接合ボルト各部品を用いて工具で締め付け、接合する。
- (4) ターンバックルを以下のいずれかで締め付ける。
 - ・トルクレンチを用いて10N・mのトルクで締め付け
 - ・手締め後、スパナ等で1/2回転
- (5) トルク締め後、ターンバックルの両側の六角ナットを工具で締め付ける。作業完了

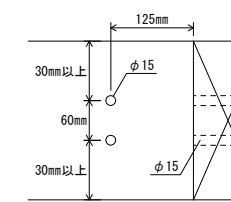
※ブレースは必ず「タスキ掛け」とする。

6. 接合部納まり図

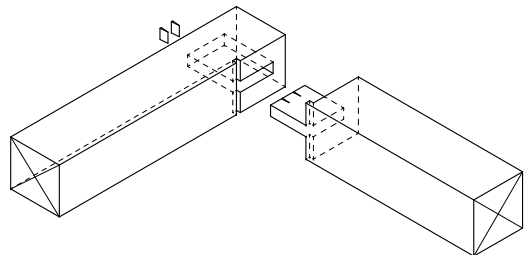
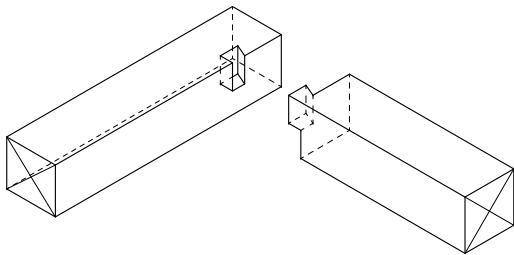
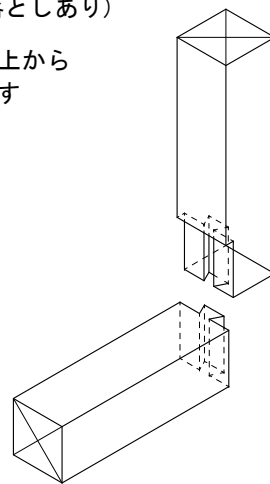
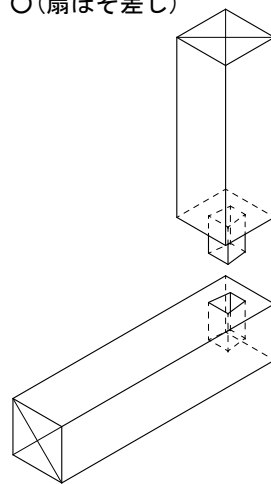
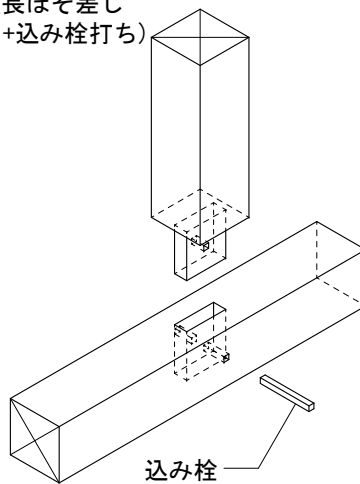
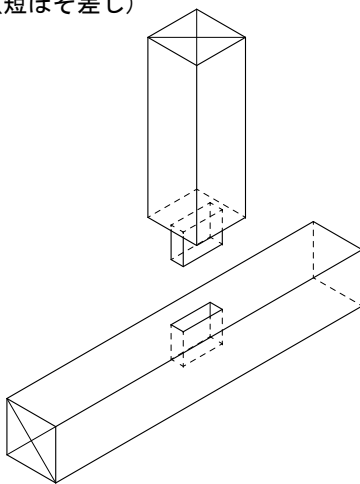
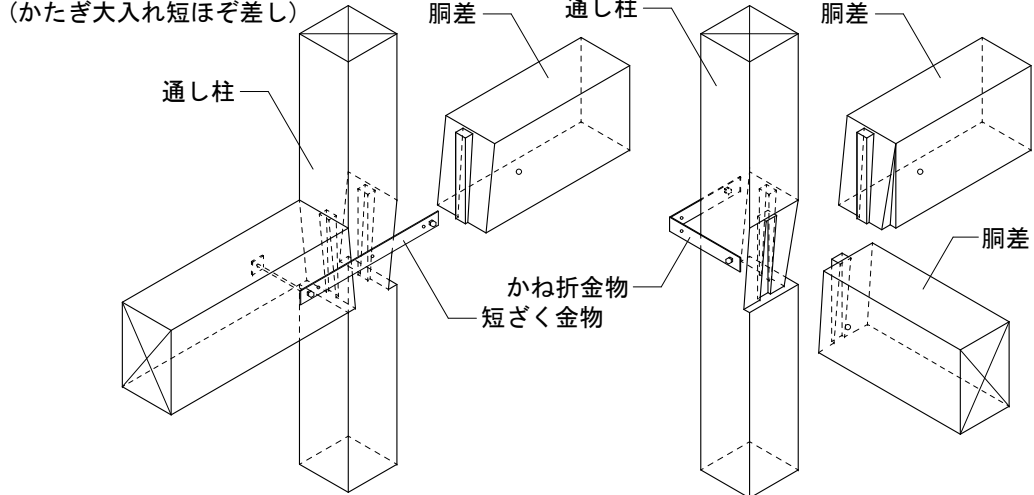
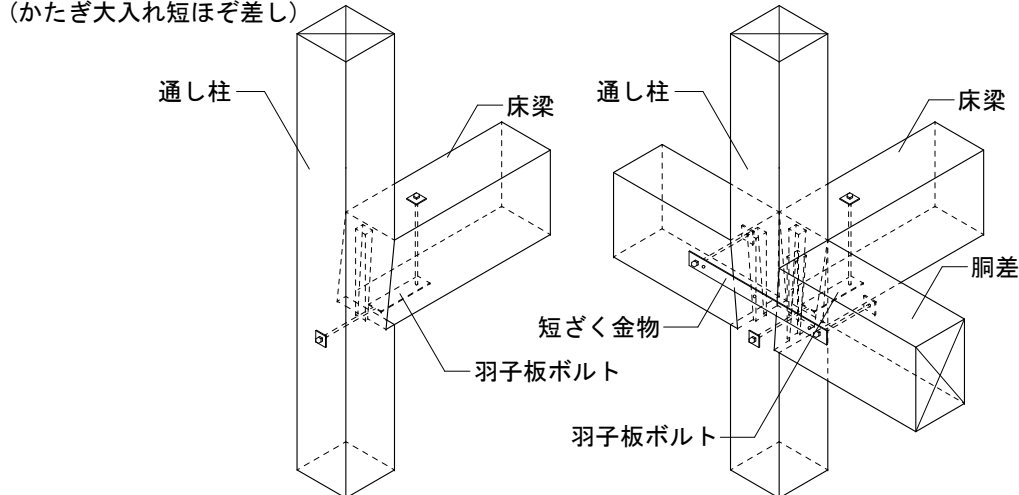
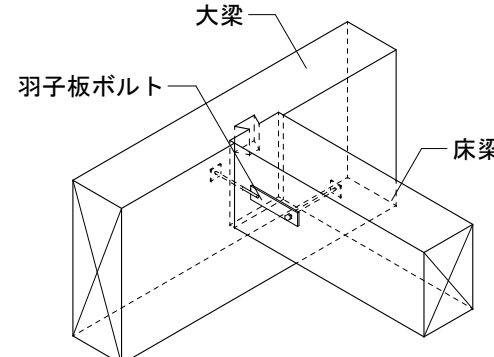
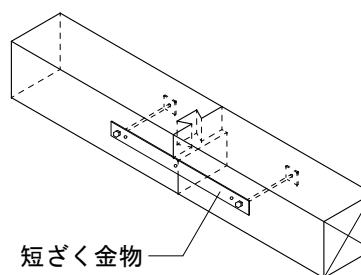
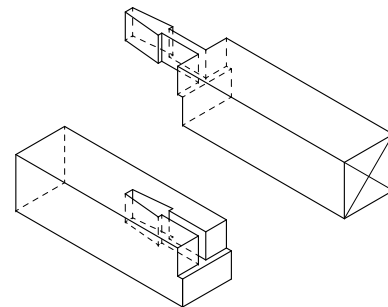
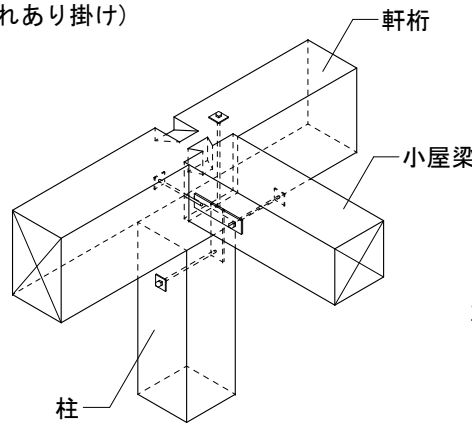
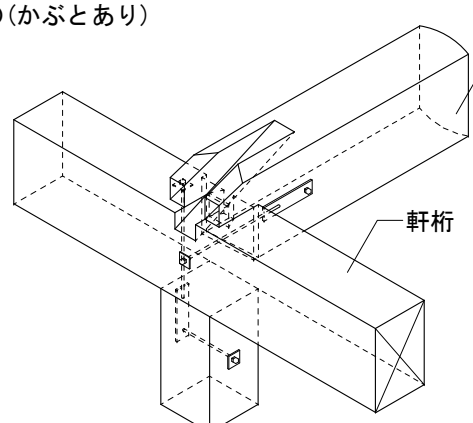
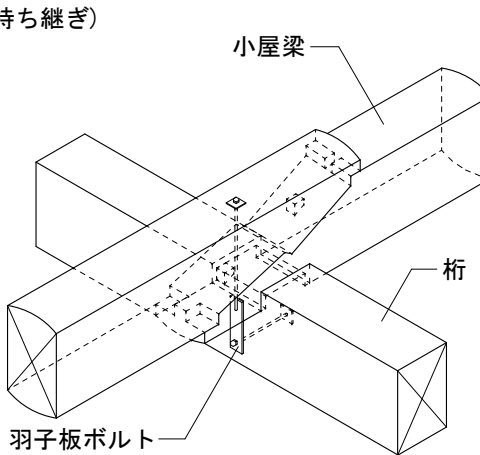
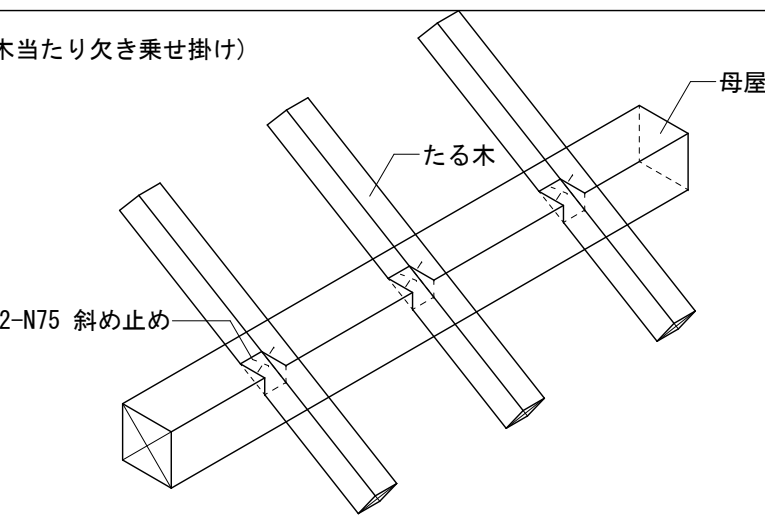
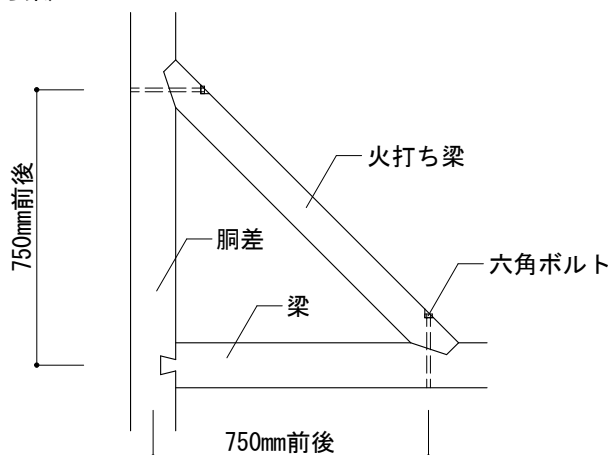
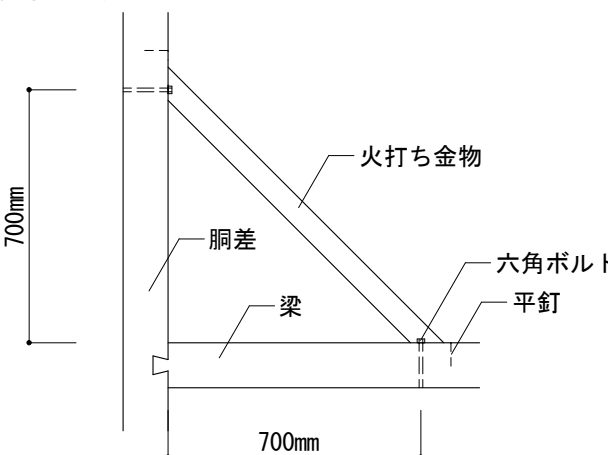
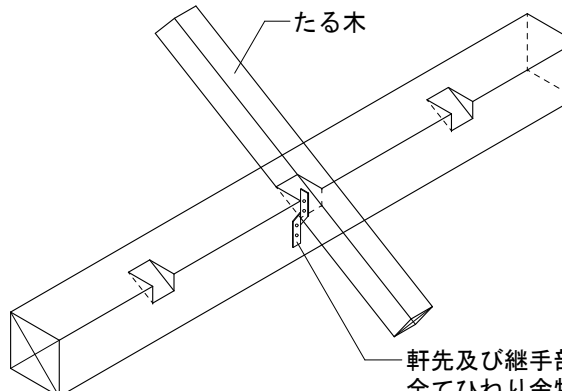
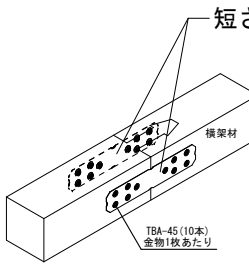
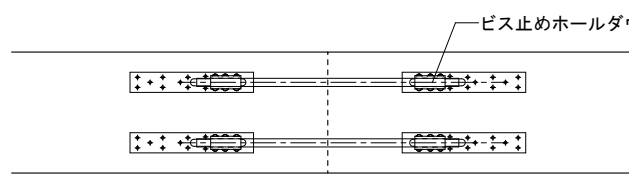
＜端部金物取り付け範囲＞



＜端部金物ボルト孔あけ加工＞



継手及び仕口図 部材の大きさは「木部材リスト」による。

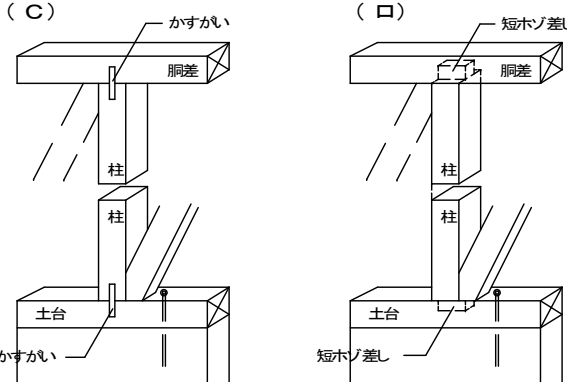
○土台の隅の仕口		○土台の仕口	○柱と土台の仕口	
○(大入れ小根ほぞ差し 割りくさび締め)		○(片あり掛け)	○(落としあり) 柱を上から 落とす	
				
			○(扇ほぞ差し)	○(長ほぞ差し +込み栓打ち)
				
			○(短ほぞ差し)	
				
			込み栓	
○通し柱と胴差の仕口		○通し柱と床梁の取り合い	○はりの仕口 (HB1)	○横架材の継手 (HB1)
(かたぎ大入れ短ほぞ差し)		(かたぎ大入れ短ほぞ差し)	(大入れあり掛け)	○(腰掛けあり継ぎ)
				
通し柱		通し柱	大梁	○(腰掛けかま継ぎ)
胴差		床梁	羽子板ボルト	
かね折金物		短ざく金物	床梁	短ざく金物
短ざく金物		羽子板ボルト		
		羽子板ボルト		
○小屋梁と軒桁との仕口及び取り合い		○(かぶとあり)	○小屋梁の継手	○たる木と母屋の仕口
○(大入れあり掛け)		○(かぶとあり)	(台持ち継ぎ)	(たる木当たり欠き乗せ掛け)
				
軒桁		小屋梁	小屋梁	母屋
小屋梁		軒桁	桁	たる木
柱		軒桁	羽子板ボルト	2-N75 斜め止め
羽子板ボルト		羽子板ボルト		
○火打ち梁の取り合い		○けた行雲筋かい・振れ止め	○たる木と横架材の仕口	
○(木製火打ち梁)		○(鋼製火打ち梁)	(たる木当たり欠き乗せ掛け)	
				
火打ち梁		火打ち金物	たる木	
胴差		胴差	軒先及び継手部は 全てひねり金物	
梁		梁		
六角ボルト		六角ボルト		
平釘		平釘		
短ざく金物 × 2		ビス止めホールダウンU25KN用 × 2		
○横架材の継手		○横架材の継手		
				
直付両面		(HB25)		
(HB2)				

工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ選別場 木造継手仕口図		
縮 尺	N/S	番 号	37枚の内 26号
設 計 年月日	令和8年 3月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			

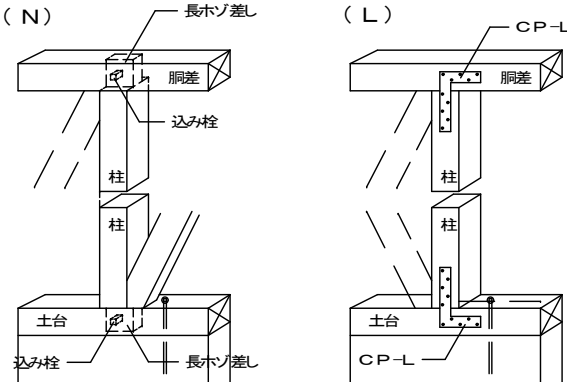
軸組端部の柱と主要な横架材との仕口

※金物は全てZマーク金物又は同等の認定金物とする。

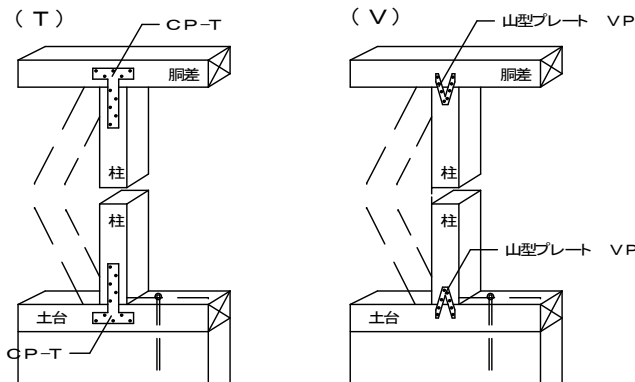
(い) 短まぞ差し、かすがい打ち又はこれらと同等以上の接合方法としたもの



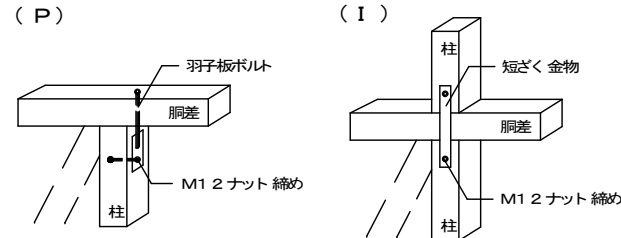
(ろ) 長まぞ差し込み釘打ち若しくは厚さ2・3mmのL字型の鋼板添え板を、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ6・5cmの太め鉄くぎを5本平打ちしたものを又はこれらと同等以上の接合方法としたもの



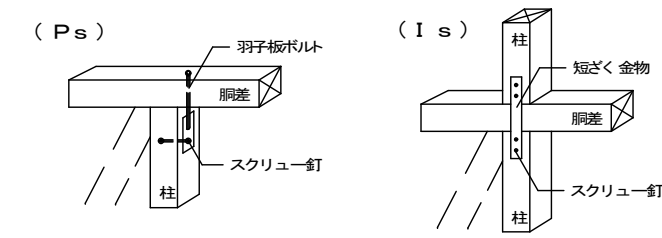
(は) 厚さ2・3mmのD字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ6・5cmの太め鉄くぎを5本平打ちしたものを若しくは厚さ2・3mmのV字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ9cmの太め鉄くぎを4本平打ちしたものを又はこれらと同等以上の接合方法としたもの



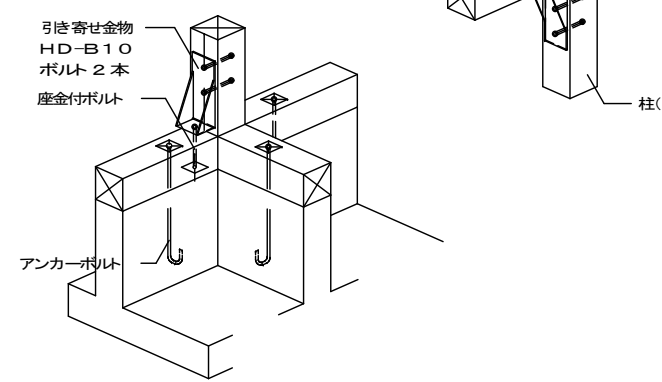
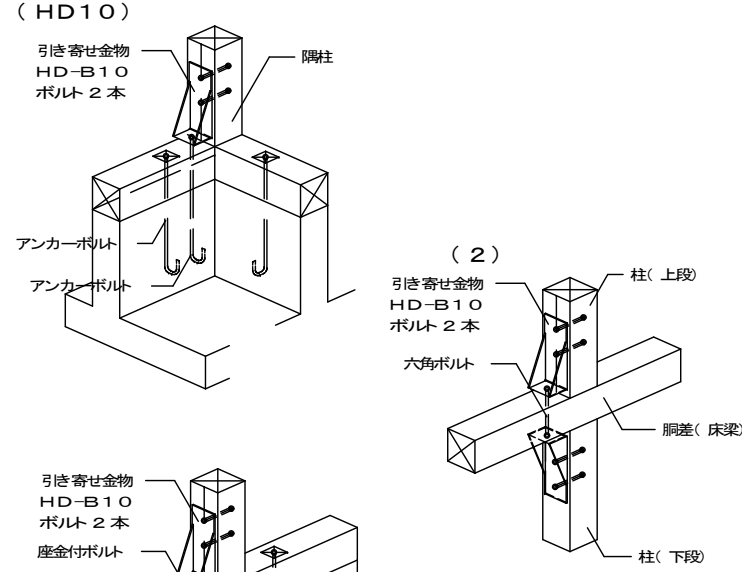
(に) 厚さ3・2mmの鋼板添え板に径12mmのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径12mmのボルト締め、横架材に対して厚さ4・5mm、40mm角の角金物を介してナット締めとしたものは厚さ3・2mmの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径12mmのボルト締めとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの



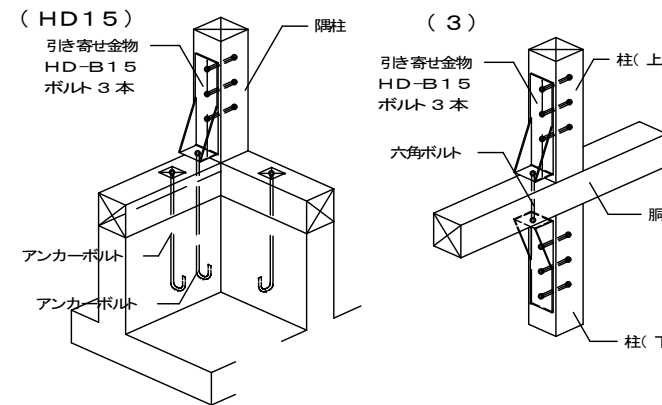
(ほ) 厚さ3・2mmの鋼板添え板に径12mmのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径12mmのボルト締め及び長さ50mm、径4・5mmのスクリュー釘打ち、横架材に対して厚さ4・5mm、40mm角の角金物を介してナット締めとしたものは厚さ3・2mmの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径12mmのボルト締め及び長さ50mm、径4・5mmのスクリュー釘打ちとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの



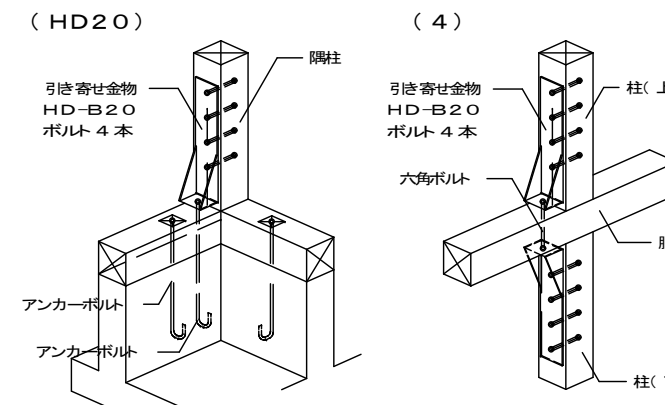
(へ) 厚さ3・2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト2本、横架材、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの



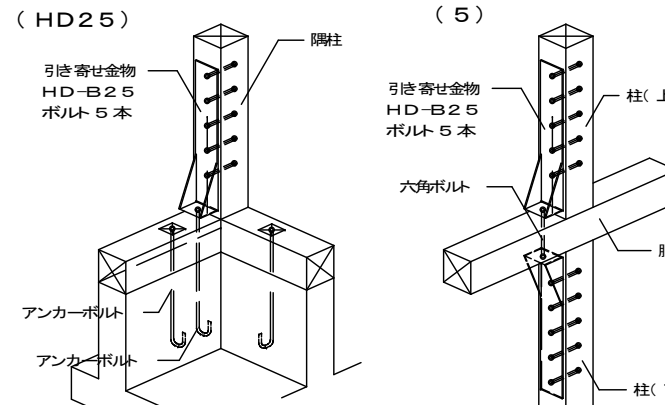
(と) 厚さ3・2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト3本、横架材(土台を除く)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの



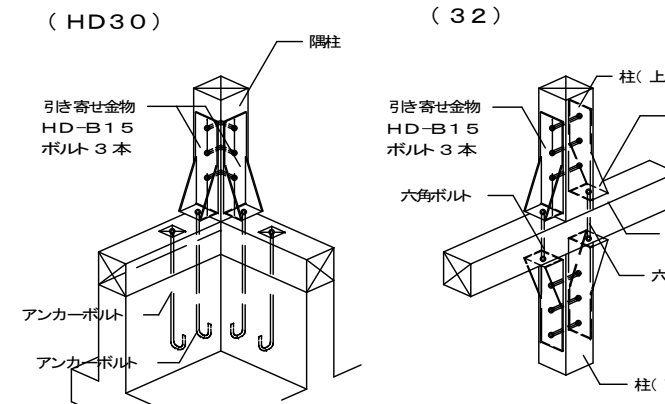
(ち) 厚さ3・2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト4本、横架材(土台を除く)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの



(り) 厚さ3・2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト5本、横架材(土台を除く)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの



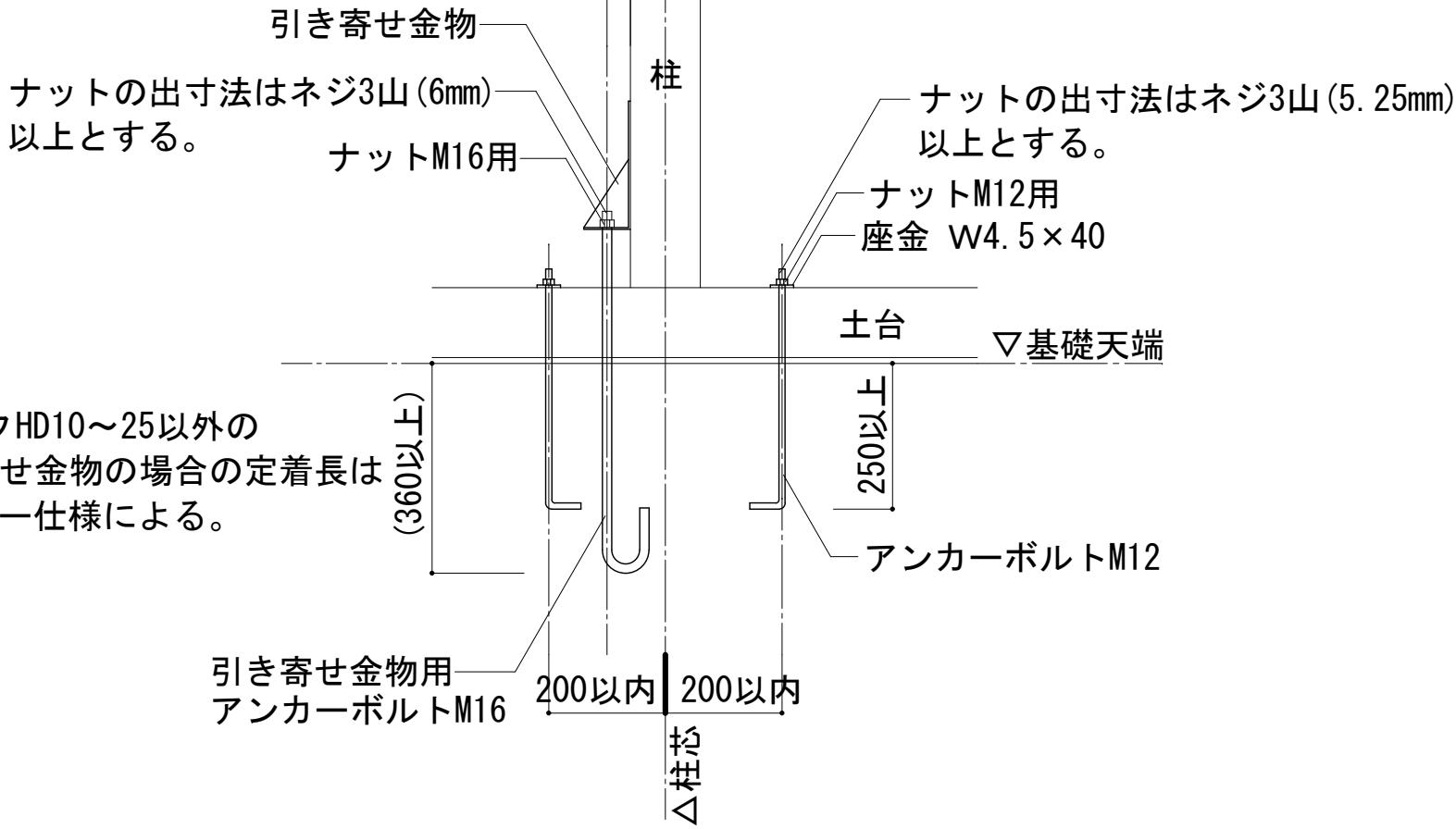
(ぬ) (と)に拠る仕口を2組用いたもの



(HD35) ホールダウン金物35KN用 (6) ホールダウン金物35KN用

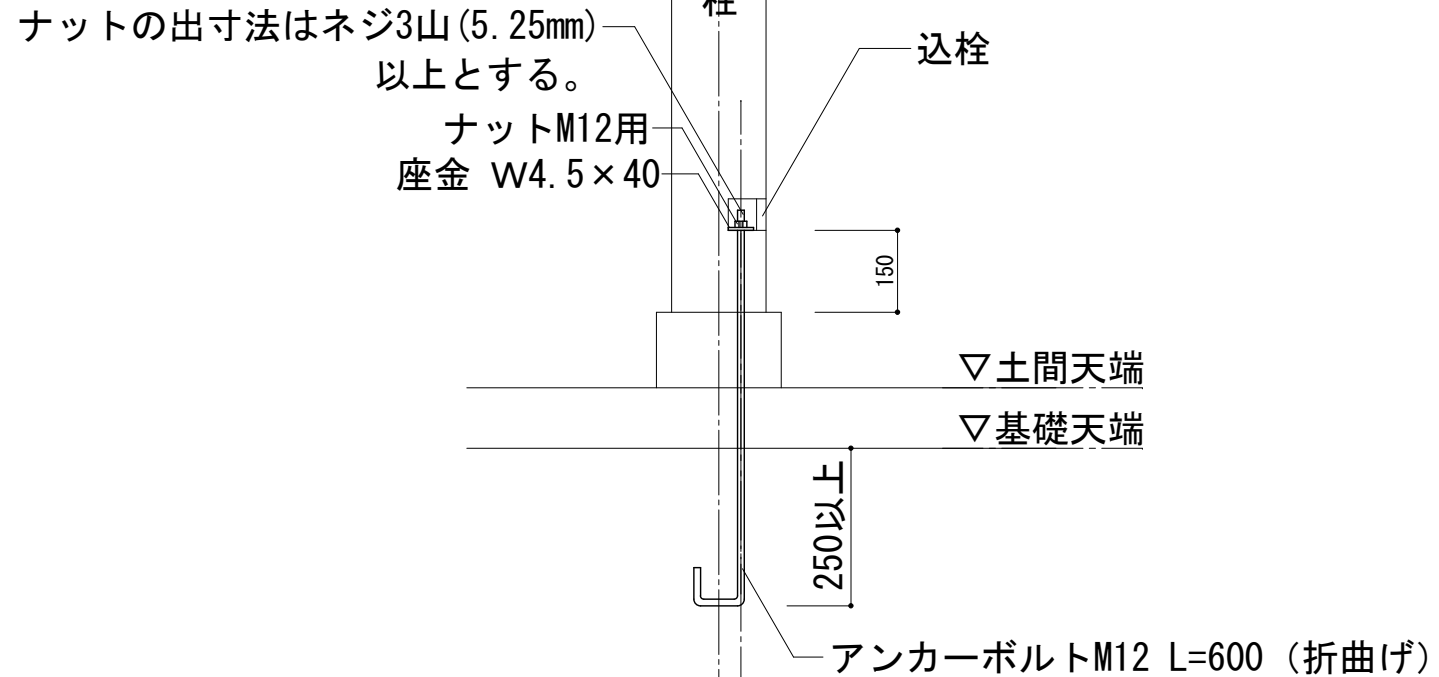
アンカーボルト配置要領

※アンカーボルトM16の柱面からの位置は引き寄せ金物の仕様による



アンカーボルト配置要領

※独立柱の場合

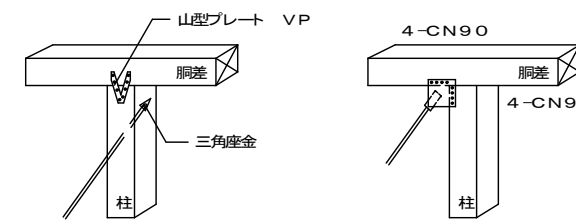


筋かい端部と軸組との止め付け部

筋かいの端部における仕口にあつては、次の掲げる筋かいの種類に応じ、それぞれから木までに定める接合方法又はこれらと同等以上の引張耐力を有する接合方法によらなければならない。

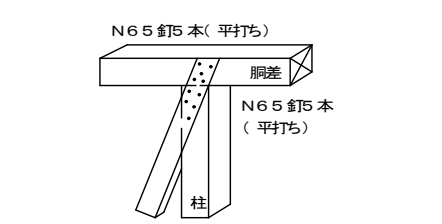
イ 径9mm以上の鉄筋

柱又は横架材を貫通した鉄筋を三角座金を介してナット締めとしたもの又は当該鉄筋の止め付けに鋼板添え板に柱及び横架材に対して長さ9cmの太め鉄くぎ(日本工業規格A5508(くぎ)1992のうち太め鉄くぎに適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。)を8本打ち付けたもの



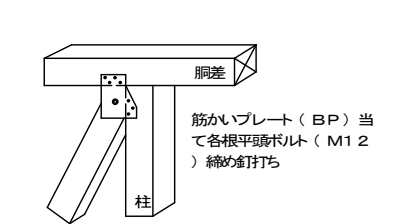
ロ 厚さ1・5cm以上で幅9cm以上の木材

柱及び横架材を欠き込み、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ6・5cmの鉄くぎ(日本工業規格A5508(くぎ)1992のうち鉄くぎに適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。)を5本平打ちしたものと



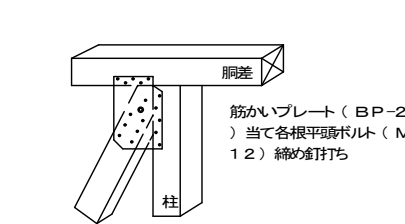
ハ 厚さ3cm以上で幅9cm以上の木材

厚さ1・6cmの鋼板添え板を、筋かいに対して径12mmのボルト(日本工業規格B1180(六角ボルト)1994のうち強度区分4・6に適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。)締め及び長さ6・5cmの太め鉄くぎを3本平打ち、柱に対して長さ6・5cmの太め鉄くぎを3本平打ち、横架材に対して長さ6・5cmの太め鉄くぎを4本平打ちしたもの



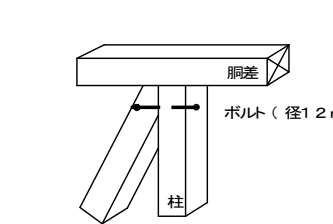
ニ 厚さ4・5cm以上で幅9cm以上の木材

厚さ2・3cm以上の鋼板添え板を、筋かいに対して径12mmのボルト締め及び長さ50mm、径4・5mmのスクリュー(き)7本の平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ50mm、径4・5mmのスクリュー(き)5本の平打ちしたもの

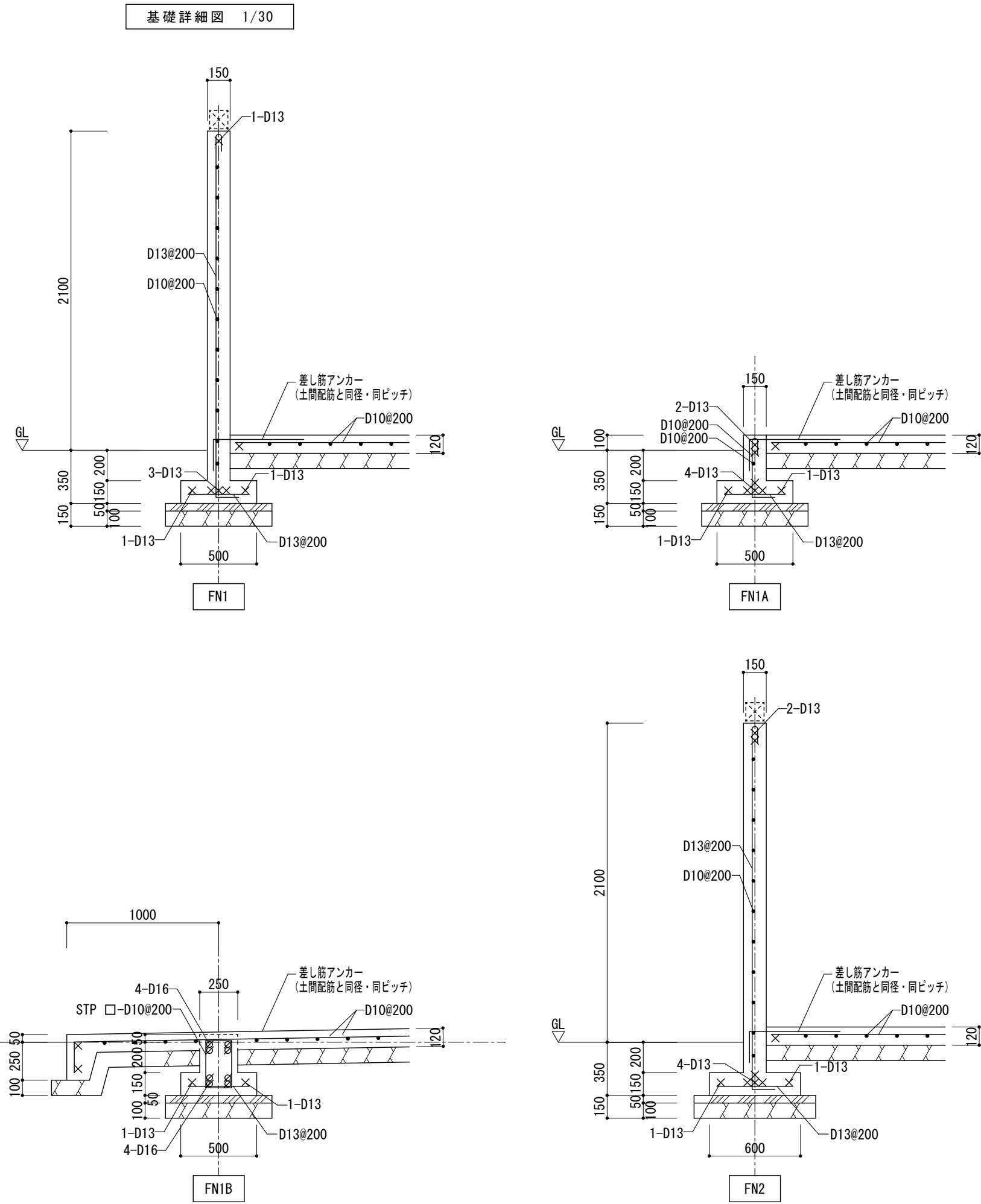
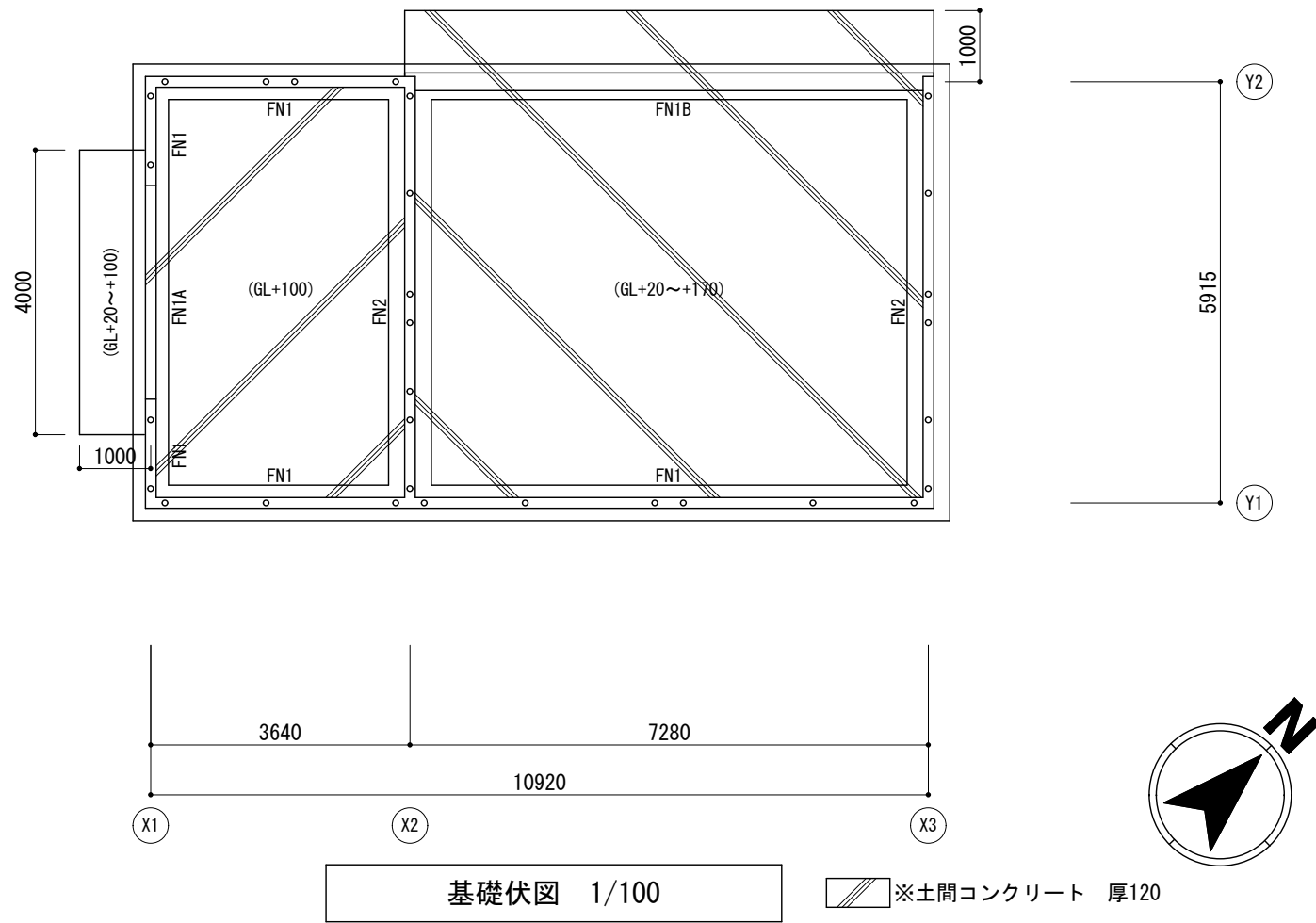


ホ 厚さ9cm以上で幅9cm以上の木材

柱又は横架材に径12mmのボルトを用いた1面せん断接合としたもの



工 事 名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ選別場 木造金物詳細図		
縮 尺	N/S	番 号	3 7 枚の内 2 7 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アプデザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



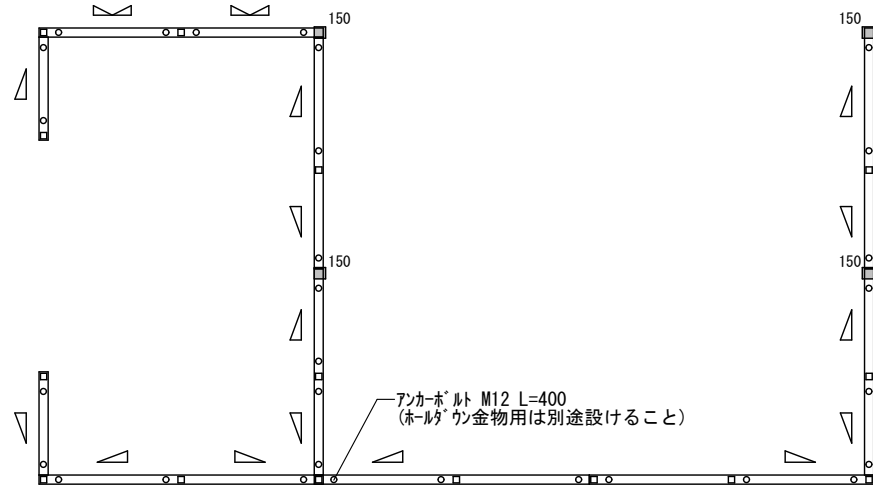
特記事項	
コンクリートの材料（令第72条）	
「建築工事標準仕様書 JASS5」4節による。	
セメント	ポルトランドセメント
粗骨材	砂利・碎石、最大径25mm（ラップルは最大径40mm）
細骨材	砂・砕砂
混和剤	A E減水剤・高性能A E減水剤
塩化物規制	0.3kg/m ³ 以下
鉄筋の継手及び定着（令第73条）	
「建築工事標準仕様書 JASS5」10節による。	
柱に取り付く梁の主筋の柱への定着長さは主筋径の40倍とする。	
コンクリートの強度（令第74条）	
「建築工事標準仕様書 JASS5」3節、5-7節、11節による。	
コンクリートの種類	レディーミクストコンクリート
水セメント比	65%以下
設計基準強度及びスランプ	
基礎	F _c =21N/mm ² s _l =18cm
土間	F _c =21N/mm ² s _l =18cm
捨て	F _c =18N/mm ² s _l =15cm

コンクリートの塩化物に関しては、カンタブによる試験とする。
圧縮強度試験 4週の供試体は公的試験場による試験とする。

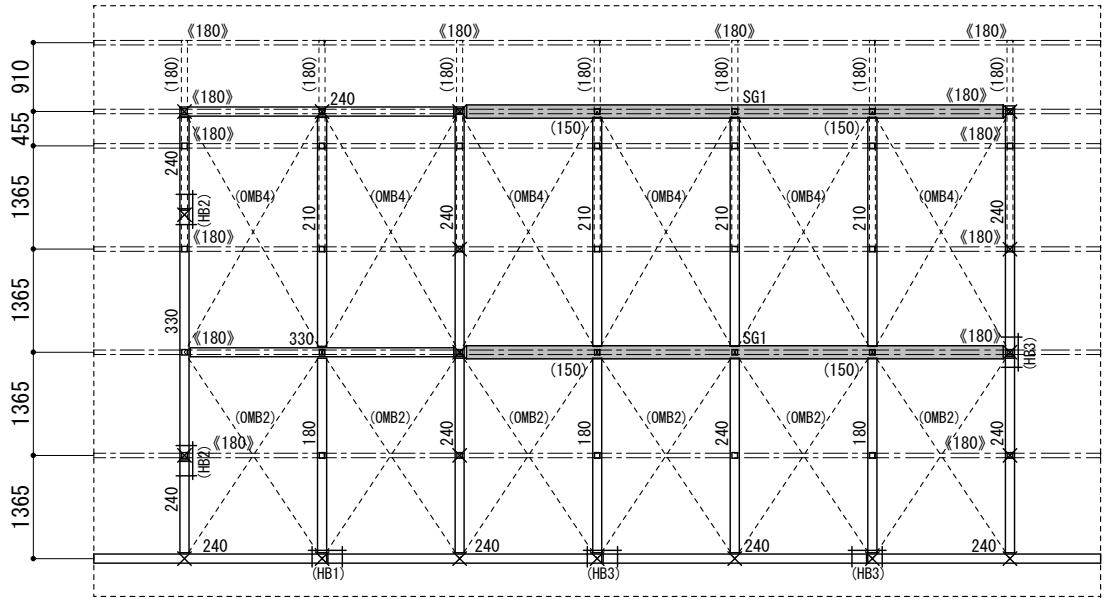
コンクリートの養生（令第75条）
「建築工事標準仕様書 JASS5」8節による。
型枠及び支柱の除去（令第76条）
「建築工事標準仕様書 JASS5」9節による。
存置期間 建設省告示第110号による。
鉄筋のかぶり厚さ（令第79条）
「建築工事標準仕様書 JASS5」3節、10節による。
上記以外については「建築工事標準仕様書 JASS5」による。
使用鉄筋 S D 2 9 5 A（D 1 6以下）
S D 3 4 5（D 1 9以上）
地耐力 5 0 k N / m²

スラブリスト				
符 号	厚	位 置	短 辺 方 向	長 辺 方 向
土間	120	シン ゲル	D10 @200	D10 @200

工 事 名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ集積場 基礎伏図・基礎詳細図		
縮 尺	1/100・1/30	番 号	37枚の内 28号
設 計 年月日	令和8年 3月		
設 計	有限会社アブデザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



土台伏図 1/100

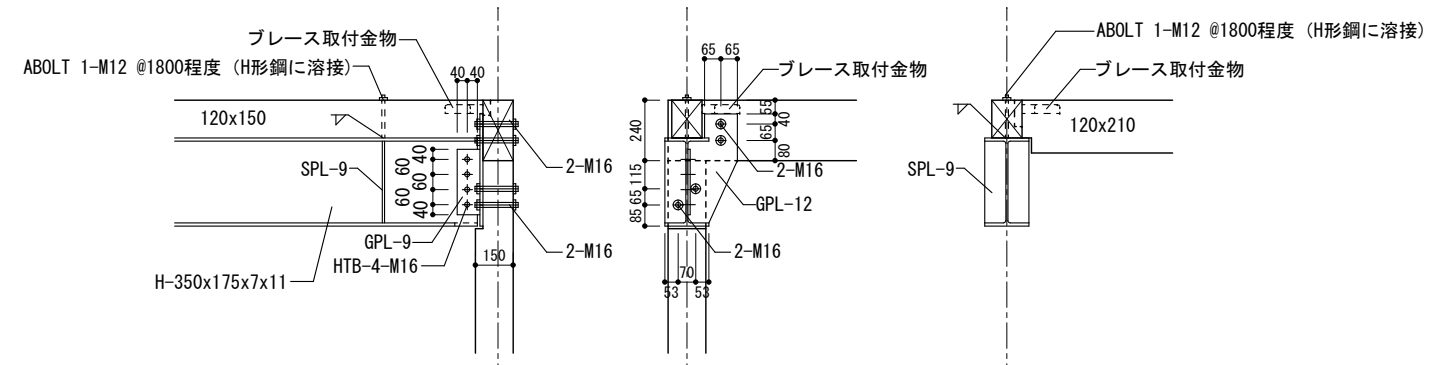
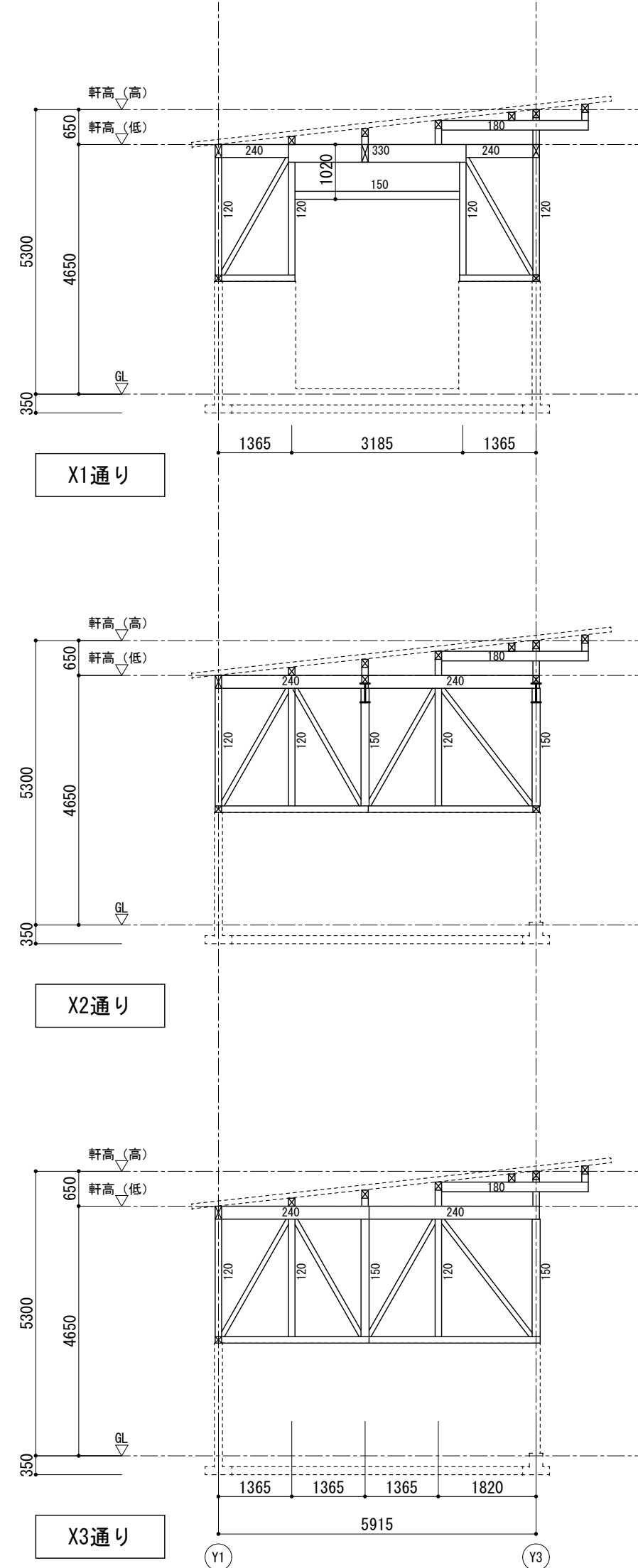
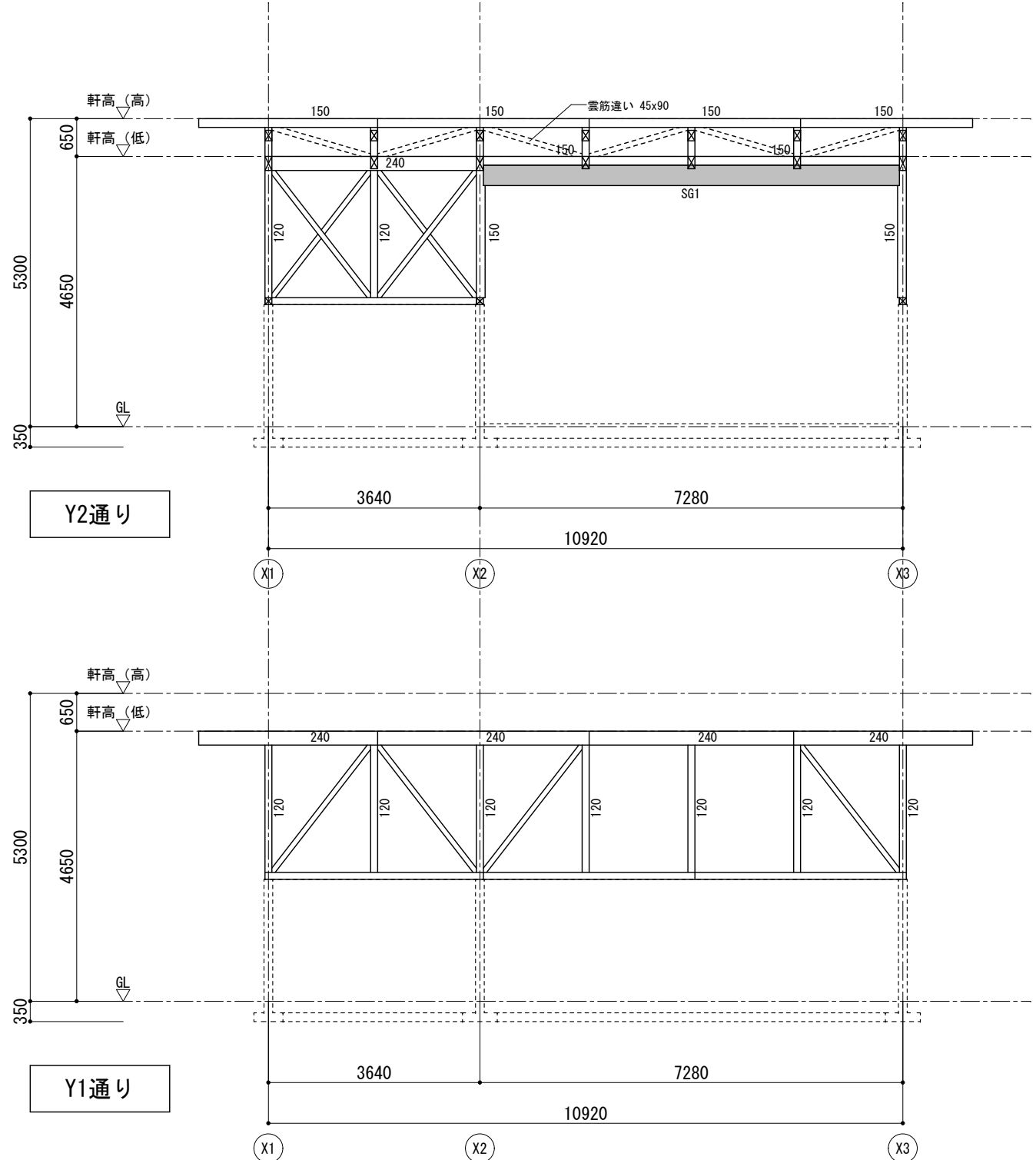


梁伏図 1/100

木部材リスト ※構造材は県産材とする。

名 称	符 号	部 材	名 称	符 号	部 材
柱		120x120 (桧 特一等)	母 屋		120x150(図示なき限り) (桧 特一等)
		150x150 (桧 特一等)			
間 柱		45x120 (桧 特一等)	筋かい		片方向筋かい(45×90)
土 台		120x120(図示なき限り) (桧 特一等)			たすき掛筋かい(45×90)
軒桁、小屋梁		※図示 120x000 (桧 特一等)	アンカーボルト		M12 L=400 (JIS B 1180)
					M16 L=700 (引き寄せ金物用) (JIS B 1180)
小屋束		120x120(図示なき限り) (桧 特一等)	雲筋かい		45x90 (松 特一等)
火打ち		90x90 (桧 特一等)	SG1		H-350x175x7x11 (SS400)
梁端部継手		大入れ蟻掛け+羽子板ボルト又は短冊金物			
		大入れ蟻掛け+羽子板ボルト×2又は短冊金物×2			
		オメガ短冊スリム 10×2 直付並列面			
OMB2		オメガメタルブレース水平用 18x27 (タナカ)			
OMB4		オメガメタルブレース水平用 18x31 (タナカ)			

工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ集積場 土台伏図・梁伏図		
縮 尺	1/100	番 号	37枚の内 29号
設 計 年月日	令和8年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大田登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			



SG1取付詳細図 1/30

工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ集積場 軸組図		
縮 尺	1/100, 1/30	番 号	3 7 枚の内 3 0 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

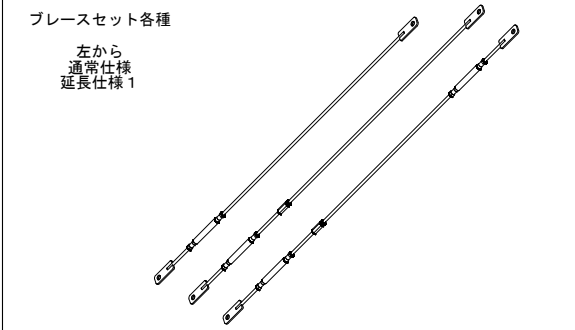
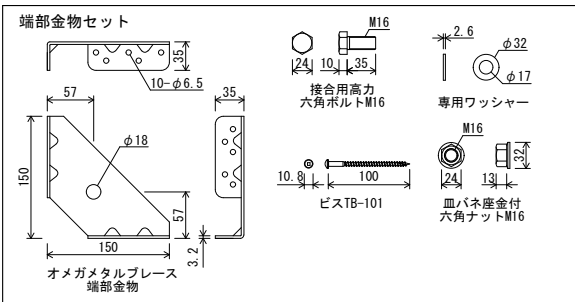
オメガメタルブレース (水平用) 参考標準図

Ver. 1.1

HP評価(木)-14-008-1



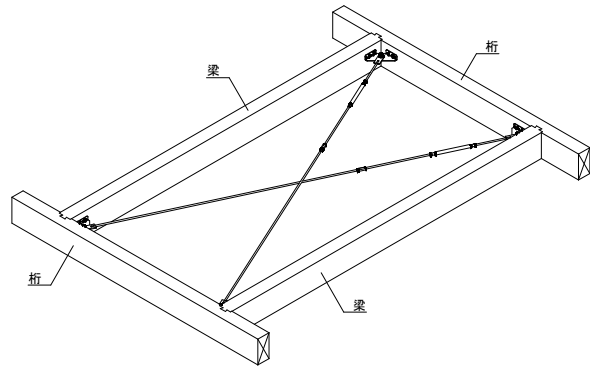
1. 部品各種



材質	端部金物 : S400 ブレース : S400
表面処理	Ep+Fe/Zn+Fe S 亜鉛-鉄合金めっき (ストロンジング 黒クロメート)

2. 構面納まり図

例 構面形状比 1 : 2



3. 設計条件

建築物の構造	木造軸組工法建築物
準拠基準	品確法に基づく平成13年国土交通省告示第134号 評価方法基準 ・建築基準法施行令第3条第3節 (第48条を除く) ・スギ製材 (無等級) 以上
断面寸法	105mm以上×105mm以上
構面寸法	横架材間隔 (芯-芯) 寸法900mm以上5500mm以下 (900mm×900mm～5500mm×5500mm)
形状比	1 : 1～1 : 4 の範囲内

4. 性能値

床倍率一覧表 (グレー部分は構面形状比1 : 4を超える評価対象外の範囲)

短辺方向 (m)	長辺方向 (m)																単位 : 倍
	0.910	1.365	1.820	2.275	2.730	3.185	3.640	4.095	4.550	5.005	5.460	5.915	6.370	6.825	7.280	7.735	
0.910	4.5	3.6	2.9	2.2	1.5	1.5	1.2	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	短辺方向 (m)
1.365	—	3.6	3.1	2.7	2.3	1.9	1.6	1.4	1.2	1.1	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	
1.820	—	—	3.0	2.6	2.4	2.1	1.8	1.6	1.5	1.3	1.2	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9	
2.275	—	—	—	2.6	2.3	2.0	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3	1.2	1.1	1.0	0.9	0.9	
2.730	—	—	—	—	2.2	2.0	1.7	1.6	1.5	1.4	1.3	1.2	1.1	1.0	0.9	0.9	
3.185	—	—	—	—	—	1.8	1.7	1.5	1.4	1.3	1.2	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9	
3.640	—	—	—	—	—	—	1.6	1.5	1.3	1.3	1.1	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9	
4.095	—	—	—	—	—	—	—	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9	
4.550	—	—	—	—	—	—	—	—	1.2	1.2	1.1	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9	
5.005	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.1	1.1	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9	
5.460	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	
5.915	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	
6.370	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	0.9	0.9	0.9	
6.825	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	0.9	0.9	
7.280	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	0.9	
7.735	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	

短辺方向 (m)	長辺方向 (m)																単位 : 倍
	0.9	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	7.5	8.0	
0.9	0.9	4.5	4.3	3.3	2.6	2.0	1.6	1.3	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	短辺方向 (m)
1.0	—	4.3	3.6	2.7	2.1	1.7	1.4	1.2	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	
1.5	—	—	3.4	2.9	2.5	2.1	1.8	1.5	1.3	1.2	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	
2.0	—	—	—	2.9	2.5	2.2	2.0	1.8	1.5	1.4	1.2	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9	
2.5	—	—	—	—	2.5	2.1	1.9	1.7	1.6	1.4	1.3	1.2	1.1	1.0	0.9	0.9	
3.0	—	—	—	—	—	2.0	1.7	1.5	1.4	1.3	1.3	1.2	1.1	1.0	0.9	0.9	
3.5	—	—	—	—	—	—	1.7	1.5	1.3	1.3	1.2	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9	
4.0	—	—	—	—	—	—	—	1.4	1.3	1.2	1.1	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9	
4.5	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	1.2	1.1	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9	
5.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.2	1.1	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9	
5.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.1	1.1	1.0	0.9	0.9	0.9	
6.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	
6.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	0.9	0.9	0.9	
7.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	0.9	0.9	
7.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	0.9	
8.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.9	

1mあたりの短期許容せん断耐力一覧表 (グレー部分は構面形状比1 : 4を超える評価対象外の範囲)

短辺方向 (m)	長辺方向 (m)																単位 : kN/m
	0.9	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	7.5	8.0	
0.9	0.9	8.9	8.5	6.6	5.1	4.0	3.1	2.5	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	短辺方向 (m)
1.0	—	8.4	6.9	5.4	4.2	3.4	2.6	2.3	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	
1.5	—	—	6.8	5.8	5.0	4.2	3.6	3.1	2.7	2.3	2.0	1.7	1.5	1.3	1.1	0.9	
2.0	—	—	—	6.2	5.3	4.6	4.0	3.5	3.1	2.7	2.3	2.0	1.7	1.5	1.3	1.1	
2.5	—	—	—	—	4.9	4.2	3.6	3.3	3.1	2.8	2.6	2.3	2.0	1.7	1.5	1.3	
3.0	—	—	—	—	—	4.0	3.5	3.1	2.9	2.6	2.5	2.3	2.0	1.7	1.5	1.3	
3.5	—	—	—	—	—	—	3.4	3.0	2.8	2.6	2.5	2.3	2.0	1.7	1.5	1.3	
4.0	—	—	—	—	—	—	—	2.9	2.6	2.3	2.3	2.1	1.9	1.7	1.5	1.3	
4.5	—	—	—	—	—	—	—	—	2.5	2.3	2.1	2.1	1.9	1.7	1.5	1.3	
5.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.2	2.1	2.1	1.9	1.7	1.5	1.3	
5.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0	2.0	1.9	1.7	1.5	1.3	
6.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9	1.8	1.7	1.5	1.3	
6.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8	1.7	1.5	1.3	
7.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7	1.5	1.3	
7.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.6	1.4	
8.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	

短辺方向 (m)	長辺方向 (m)																単位 : kN/m
	0.9	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	7.5	8.0	
0.9	0.9	8.9	8.5	6.6	5.1	4.0	3.1	2.5	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	短辺方向 (m)
1.0	—	8.4	6.9	5.4	4.2	3.4	2.6	2.3	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	
1.5	—	—	6.8	5.8	5.0	4.2	3.6	3.1	2.7	2.3	2.0	1.7	1.5	1.3	1.1	0.9	
2.0	—	—	—	6.2	5.3	4.6	4.0	3.5	3.1	2.7	2.3	2.0	1.7	1.5	1.3	1.1	
2.5	—	—	—	—	4.9	4.2	3.6	3.3	3.1	2.8	2.6	2.3	2.0	1.7	1.5	1.3	
3.0	—	—	—	—	—	4.0	3.5	3.1	2.9	2.6	2.5	2.3	2.0	1.7	1.5	1.3	
3.5	—	—	—	—	—	—	3.4	3.0	2.8	2.6	2.5	2.3	2.0	1.7	1.5	1.3	
4.0	—	—	—	—	—	—	—	2.9	2.6	2.3	2.3	2.1	1.9	1.7	1.5	1.3	
4.5	—	—	—	—	—	—	—	—	2.5	2.3	2.1	2.1	1.9	1.7	1.5	1.3	
5.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.2	2.1	2.1	1.9	1.7	1.5	1.3	
5.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.0	2.0	1.9	1.7	1.5	1.3	
6.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.9	1.8	1.7	1.5	1.3	
6.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.8	1.7	1.5	1.3	
7.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.7	1.5	1.3	
7.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.6	1.4	
8.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.3	

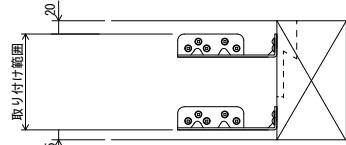
5. 施工要領

- 端部金物の取り付け位置を決め、ビスTB-101を10本施工し横架材に取り付ける。(構面内取り付け位置四隅)
- ブレースセットの各部品を組み付けて1本のブレースにする。
- 端部金物のボルト孔とブレースのボルト孔を合わせて、接合ボルト各部品を用いて工具で締め付け、接合する。
- ターンバックルを以下のいずれかで締め付ける。
 - トルクレンチを用いて10N・mのトルクで締め付け
 - 手締め後、スパス等で1/2回転
- トルク締め後、ターンバックルの両側の六角ナットを工具で締め付ける。

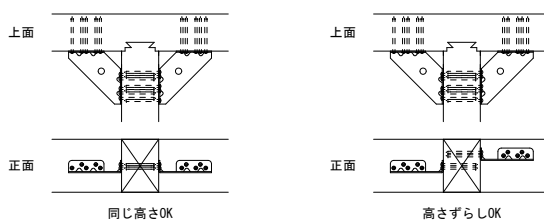
※ブレースは必ず「タスキ掛け」とする。

6. 接合部納まり図

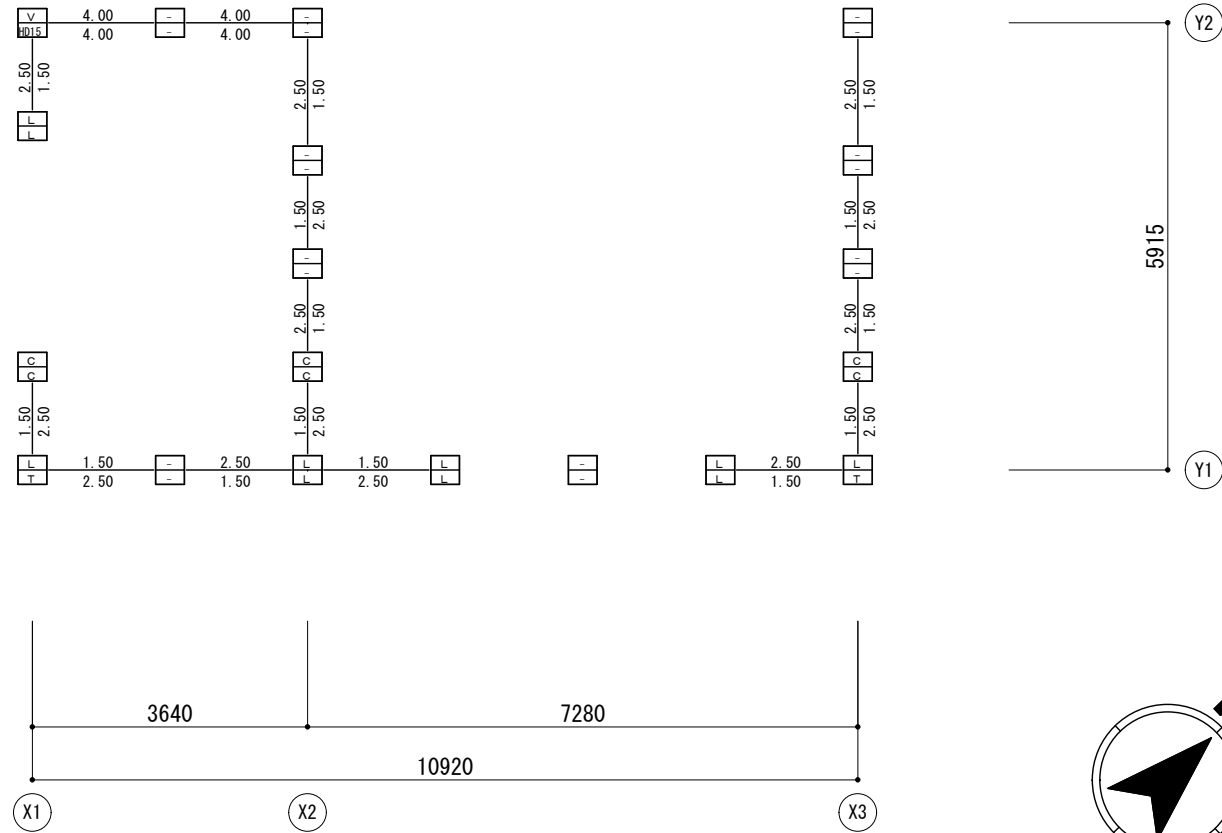
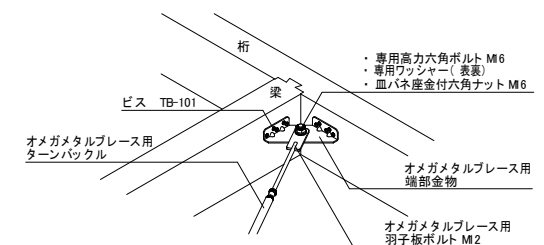
<端部金物取り付け範囲>



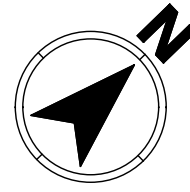
<隣り合う構面の端部金物との納まり>



<端部金物とブレースの納まり>



金物伏図 1/100



凡例	
<耐力壁>	
X+方向壁倍率	
X-方向壁倍率	
Y+方向壁倍率	
Y-方向壁倍率	
<金物>	
柱頭金物	
柱脚金物	
C かすがい打	
L L字型かど金物	
T T字型かど金物	
V 山形プレート	
HD15 15 k N 鉄釘 金物	

工 事 名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ集積場 金物伏図・オメガブレース標準図		
縮 尺	1/100	番 号	3 7 枚の内 3 1 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大丘登録 第28416号 栗本智秀		
高 山 市			

継手及び仕口図 部材の大きさは「木部材リスト」による。

○土台の隅の仕口		○土台の仕口	○柱と土台の仕口			
○(大入れ小根ほぞ差し 割りくさび締め)		○(片あり掛け)	○(落としあり) 柱を上から 落とす	○(扇ほぞ差し)	○(長ほぞ差し +込み栓打ち)	○(短ほぞ差し)
○通し柱と胴差の仕口		○通し柱と床梁の取り合い		○はりの仕口 (HB1)	○横架材の継手 (HB1)	
(かたぎ大入れ短ほぞ差し)		(かたぎ大入れ短ほぞ差し)		(大入れあり掛け)	○(腰掛けあり継ぎ)	○(腰掛けかま継ぎ)
○小屋梁と軒桁との仕口及び取り合い		○(かぶとあり)		○小屋梁の継手	○たる木と母屋の仕口	
○(大入れあり掛け)		○(かぶとあり)		(台持ち継ぎ)	(たる木当たり欠き乗せ掛け)	
○火打ち梁の取り合い				○けた行雲筋かい・振れ止め		○たる木と横架材の仕口
○(木製火打ち梁)				○(鋼製火打ち梁)		(たる木当たり欠き乗せ掛け)
○横架材の継手		○横架材の継手				
短ざく金物 x 2		短ざく金物 x 2				
(HB2)		(HB3)				

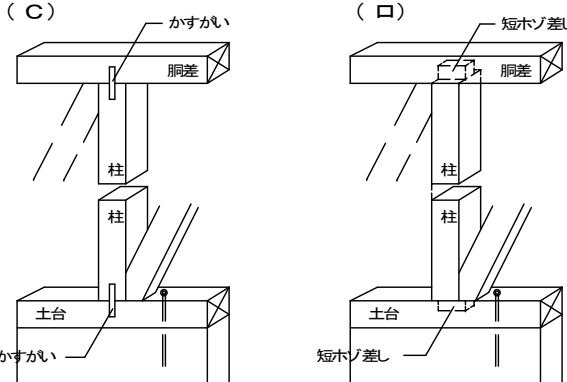
工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ集積場 木造継手仕口		
図 名	不燃ごみ集積場 木造継手仕口		
縮 尺	N/S	番 号	3
設 計 年月日	令和8年 3月		
設 計	有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登		
高 山			

工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ集積場 木造継手仕口図		
縮 尺	N/S	番 号	3 7 枚の内 3 2 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			

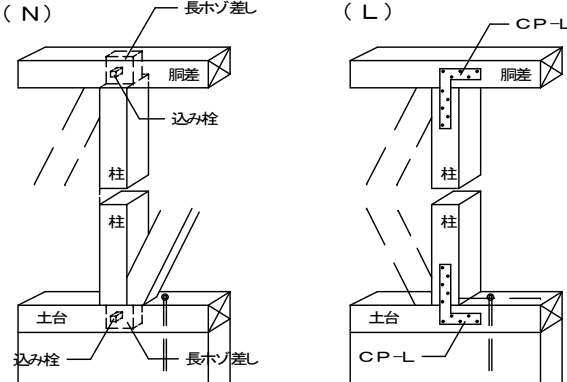
軸組端部の柱と主要な横架材との仕口

※金物は全てZマーク金物又は同等の認定金物とする。

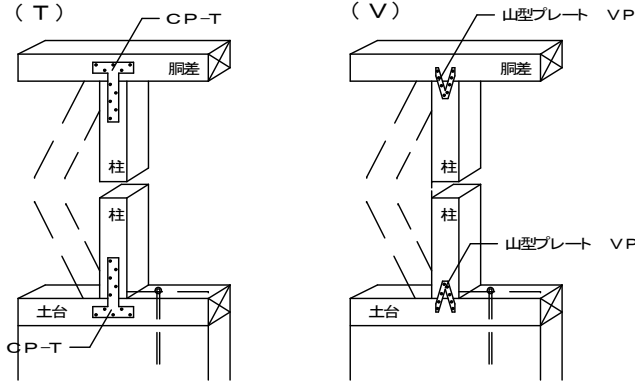
(い) 短まぞ差し、かすがい打ち又はこれらと同等以上の接合方法としたもの



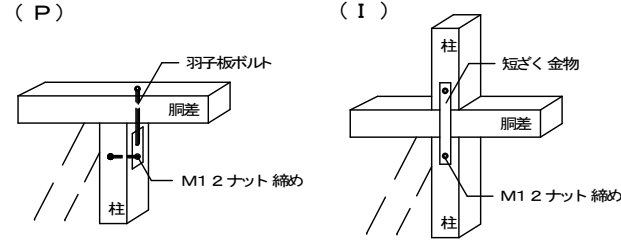
(ろ) 長まぞ差し込み釘打ち若しくは厚さ2・3mmのL字型の鋼板添え板を、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ6・5cmの太め鉄くぎを5本平打ちしたものを又はこれらと同等以上の接合方法としたもの



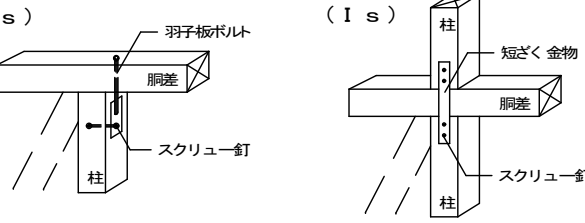
(は) 厚さ2・3mmのD字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ6・5cmの太め鉄くぎを5本平打ちしたものを若しくは厚さ2・3mmのV字型の鋼板添え板を用い、柱及び横架材にそれぞれ長さ9cmの太め鉄くぎを4本平打ちとしたものを又はこれらと同等以上の接合方法としたもの



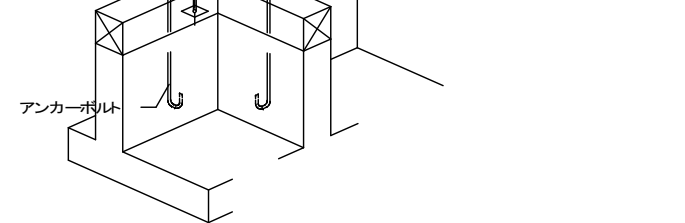
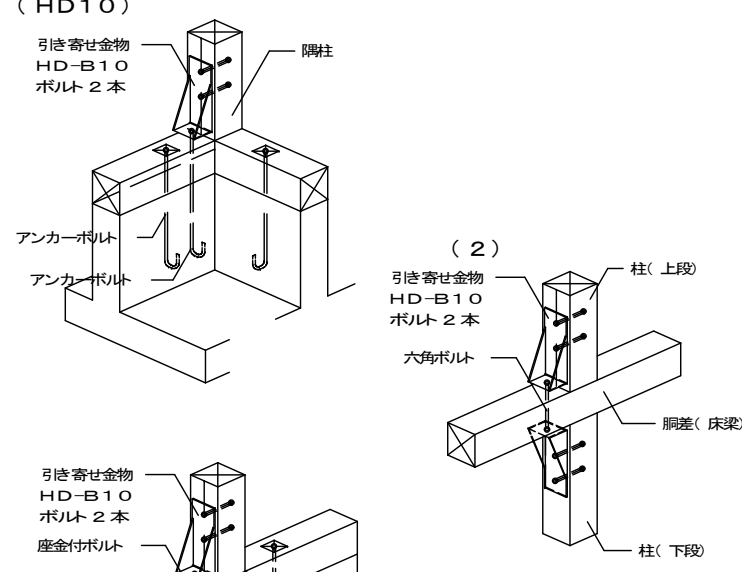
(に) 厚さ3・2mmの鋼板添え板に径12mmのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径12mmのボルト締め、横架材に対して厚さ4・5mm、40mm角の角座金を介してナット締めとしたものは厚さ3・2mmの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径12mmのボルト締めとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの



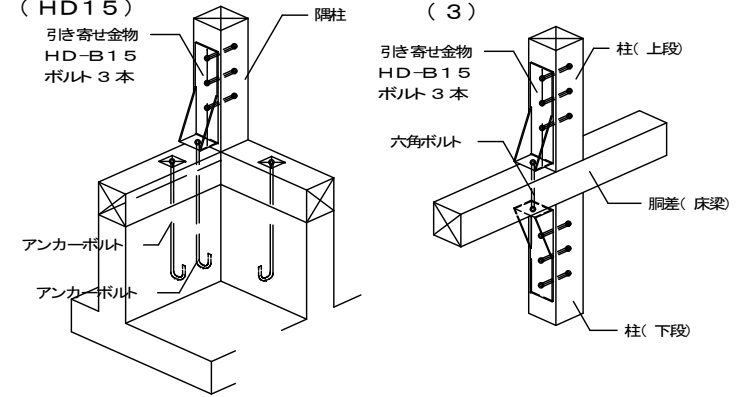
(ほ) 厚さ3・2mmの鋼板添え板に径12mmのボルトを溶接した金物を用い、柱に対して径12mmのボルト締め及び長さ50mm、径4・5mmのスクリュー釘打ち、横架材に対して厚さ4・5mm、40mm角の角座金を介してナット締めとしたものは厚さ3・2mmの鋼板添え板を用い、上下階の連続する柱に対してそれぞれ径12mmのボルト締め及び長さ50mm、径4・5mmのスクリュー釘打ちとしたもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの



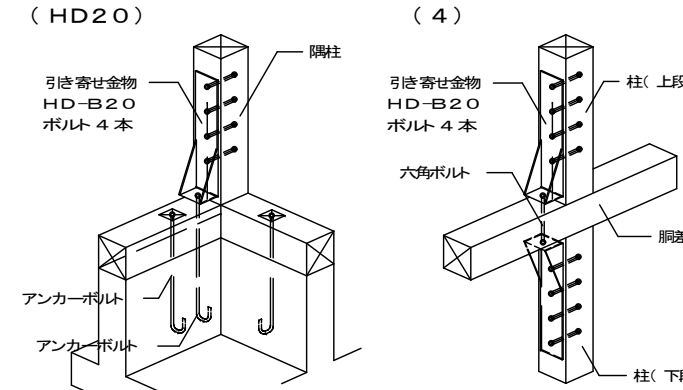
(へ) 厚さ3・2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト2本、横架材、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの



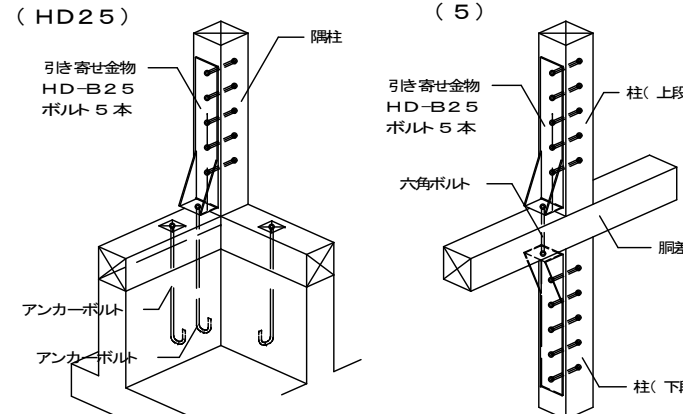
(と) 厚さ3・2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト3本、横架材(土台を除く)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの



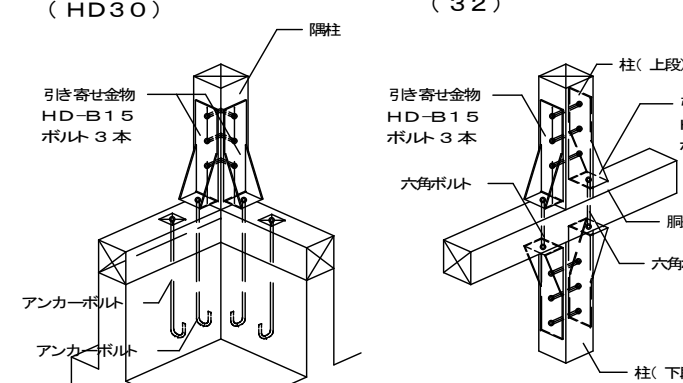
(ち) 厚さ3・2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト4本、横架材(土台を除く)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの



(り) 厚さ3・2mmの鋼板添え板を用い、柱に対して径12mmのボルト5本、横架材(土台を除く)、布基礎若しくは上下階の連続する柱に対して当該鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルトを介して緊結したもの又はこれらと同等以上の接合方法としたもの



(ぬ) (と)に拠る仕口を2組用いたもの



(HD35) ホールダウン金物35KN用 (6) ホールダウン金物35KN用

アンカーボルト配置要領

※アンカーボルトM16の柱面からの位置は引き寄せ金物の仕様による

ナットの出寸法はネジ3山(6mm)以上とする。

ナットM16用

ナットの出寸法はネジ3山(5.25mm)以上とする。

ナットM12用座金 W4.5×40

ZマークHD10～25以外の引き寄せ金物の場合の定着長はメーカー仕様による。

引き寄せ金物用アンカーボルトM16 200以内 200以内

アンカーボルト配置要領

※独立柱の場合

ナットの出寸法はネジ3山(5.25mm)以上とする。

ナットM12用座金 W4.5×40

込栓

▽土間天端

▽基礎天端

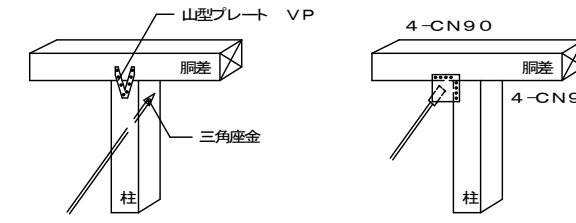
アンカーボルトM12 L=600 (折曲げ)

筋かい端部と軸組との止め付け部

筋かいの端部における仕口にあつては、次の拠る筋かいの種類に応じ、それぞれから木までに定める接合方法又はこれらと同等以上の引張耐力を有する接合方法とらなければならない。

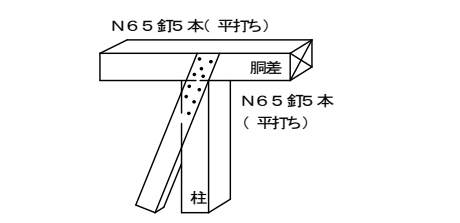
イ 径9mm以上の鉄筋

柱又は横架材を貫通した鉄筋を三角座金を介してナット締めとしたもの又は当該鉄筋の止め付けに鋼板添え板に柱及び横架材に対して長さ9cmの太め鉄くぎ(日本工業規格A5508(くぎ)→1992のうち太め鉄くぎに適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。)を8本打ち付けたもの



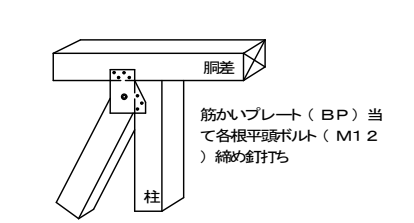
ロ 厚さ1・5cm以上で幅9cm以上の木材

柱及び横架材を欠き込み、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ6・5cmの鉄くぎ(日本工業規格A5508(くぎ)→1992のうち鉄くぎに適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。)を5本平打ちしたものと



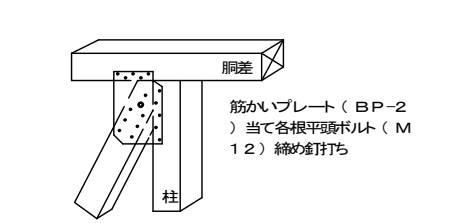
ハ 厚さ3cm以上で幅9cm以上の木材

厚さ1・6cmの鋼板添え板を、筋かいに対して径12mmのボルト(日本工業規格B1180(六角ボルト)→1994のうち強度区分4・6に適合するもの又はこれと同等以上の品質を有するものをいう。以下同じ。)締め及び長さ6・5cmの太め鉄くぎを3本平打ち、柱に対して長さ6・5cmの太め鉄くぎを3本平打ち、横架材に対して長さ6・5mmの太め鉄くぎを4本平打ちしたもの



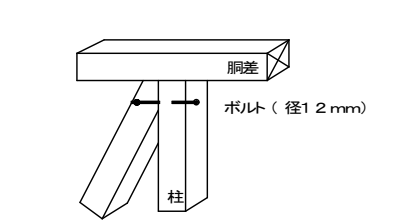
ニ 厚さ4・5cm以上で幅9cm以上の木材

厚さ2・3cm以上の鋼板添え板を、筋かいに対して径12mmのボルト締め及び長さ50mm、径4・5mmのスクリューくぎ7本の平打ち、柱及び横架材に対してそれぞれ長さ50mm、径4・5mmのスクリューくぎ5本の平打ちしたもの

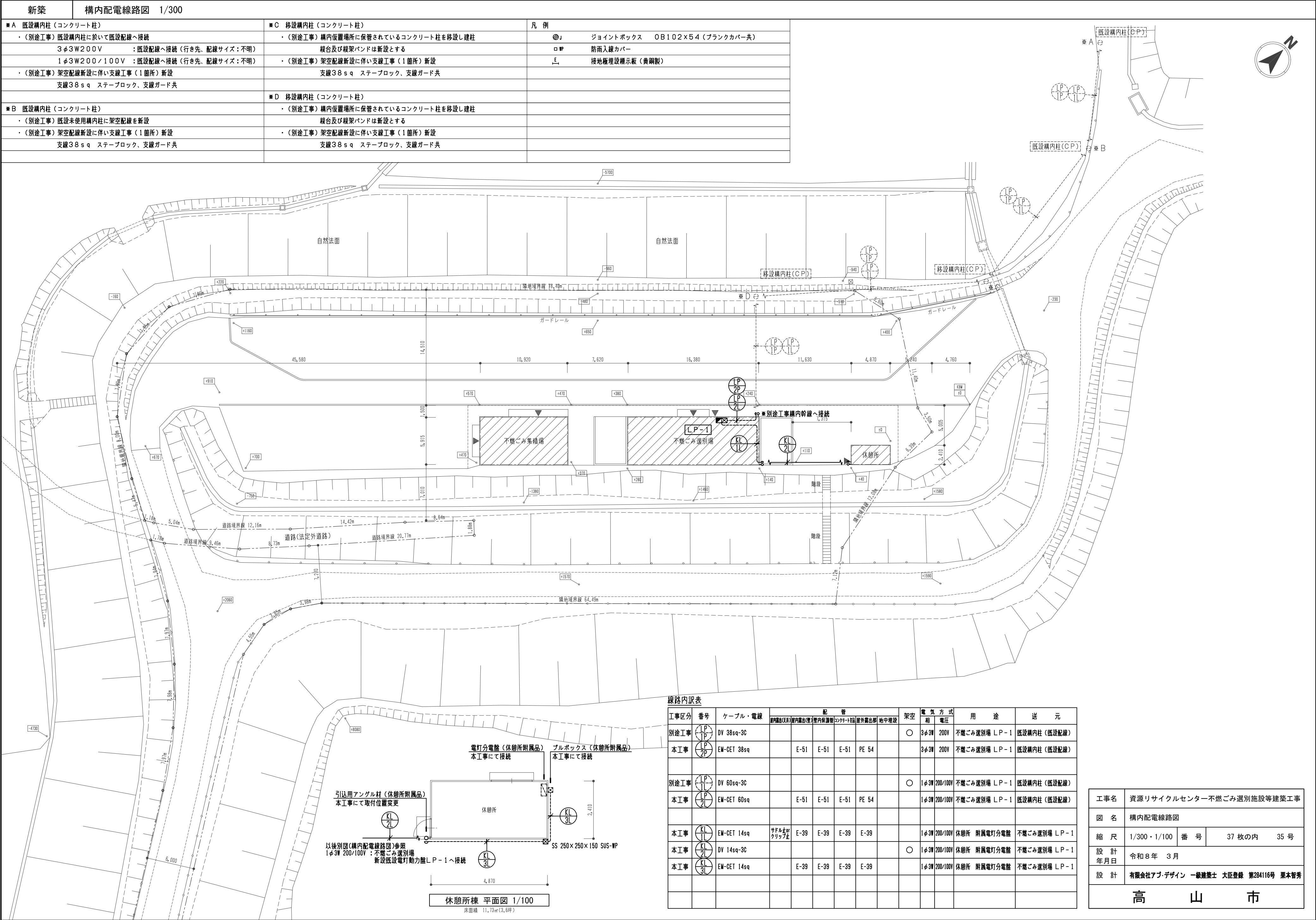


ホ 厚さ9cm以上で幅9cm以上の木材

柱又は横架材に径12mmのボルトを用いた1面せん断接合としたもの



工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	不燃ごみ集積場 木造金物詳細図		
縮 尺	N/S	番 号	3 7 枚の内 3 3 号
設 計 年 月 日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第204116号 栗本智秀		
高 山 市			



線路内訳表

工事区分	番号	ケーブル・電線	配 管				架空	電 気 方 式	用 途	送 元
			屋内露出(仮)	屋内露出(定)	壁内保護管	コンクリート埋設				
別途工事	LP-1	DV 38sq-3C					○	3φ3W 200V	不燃ごみ選別場 LP-1	既設構内柱（既設配線）
本工事	LP-2	EM-CET 38sq		E-51	E-51	E-51		3φ3W 200V	不燃ごみ選別場 LP-1	既設構内柱（既設配線）
別途工事	LP-1	DV 60sq-3C					○	1φ3W 200/100V	不燃ごみ選別場 LP-1	既設構内柱（既設配線）
本工事	LP-2	EM-CET 60sq		E-51	E-51	E-51		1φ3W 200/100V	不燃ごみ選別場 LP-1	既設構内柱（既設配線）
本工事	KL 1	EM-CET 14sq	サドル型がクリップ止	E-39	E-39	E-39		1φ3W 200/100V	休憩所 附属電灯分電盤	不燃ごみ選別場 LP-1
本工事	KL 2	DV 14sq-3C					○	1φ3W 200/100V	休憩所 附属電灯分電盤	不燃ごみ選別場 LP-1
本工事	KL 3	EM-CET 14sq		E-39	E-39	E-39		1φ3W 200/100V	休憩所 附属電灯分電盤	不燃ごみ選別場 LP-1

電灯分電盤（休憩所附属品）
本工事にて接続

プルボックス（休憩所附属品）
本工事にて接続

引込用アングル材（休憩所附属品）
本工事にて取付位置変更

以後別図（構内配電線路図）参照
1φ3W 200/100V：不燃ごみ選別場
新設既設電灯動力盤LP-1へ接続

休憩所棟 平面図 1/100
床面積 11.73㎡(3.6坪)

工 事 名

資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事

図 名

構内配電線路図

縮 尺

1/300・1/100

番 号

37 枚の内 35 号

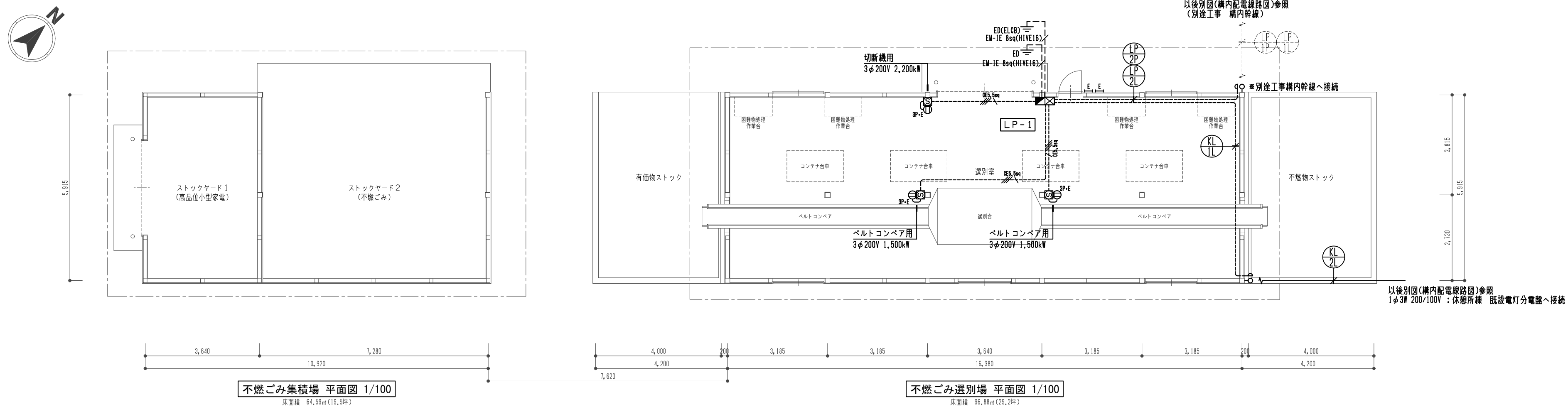
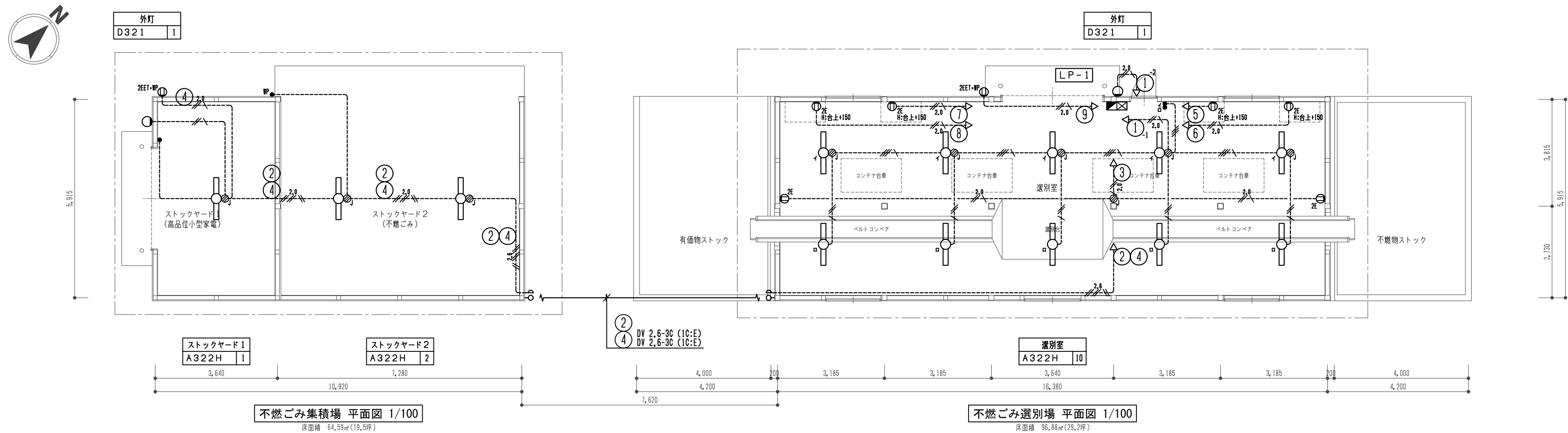
設 計 年 月 日

令和8年 3月

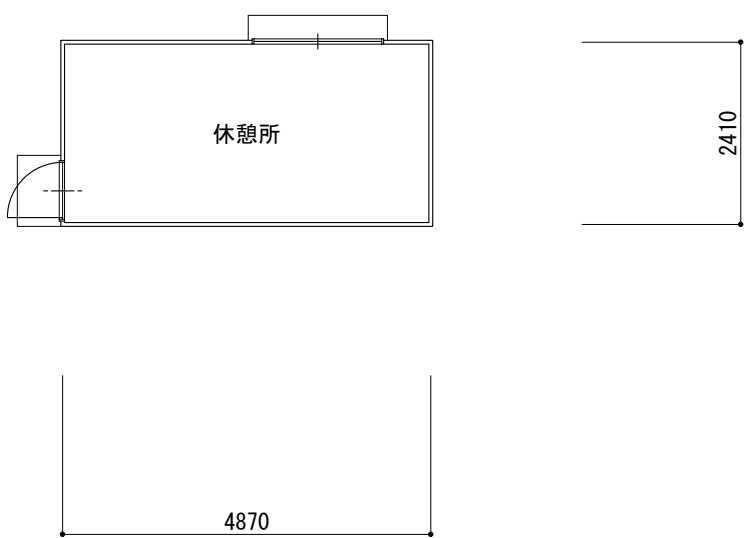
設 計

有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀

高 山 市

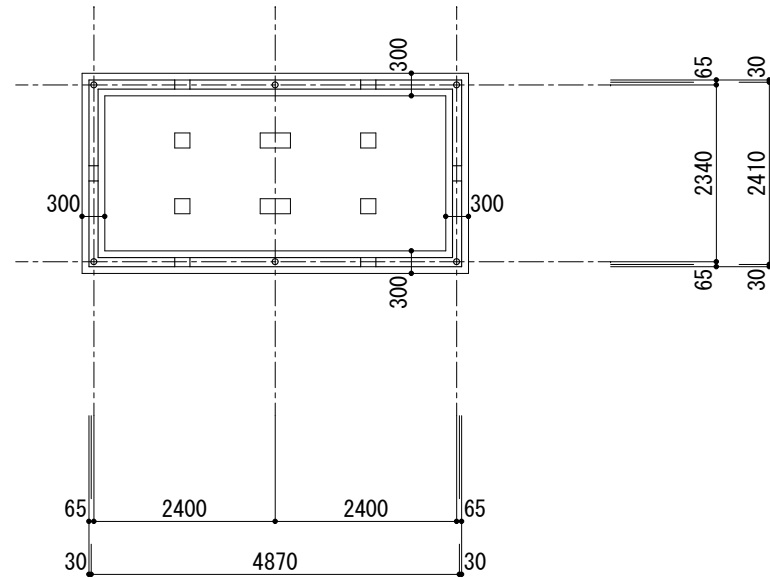


新築		凡例等																									
線種記入なきは下記とする。								注記1) 上記に於いて露出配管となる部分は金属製電線管 (E管) とする。				凡 例															
記 号	ケーブル・電線	屋外露出部 (天井裏)	室内露出部 (壁面)	配 管		コンクリート 打込部		屋外露出部	注記2) 屋外の露出配管 (金属製電線管) は指定色塗装とする。				ジョイントボックス 0B102×54 (ブランクカバー共)				● 埋込スイッチ (1P15A×1)										
				室内露出部 (天井裏)	室内露出部 (壁面)	コンクリート 打込部	屋外露出部		注記3) 図示明記無き場合でも、室内壁面に於いて配線が露出ケーブル配線となる部分は金属製電線管 (E管) にて保護とする。				防雨入線カバー				● 埋込スイッチ (1P15A×2)										
	EW-EEF 1.6-2C	ステンレスダクト	E-19	PF-S16	PF-S16	E-19			注記4) 機器及び器具の取付位置、高さ等については、施工時再度打合せの上、施工する事。				接地極埋設標準板 (黄銅製)				● 埋込スイッチ (1P15A×2) プレート: 防水型										
〃	EW-EEF 1.6-3C	ステンレスダクト	E-25	PF-S16	PF-S16	E-25							㊤ MI-9 ブロックハンドホール 600×600×900 H1-9				① 埋込コンセント (2P15A×1)										
〃	EW-EEF 2.0-2C	ステンレスダクト	E-25	PF-S22	PF-S22	E-25							鉄蓋600φ 重荷重				② 埋込コンセント (2P15A×2)										
〃	EW-EEF 1.6-3C (10:E)	ステンレスダクト	E-25	PF-S16	PF-S16	E-25							☑ ケーブル埋設標準示杭 (鉄製)				① E 埋込コンセント (2P15A×1) E極付										
〃	EW-EEF 1.6-2C x 2 (10:E)	ステンレスダクト	E-25	PF-S22	PF-S22	E-25											① ZE 埋込コンセント (2P15A×2) E極付										
〃	EW-EEF 1.6-3C x 1.6-2C (10:E)	ステンレスダクト	E-25	PF-S22	PF-S22	E-25											① 2E+WE 防水コンセント (2P15A×2) E極・ET付										
〃	EW-EEF 2.0-3C (10:E)	ステンレスダクト	E-25	PF-S22	PF-S22	E-25																					
〃	EW-EEF 2.0-3C x 2.0-2C (10:E)	ステンレスダクト	E-25	PF-S22	PF-S22	E-25											① 3P+E 露出コンセント (3P30A×1) E極付										
〃	EW-EEF 2.0-3C (10:E) x2	ステンレスダクト	E-25	PF-S22	PF-S22	E-25											※施工時に機器プラグを確認し適合したものとする。										
〃	EW-EEF 2.6-3C (10:E)	ステンレスダクト	E-25	PF-S22	PF-S22	E-25											㊤ 手元開閉器 (ケースブレーカー) 屋内用 3P3E30AF /AT										
〃	EW-EEF 2.6-3C (10:E) x2	ステンレスダクト	E-31	PF-S28	PF-S28	E-31																					
〃	EW-CE 5.5sq-4C (10:E)	ステンレスダクト	E-31	PF-S28	PF-S28	E-31																					
																		工 事 名				資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事					
																		図 名				不燃ごみ集積場・不燃ごみ選別場 電気設備図					
																		縮 尺		1/100		番 号		37 枚の内		36 号	
																		設 計 年月日		令和8年 3月							
																		設 計		有限会社アブ・デザイン 一級建築士 大臣登録 第284116号 栗本智秀							
																		高 山 市									



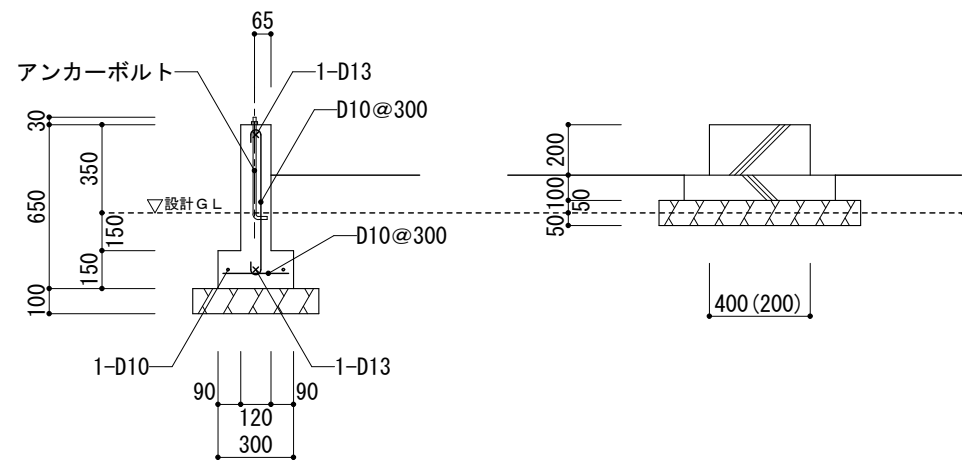
平面図 1/100

床面積 11.73㎡ (3.6坪)



基礎伏図 1/100

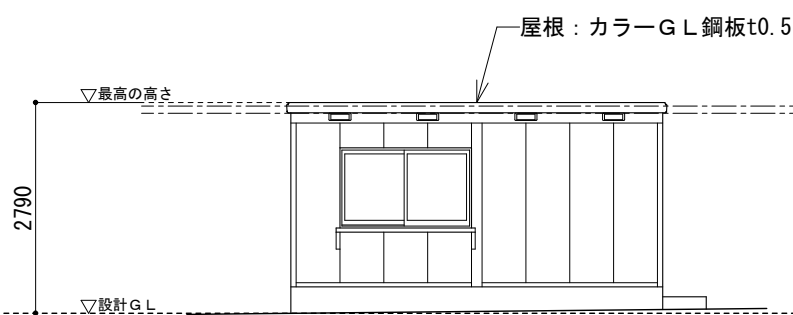
○ アンカーボルト : M12×L400 (6ヶ所)



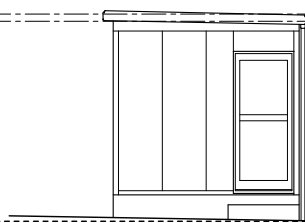
布基礎詳細図 1/30

東石詳細図 1/30

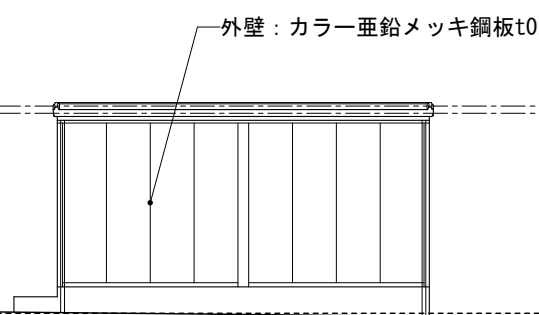
※布基礎天端が周囲の地盤から+300以下にならないように注意する。



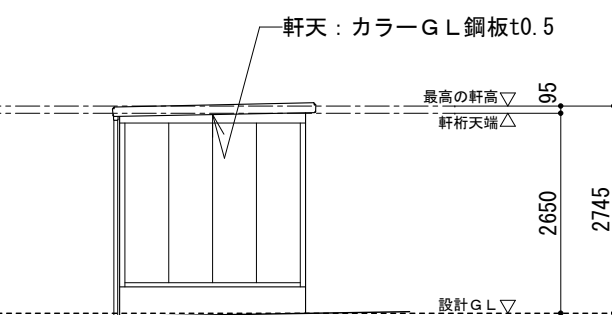
北立面図 1/100



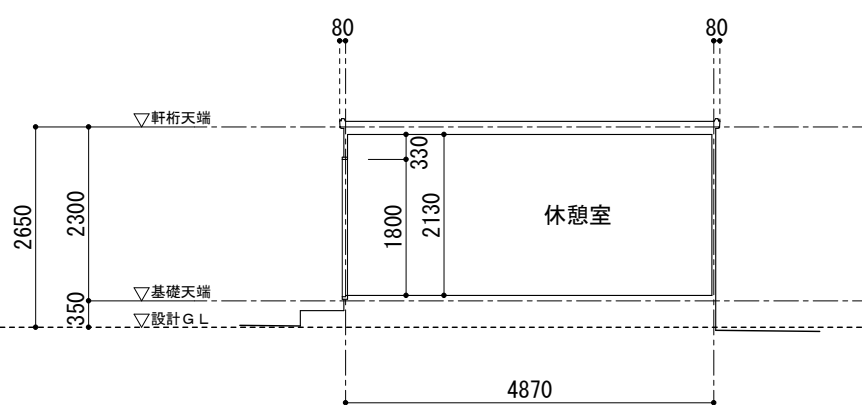
西立面図 1/100



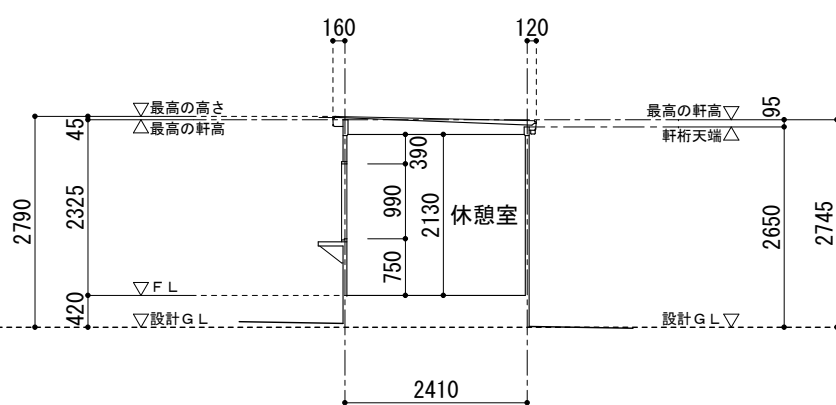
南立面図 1/100



東立面図 1/100



断面図 1/100



断面図 1/100

工事名	資源リサイクルセンター不燃ごみ選別施設等建築工事		
図 名	休憩所 参考図		
縮 尺	1/100・1/30	番 号	3 7 枚の内 3 7 号
設 計 年月日	令和 8 年 3 月		
設 計	有限会社アプ・デザイン 一級建築士 大丘登録 第284116号 栗本智秀		
高 山 市			